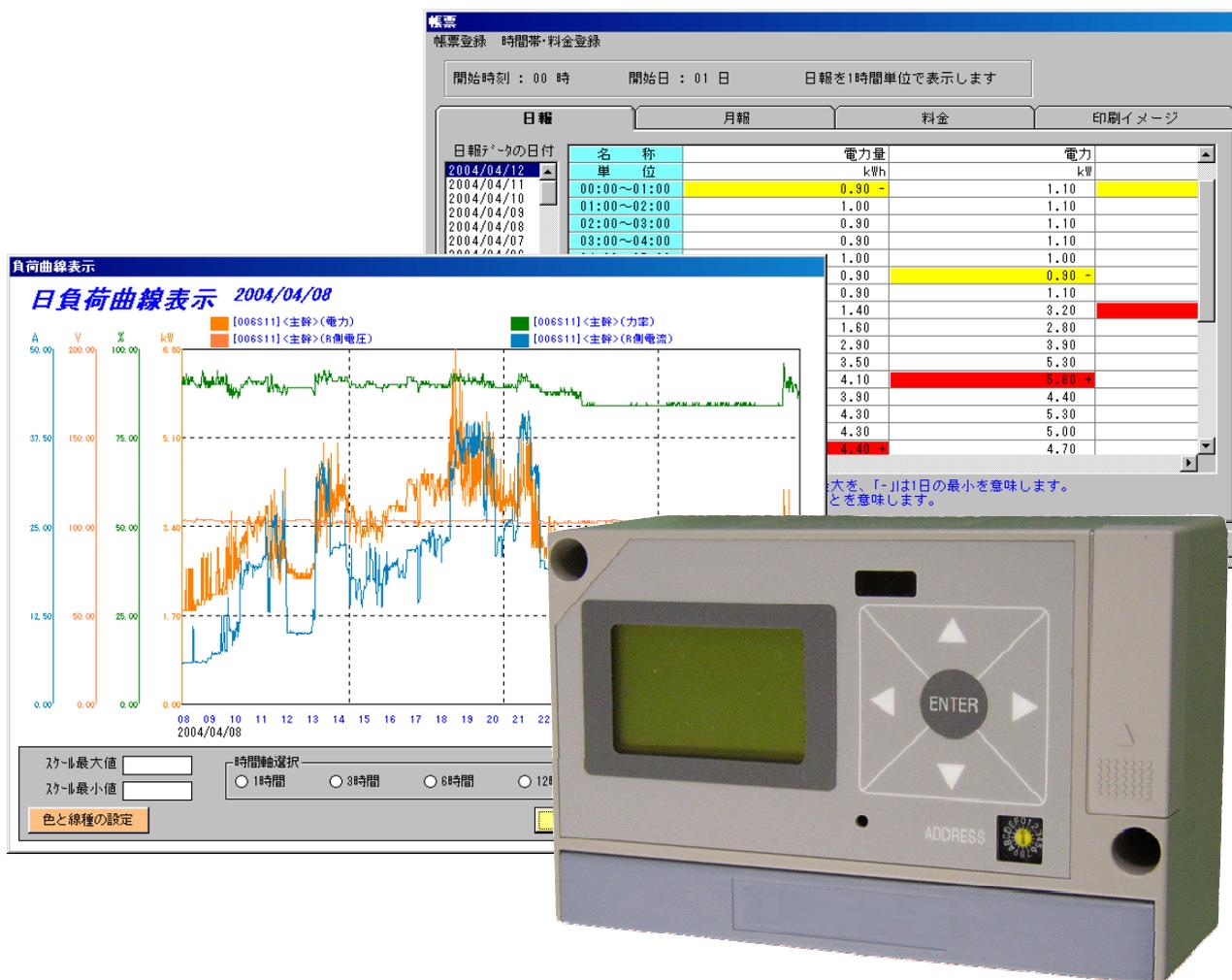


# 取扱説明書

## 多回路電力レコーダ

### 分析用 PC ソフトウェア



- このたびは、多回路電力レコーダ 分析用 PC ソフトウェアをお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この取扱説明書は、本ソフトウェアの使用上のお願ひ、機能、操作方法などを説明しています。
- 関連機器個々の詳細はそれぞれに付属している取扱説明書に記載されていますので、そちらを参照してください。
- お読みになったあとは、いつでも取り出せる場所に保管してください。

# はじめに

## ■お願い

- ◆本取扱説明書の内容は、性能・機能の向上などにより予告なしに変更することがあります。
- ◆本取扱説明書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、お手数ですがご購入先までご連絡下さい。

## ■商標

- ◆Microsoft、Windows ロゴ は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。
- ◆Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- ◆Ethernet は、米国 Xerox Corp. の登録商標です。

## ■ソフトウェア

本ソフトウェアは多回路電力レコーダ KK11A/KK20A 用のデータ収集ソフトウェアです。

- ◆本ソフトウェアは、Windows XP (32bit) で動作します。  
本取扱説明書は、Windows XP の基本操作を行えることを前提として作成していますので、基本操作について不明な点があるときは Windows XP の取扱説明書をご覧下さい。
- ◆Windows XP 上では、Administrator などのインストール権限を持ったアカウントでログインし、インストールを行ってください。
- ◆本ソフトウェアは Windows XP (32bit) の OS をもとに開発されたものですが、以下の OS においても動作することを確認しています。  
Windows Vista (32bit)  
Windows 7 (32bit/64bit)  
上記 OS の基本操作について不明な点があるときは Windows Vista/7 の取扱説明書をご覧下さい。
- ◆Windows Vista 上では、Administrator などのインストール権限を持ったアカウントでログインし、ユーザーアカウントの制御を無効化してインストールを行ってください。
- ◆Windows 7 (32bit/64bit) 上では、Administrator などのインストール権限を持ったアカウントでログインし、インストールを行ってください。

# 安全上のご注意

本取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使い頂くために、重要な内容を記載しています。次の内容および本文をお読みになり、記載事項をお守り下さい。  
また、本ソフトウェアをご使用前に、本体ユニットおよび端末ユニットの取扱説明書も必ずお読み下さい。

## ■免責事項について

- ・地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・この取扱説明書で説明している以外の方法によって生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

## ■用途制限について

- ・本製品は、人の生命に直接関わる装置\*1や人の安全に関与し公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置\*2などの電力の測定に使用するよう設計・製造されたものではないため、それらの装置の測定に使用しないで下さい。なお、本製品の用途についてご不明な点がある場合は、事前に当社窓口にご相談下さい。
  - \*1: 生命維持装置や手術室用機器などの医療機器や火災報知機などの防災設備など
  - \*2: 集団輸送システムの運転制御・航空管制システムや原子力発電所の装置など

# 使用上のお願い

製品の故障や性能低下を防ぐために、次の事項をお守り下さい。

- ノイズ等の多い場所での使用には、時計・通信などに影響が出る場合があります。  
もしそのような現象が起きた時は、製品能力以上のノイズが印加されている可能性が考えられます。本体ユニットや端末ユニットにはノイズに対する処置が施されていますが、極端なノイズ発生源のある環境での使用はお控え下さい。
- データ収集によりハードディスクの容量が減少します。  
本体ユニットからデータ収集を行うと、収集したデータはハードディスクに格納されます。収集を行うたびにハードディスクの空き容量が減少します。
- 機器や環境により通信がうまくいかない場合があります。  
弊社推奨の製品以外の変換機をご使用される場合、通信がうまくいかない場合があります。この場合は保守メニューの通信設定で「通信速度」や「送信後マーク時間」を調整してください。EtherNet で通信の場合は、ネットワークの環境が影響しますので確認してください。またネットワークの混み具合により通信がうまくいかない場合があります。この場合は再度通信して正常に行えるかどうか確認してください。
- 24 時間連続使用される場合は連続稼動が保証されているパソコンをご使用ください。  
パソコンの環境等により動作が不安定になる場合があります。
- 収集データが欠落する場合があります。  
KK11A の場合  
本体ユニットのデータ保持数は、時限設定が1分時限設定の場合、最新の30時間分、30分時限設定の場合、最新の40日分のデータとなりますので、データ収集は1分時限の場合、30時間以内、30分時限設定の場合40日以内に必ず行ってください。それ以上経過しますと、収集データが欠落しますので定期的に収集を行ってください。  
KK20A の場合  
本体ユニットのデータ保持数は、時限設定が30分時限設定の場合、全計測項目保存時には最新の30日分のデータとなりますので、データ収集は30分時限設定の場合30日以内に必ず行ってください。それ以上経過しますと、収集データが欠落しますので定期的に収集を行ってください。  
また時限設定が60分時限設定または電力量のみ保存の場合は収集データをパソコンに保存することができません。本ソフトウェアをご使用される場合は必ず時限設定を30分時限、全計測項目保存に設定してください。
- 指定時刻に自動収集設定した場合は、起動時の画面（メイン画面）を表示しておいてください。  
自動収集設定は、メイン画面を表示しているときに動作します。
- 本体ユニットの ID を設定してください。  
本体ユニットの「ID 設定」機能で必ず ID を設定してください。
- グラフ作成する場合は必ずデータ収集後行ってください。  
データ収集済みでないと、グラフ作成（負荷曲線）表示を行うことができません。

## 本取扱説明書で使用する用語

本文中、使用される用語を以下に説明します。

### 端末ユニットとは・・・

KK11A の場合は計測ユニット、パルス入力ユニット、ワット入力ユニットの総称です。

KK20A の場合は CT 付ケーブルを指します。以下説明の便宜上、KK20A の場合も計測ユニットと呼びます。それぞれの計測項目を以下に示します。

#### 計測ユニット (2 線式) (3 線式) KK12A-□□□ □□□□

※□□□□: 定格電流情報

##### 計測項目

電力量

電力

力率

電圧

電流

##### 計測項目

電力量

電力

力率

R 相電圧

R 相電流

T 相電圧

T 相電流

#### パルス入力ユニット KK13A

##### 計測項目

パルス 1

ON 時間 1

パルス 2

パルス 2

ON 時間 2

パルス 2

#### ワット入力ユニット KK13B

##### 計測項目

瞬時値

最大値

最小値

平均値

### 計測項目とは・・・

端末ユニットで計測する計測データの総称です。

### 時限データとは・・・

本体ユニットに保存されている計測データです。

設定により 30 分時限または 1 分時限ごとの計測データが保存されています。

KK11A では、1 分時限の場合は 30 時間分、30 分時限の場合は 40 日分の計測データが保存されます。KK20A では 30 分時限の場合は 30 日分の計測データが保存されます。

### ワランとは・・・

RS485、ネットワークで使用する場合を言います。

### オンライン

### PDA

**オンライン** が付いている項目はオンラインで使用します。

### PDA

が付いている項目は PDA で使用します。

## 目次

<b>1</b>	<b>本ソフトウェアをインストールする</b>	<b>オンライン</b>	<b>PDA</b>	<b>1-1</b>
<b>2</b>	<b>オンラインで使用する場合</b>	<b>オンライン</b>		<b>2-1</b>
<b>3</b>	<b>PDA収集データを使用する場合</b>		<b>PDA</b>	<b>3-1</b>
<b>4</b>	<b>RS485で使用する場合</b>	<b>オンライン</b>		<b>4-1</b>
	システム構成図			4-1
	RS-232/485 変換器との接続および設定方法			4-2
	USB/485 変換器との接続および設定方法			4-4
	通信設定方法			4-6
	RS485通信設定を行う			4-6
	回線の設定を解除する			4-8
<b>5</b>	<b>ネットワークで使用する場合</b>	<b>オンライン</b>		<b>5-1</b>
	システム構成図			5-1
	ネットワークインターフェース仕様			5-2
	ネットワークの設定方法			5-2
	機器の接続			5-2
	通信設定方法			5-5
	ネットワークに設定する			5-5
<b>6</b>	<b>接続を確認する</b>	<b>オンライン</b>		<b>6-1</b>
	接続を行う			6-1
	本体ユニットの情報を確認する			6-3
	本体ユニットの名称を登録する			6-4
	本体ユニットの設定内容を見る			6-5
	端末ユニットの情報を確認する			6-7
	端末ユニットの名称を登録する			6-8
	メイン画面を印刷する			6-9
<b>7</b>	<b>データを収集する</b>	<b>オンライン</b>		<b>7-1</b>
	データを収集する			7-1
	自動収集を設定する			7-3
	自動収集後の CSV ファイルを自動出力する			7-6
	日報登録			7-6
	CSV ファイルの自動出力設定			7-6
	CSV ファイルの自動出力			7-8

<b>8 PDAで収集したデータを使用する場合</b>		<b>PDA</b>	<b>8-1</b>
	本体ユニットの設定確認		8-1
	収集したCSVファイルをデータベースへ保存する		8-2
	名称を登録する		8-5
	取り込んだデータを表示する		8-6
	取り込んだデータをグラフ表示する		8-7
	グラフ表示したデータをCSVファイル出力する		8-9
<b>9 帳票を作成する</b>		<b>オンライン</b>	<b>PDA</b>
	帳票登録		9-2
	帳票登録を行う		9-2
	積算項目を自動設定する		9-4
	全ての項目を自動設定する		9-5
	個別に計測項目を設定・変更する		9-6
	新しいページを挿入する		9-8
	ページを削除する		9-9
	新しく項目欄を挿入する		9-10
	項目欄を削除する		9-11
	項目なしで設定する		9-12
	登録内容をすべて削除する		9-13
	帳票の表題、開始時刻、表示時間単位を設定する		9-14
	日報		9-17
	日報を表示する		9-17
	印刷する		9-19
	CSVファイルに出力する		9-20
	月報		9-21
	月報を表示する		9-21
	料金		9-23
	料金登録を行う		9-23
	時間帯名称を登録する		9-24
	時間帯パターンを登録する		9-26
	季節を登録する		9-30
	固定特約日を登録する		9-32
	変動特約日を登録する		9-33
	料金を登録する		9-34
	料金を表示する		9-36
<b>10 帳票仕様</b>		<b>オンライン</b>	<b>PDA</b>
	日報仕様		10-1
	月報仕様		10-2
	料金仕様		10-3

<b>11 負荷曲線を表示する</b>	<b>オンライン</b>	<b>PDA</b>	<b>11-1</b>
計測項目ごとにグラフを表示する			11-2
日付ごとにグラフを表示する			11-5
グラフ表示の開始時刻を変更する			11-7
グラフのスケールを変更する			11-8
グラフの色と太さを変更する			11-9
<b>12 トレンドグラフを表示する</b>	<b>オンライン</b>		<b>12-1</b>
トレンドグループを設定する			12-1
トレンドグループを表示する			12-3
<b>13 現在値データを確認する</b>	<b>オンライン</b>		<b>13-1</b>
現在値データを見る			13-1
端末ユニットのトレンドを表示する			13-3
<b>14 メンテナンスをする</b>			<b>14-1</b>
日時確認と設定をする	<b>オンライン</b>		14-1
日時確認を行う			14-1
日時設定を行う			14-2
ログおよびレコードを確認する	<b>オンライン</b>		14-5
ログ情報を表示する			14-5
ログ情報をクリアする			14-6
ログ情報をCSVファイルに出力する			14-7
レコード情報をCSVファイルに出力する			14-8
時限データを確認する	<b>オンライン</b>		14-10
表示したデータをグラフ化する			14-13
グラフ表示したデータを CSV ファイルに出力する			14-15
データベースを管理する	<b>オンライン</b>	<b>PDA</b>	14-16
本体ユニットのデータを全て削除する			14-16
端末ユニットのデータを全て削除する			14-18
計測項目ごとにデータを日付単位で削除する			14-19
同じ日付の計測データを一括で削除する			14-20
同じ日付の計測データを一括で CSV ファイルに出力する			14-21
同じ日付の日報登録の計測データを CSV ファイルに出力する			14-22
バージョン情報を確認する	<b>オンライン</b>	<b>PDA</b>	14-23
<b>15 CSV ファイルに合成出力する</b>	<b>オンライン</b>	<b>PDA</b>	<b>15-1</b>
合成項目を設定する			15-1
設定内容を確認する			15-4
合成結果を CSV ファイルに出力する			15-5

# 1 本ソフトウェアをインストールする

オンライン

PDA

本ソフトウェアを使用するためには、以下の条件が必要です。

- ◎ Windows XP (32bit)/Vista (32bit)/7 (32bit, 64bit) が動作する環境 ※
- ◎ 本ソフトウェアをインストールしようとするドライブに 1.5GB 以上の HDD 空き容量があること。
- ◎ メンメモリが 256MB 以上であること。
- ◎ Administrator などのインストール権限を持ったアカウントでインストールすること。
- ◎ アカウント ID が半角英数文字で設定されていること。(全角文字で設定されている場合はインストールできません。)
- ◎ ユーザ環境変数 TMP がシングルのパスであること。

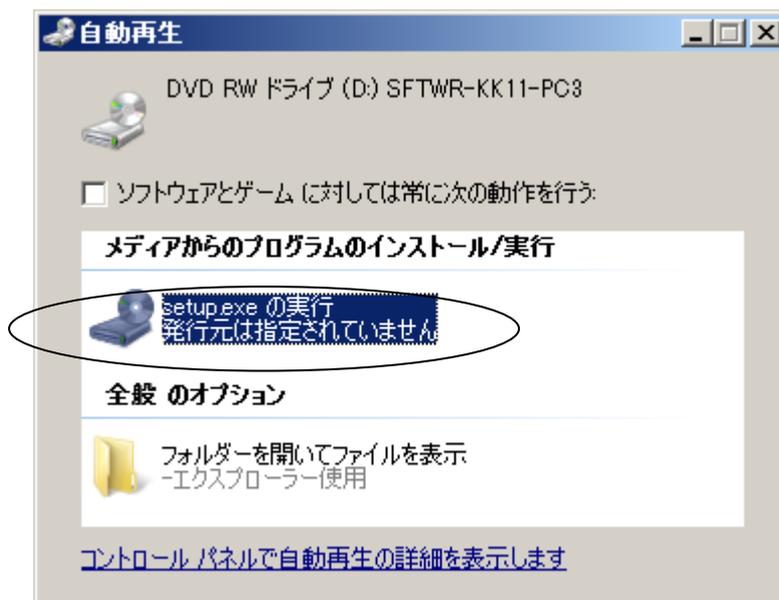
## インストール手順

Windows 7 64bit の場合を例に本ソフトウェアのインストールについて説明します。

### ① 付属の CD-ROM を CD-ROM トレイにセットします。

以下の画面を表示しますので、「setup.exe の実行発行元は指定されていません」をマウスでクリックして下さい。

(パソコンの設定によっては、以下の画面が表示されない場合がありますので CD-ROM 内の「Setup.exe」をマウスでダブルクリックして②から開始してください。)

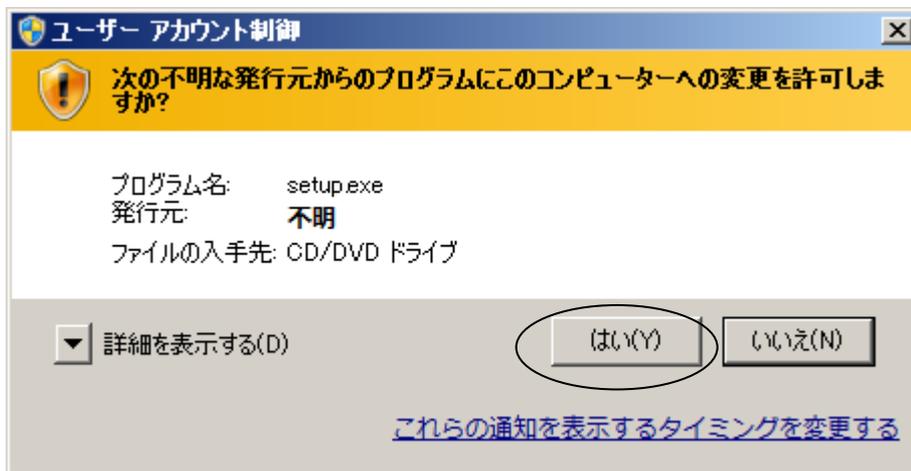


注) 以下、Windows クリック画面にした場合の表示です。

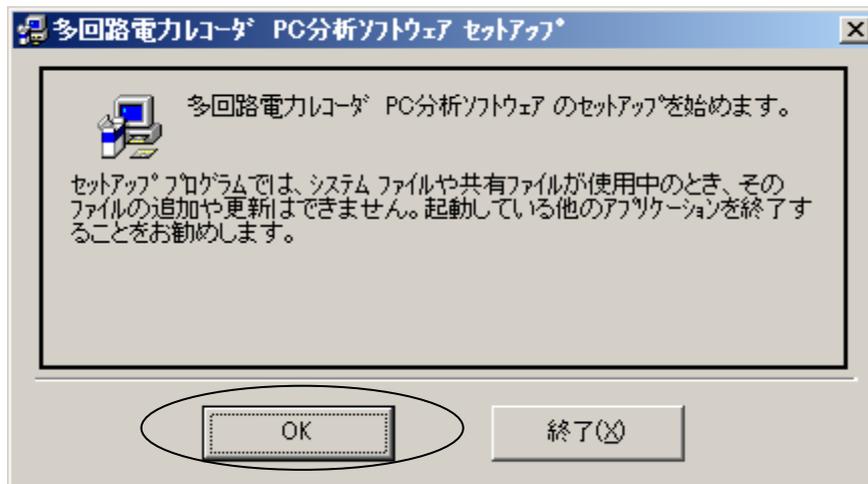
- ※ Windows XP (64bit)、Windows Vista (64bit) での動作確認はしていません。
- ※ Windows Vista (32bit) へのインストールは、以下の手順でユーザーアカウントの制御を無効化してインストールしてください。
- ① 管理者権限を持ったアカウントでログインします。
- ② 「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」で「ユーザーアカウント制御の有効化または無効化」をクリックして「ユーザーアカウント制御 (UAC) を使ってコンピュータの保護に役立たせる」の項目のチェックを外して、OK をクリックします。
- ③ 再起動を要求する画面が表示されたら、再起動します。
- ④ 本ソフトウェアをインストールします。
- ⑤ ユーザーアカウント制御を有効化に戻す場合は、②の「ユーザーアカウント制御 (UAC) を使ってコンピュータの保護に役立たせる」の項目のチェックを入れるにして、①～③の手順を再度行ってください。

② 「ユーザーアカウント制御」ダイアログを表示します。**はい**をクリックしてください。

「ユーザーアカウント制御」を無効にした場合は以下の画面を表示しませんので③を行ってください。



③以下の画面を表示しますので、**OK**をマウスでクリックして下さい。



### Windows XP 32bit のインストールの場合

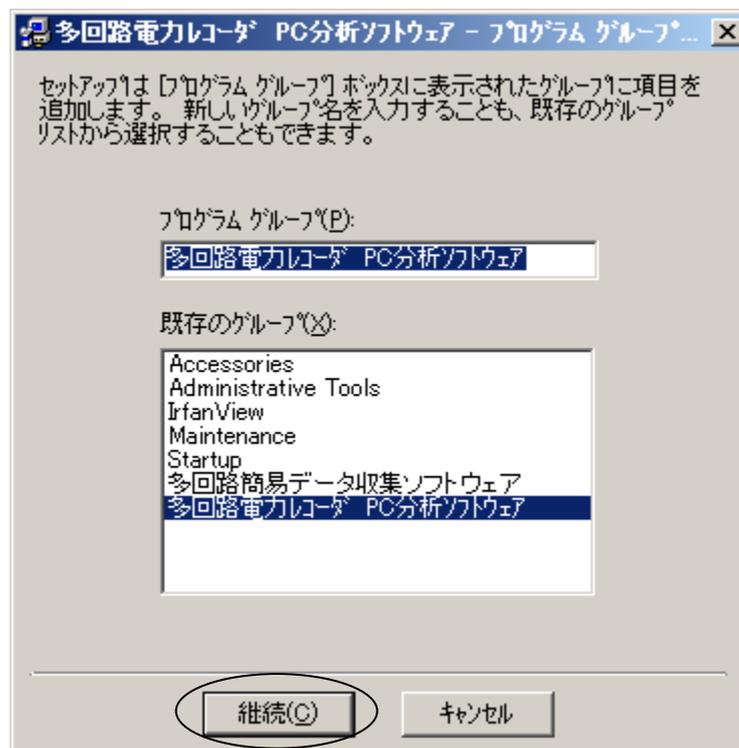
Windows XP 32bit のインストールの場合は、付属の CD-ROM を CD-ROM トレイにセットすると、③から開始します。

(パソコンの設定によっては、③の画面が表示されない場合がありますので CD-ROM 内の「Setup.exe」をマウスでダブルクリックしてください。)

②次に以下のアイコンをマウスでクリックして下さい。



③**継続**をクリックして下さい。

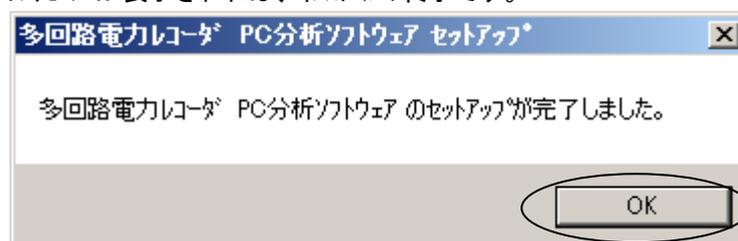


④インストールを開始します。セットアップ中以下の画面を表示します。



⑤「OK」をクリックし画面を終了させてください。

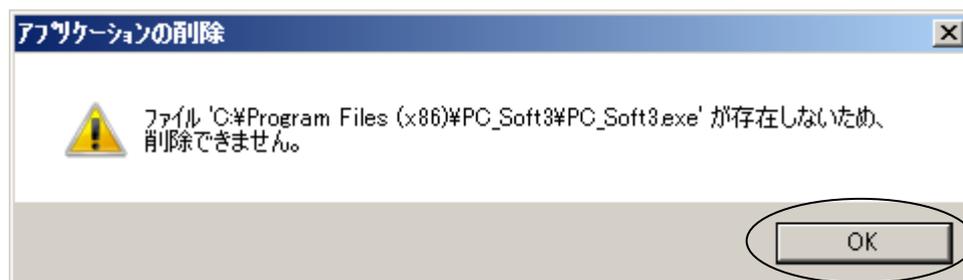
以下のメッセージが表示されれば、インストールの終了です。



#### ●本ソフトウェアをパソコンから削除する場合

「コントロールパネル」の「プログラムと機能」をクリックし、表示された画面で「多回路電力レコーダ 分析用PCソフトウェア」を選択して、「削除」（アンインストール）して下さい。 ※

ただし、プログラムが格納されているフォルダにインストール時と異なるファイルがある場合は、以下のようなメッセージが表示され削除できない場合があります。OKをクリックしメッセージを終了後、「エクスプローラ」から「PC\_Soft3」をフォルダごと削除してください。



※ Windows XP 32bit のインストールの場合は、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加・削除」で「多回路電力レコーダ 分析用PCソフトウェア」を選択して、「削除」（アンインストール）して下さい。

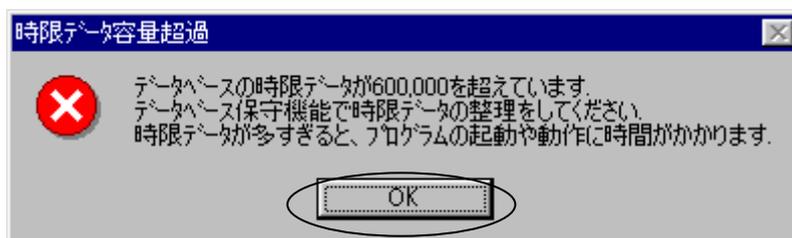
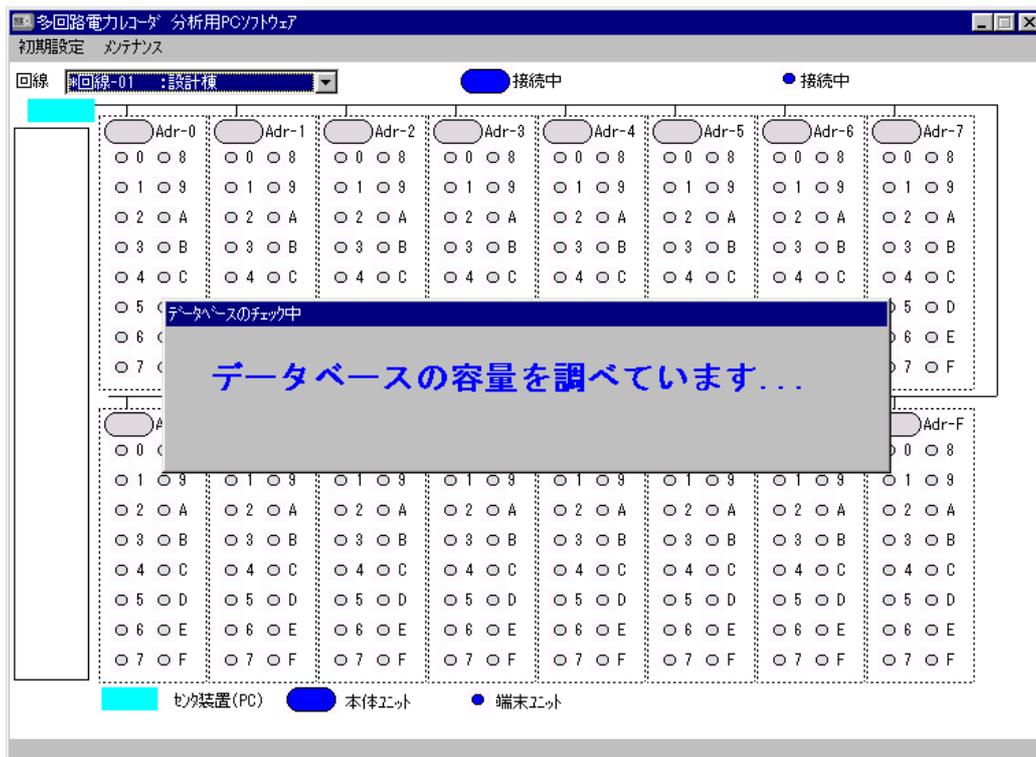
## ソフトウェア起動画面

本ソフトウェアの起動について説明します。

「スタート」→「プログラム」→「多回路電力ロガー 分析用 PC ソフトウェア」→「多回路電力ロガー 分析用 PC ソフトウェア」を選択すると、本ソフトウェアが起動します。

本ソフトウェアを起動すると、データベースの時限データ容量が所定サイズより大きくなった場合には、以下の時限データ容量超過画面を表示します。そのときは **OK** をクリックしてください。※

なお、本頁以降の画面は表示イメージ例です。Windows XP/Vista/7 でのルック&フィールと若干異なります。



- ※・時限データ容量超過画面を表示したときには、P14-19, 20 に記載していますようにデータベースから要らなくなった日付の計測データを削除してください。
- ・上記メッセージ画面が表示されなくても、時限データ容量が増えてくると、P11-1 の負荷曲線表示選択画面のリスト表示等に時間がかかるようになります。その場合には P14-19, 20 の手順でデータベースから不要になった日付の計測データを削除してください。

## データベースファイル

本ソフトウェアの設定データや収集データはインストールフォルダの以下のデータベースファイルに保存されます。※1、※2

- ・ PC.mdb ..... 収集した時限データおよび設定データの保存
- ・ gosei.mdb ..... 合成（演算）の設定データの保存

※1 他の PC で新たに本ソフトウェアをインストールし、今まで収集したデータをご使用されたい場合には、今までご使用のPCのインストールフォルダのPC.mdb および必要に応じてgosei.mdb をコピーし、新たにインストールしたフォルダ下のファイルに上書きを行ってください。



※2 Windows Vista/7 では、ユーザーアカウント制御（UAC）が有効かつ、プログラムを管理者として実行していない場合には、ファイルとレジストリの仮想化の機能により、本ソフトウェアのデフォルトインストールフォルダに保存されるはずのPC.mdbのようなデータファイルは、以下の例のようにインストールフォルダとは異なるフォルダに保存されます。

例1) Windows 7 32bit の場合

インストールフォルダがC:\Program Files\PC\_Soft3 の場合にはPC.mdb は以下のフォルダに保存されます。

C:\Users<ユーザー名>\AppData\Local\VirtualStore\Program Files\PC\_Soft3\PC.mdb

例2) Windows 7 64bit の場合

インストールフォルダがC:\Program Files (x86)\PC\_Soft3 の場合にはPC.mdb は以下のフォルダに保存されます。

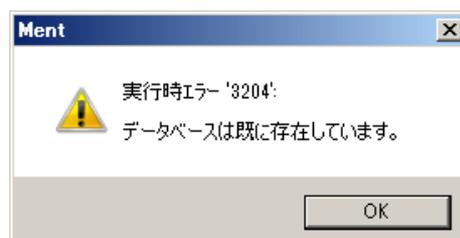
C:\Users<ユーザー名>\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\PC\_Soft3\PC.mdb

なおインストールフォルダをファイル仮想化機能が働かないフォルダに指定した場合は、PC.mdbのようなデータファイルはインストールフォルダに保存されます。



インストールフォルダをファイル仮想化機能が働くフォルダに指定した場合は、P14-16～P14-20 に記載のデータベースに保存されているデータを削除した時に、以下のメッセージ画面を表示します。

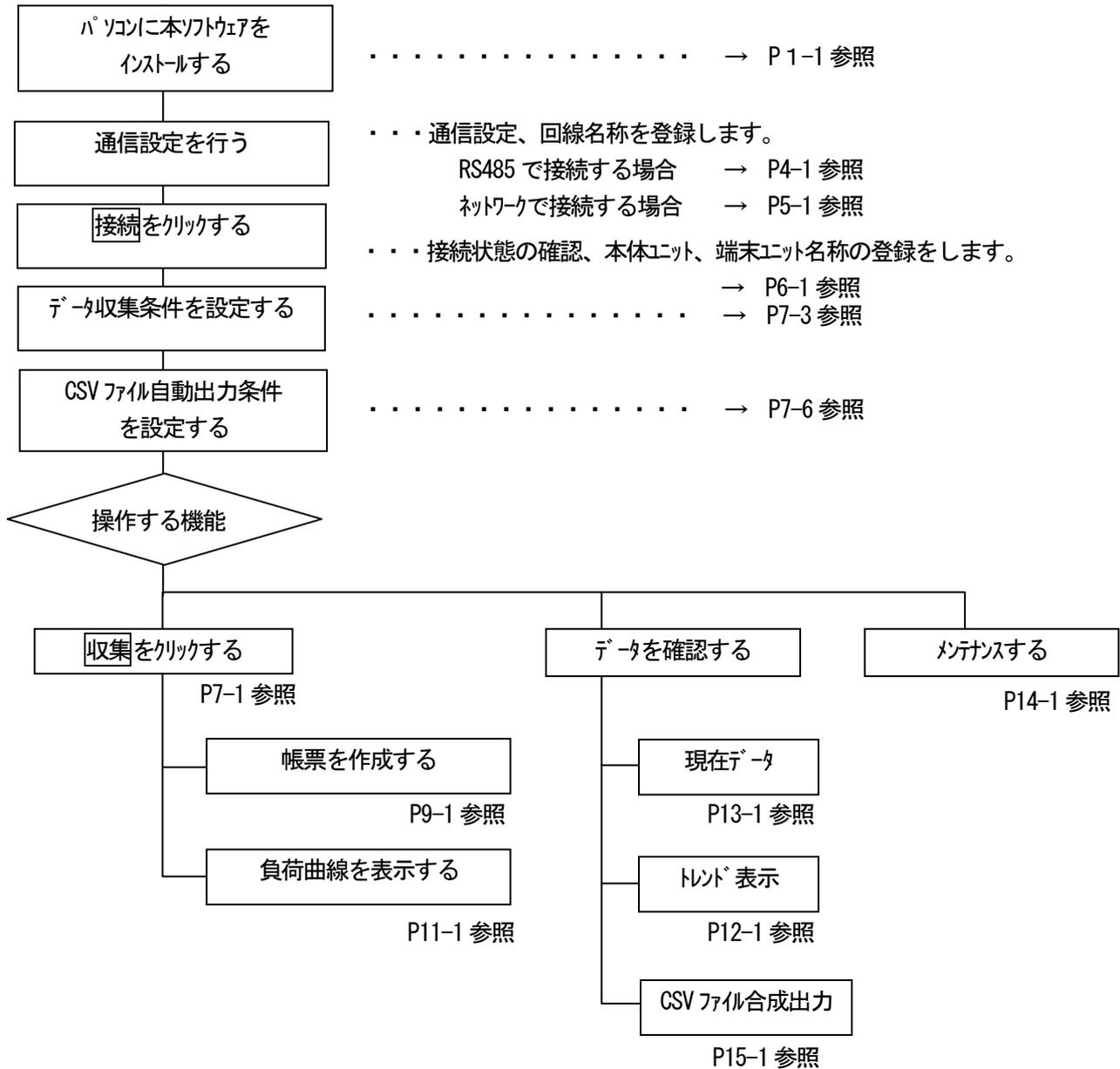
このメッセージ画面の表示をなくすためには、P1-4 記載の本ソフトウェアのインストールを行った後、P1-1 からのインストール手順においてインストールフォルダをファイル仮想化機能が働かないフォルダに指定して再度インストールを行ってください。



## 2 オンラインで使用する場合

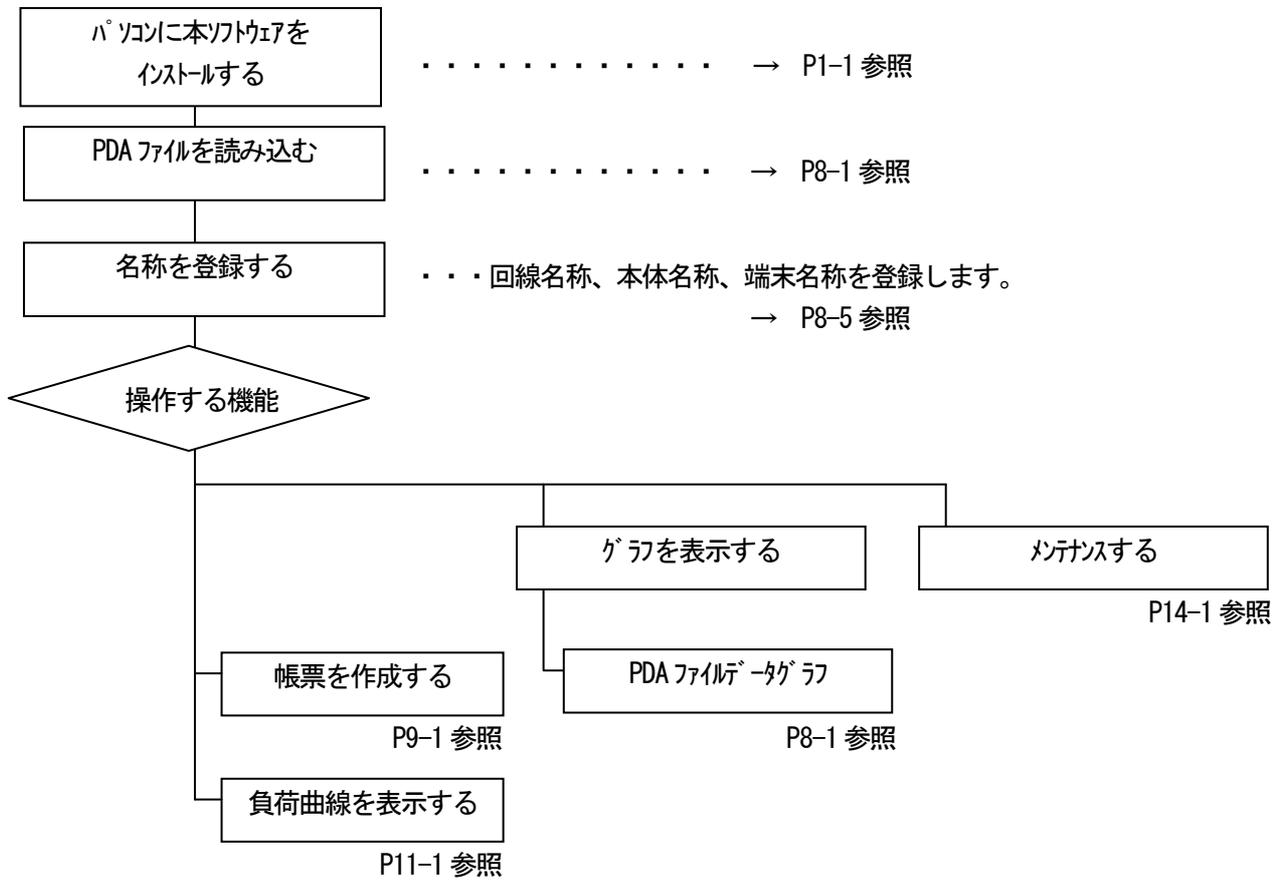
オンライン

接続機器の接続、分析用PCソフトウェアの設定を以下に従っておこなってください。



### 3 PDA 収集データを使用する場合

ファイルの読み込み、設定を以下に従っておこなってください。



## 4 RS485 で使用する場合

オンライン

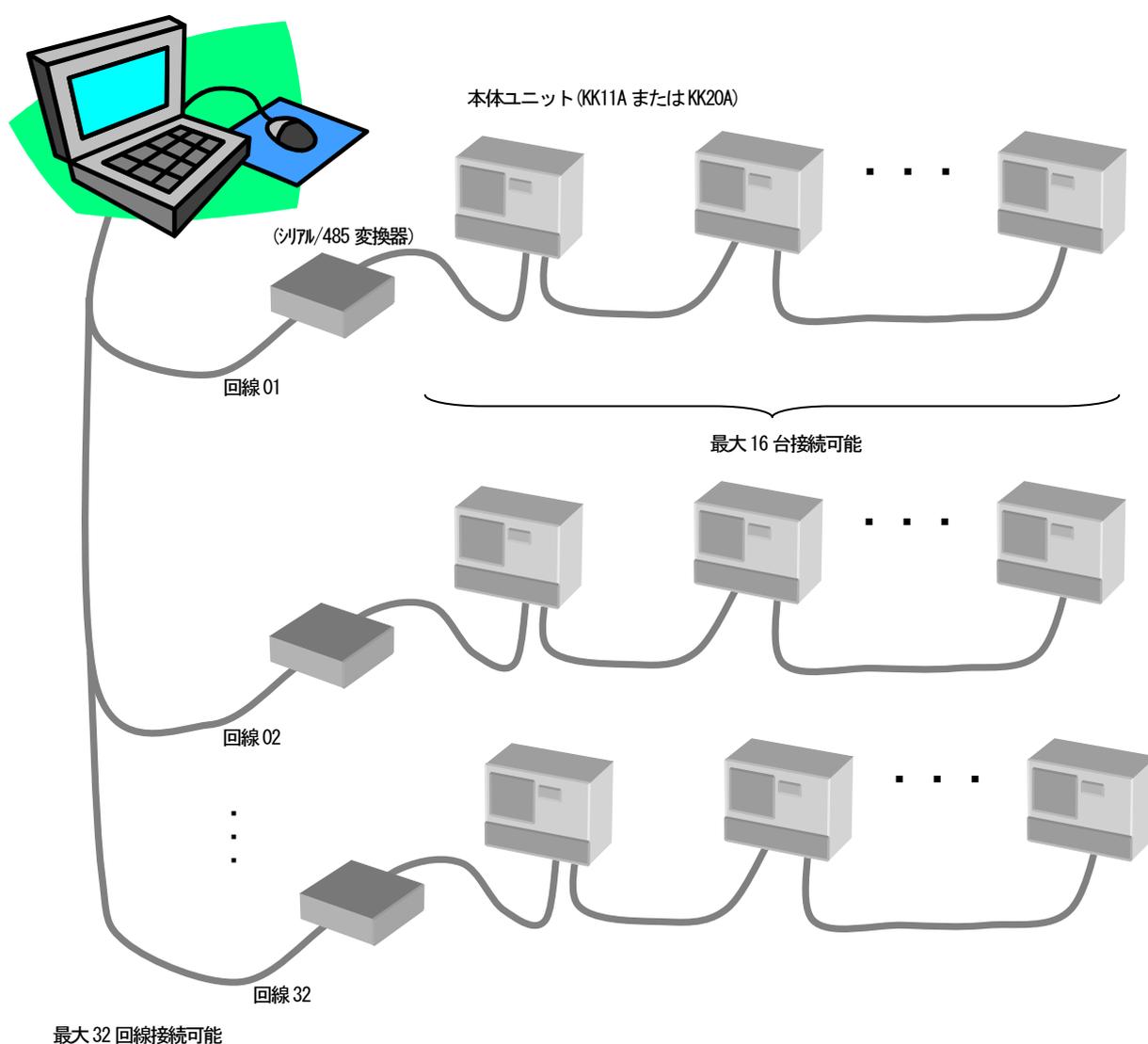
### システム構成図

分析用 PC ソフトウェアがインストールされているパソコンと本体ユニットを RS-232C/RS-485 変換器または USB/RS-485 変換器を介して接続し、通信を行います。32 回線まで接続できます。1 回線に対して、本体ユニットは 16 台まで接続可能です。

推奨シリアル/RS-485 変換器

RS-232C/RS-485 変換器：(株)システム・サコム製 KS-485PT 相当

USB/RS-485 変換器：(株)インアイ製 SI-35USB 相当



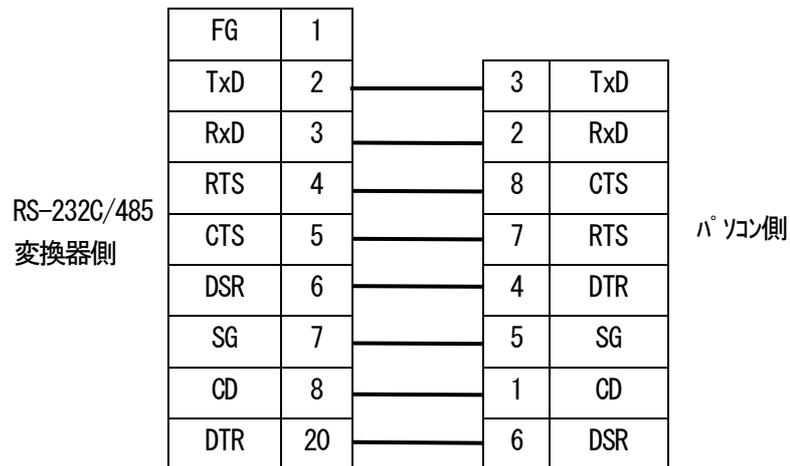
## RS-232C/485 変換器との接続および設定方法

詳細は多回路電力レギュラ KK11A または KK20A の取扱説明書、および下記変換器の取扱説明書を参照してください。

### ■ パソコン— RS-232C/485 変換器接続

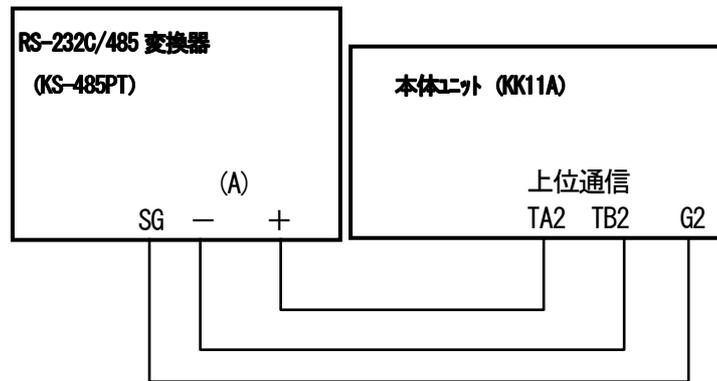
RS-232C/485 変換器 (株)システム・サム製 KS-485PT

接続ケーブル : Dsub25pin オス—Dsub9pin メス ストレートケーブル

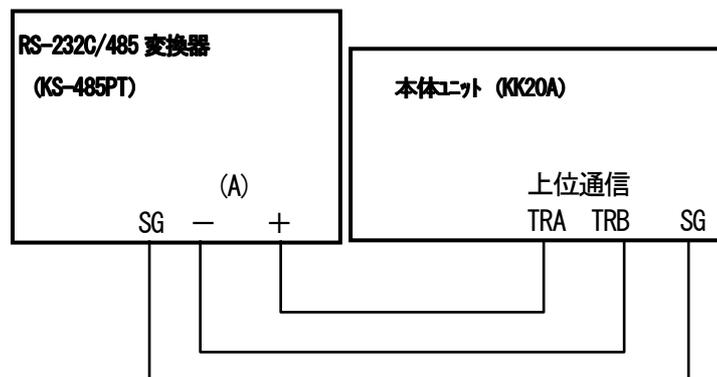


### ■ RS-232C/485—本体ユニット接続

#### KK11A との接続



#### KK20A との接続



■ RS-232C/485 変換器 通信速度設定

SW 設定

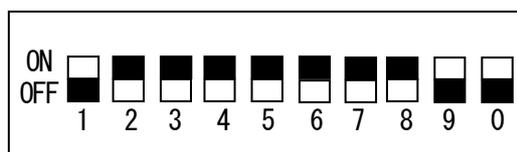
SW1～4 : 通信速度設定

通信速度 [bps]	SW1	SW2	SW3	SW4
19200 初期設定	OFF	ON	ON	ON
9600	ON	OFF	ON	ON
4800	OFF	OFF	ON	ON

SW5～0 : 初期設定状態

- 終端抵抗 : 使用 (100Ω)
- データ信号 : ER と DR をショート
- 内部クロック設定 : 8μs
- グラウンド設定 : FG と SG をオープン

設定例 (19200bps の場合)



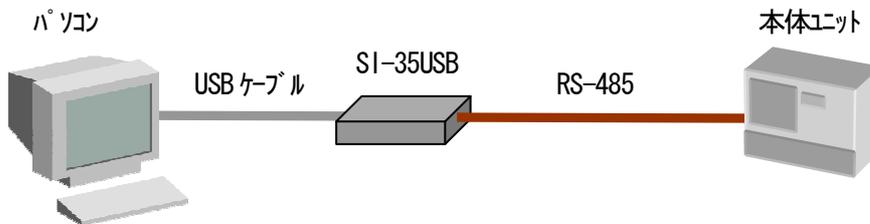
## USB/485 変換器との接続および設定方法

詳細は多回路電力レギュラ KK11A または KK20A の取扱説明書、および下記変換器の取扱説明書を参照してください。

### ■ パソコンと本体ユニット接続

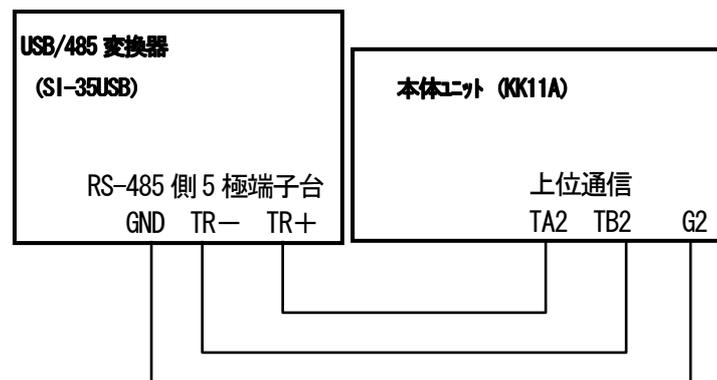
USB/485 変換器 (株)ライアイ製 SI-35USB

接続ケーブル: SI-35USB 付属の USB ケーブルまたは USB 規格に適合した USB ケーブル

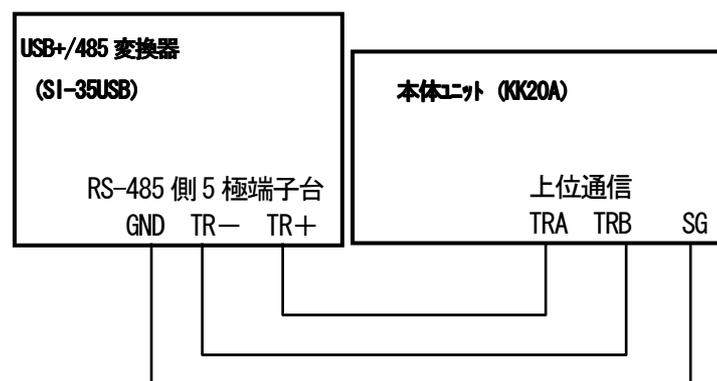


### ■ USB/485—本体ユニット接続

#### KK11A との接続



#### KK20A との接続



■ USB/485 変換器 設定

SW 設定

SW-A No. 1~3 : 通信速度設定

通信速度 [bps]	SW-A		
	No. 1	No. 2	No. 3
38400 初期設定	OFF	ON	OFF
19200	ON	OFF	OFF
9600	OFF	OFF	OFF
4800 (, 2400)	ON	ON	ON

SW-A No. 4-5 : ドライバ制御

**No. 4、No. 5** ともに OFF (半二重通信時の通常設定)

SW-B No. 1 : エコパック設定

**No. 1** を ON (エコパック無しの設定)

SW-B No. 2 : RS-422/485 回線の選択

**No. 2** を OFF (RS-485 半二重通信の設定)

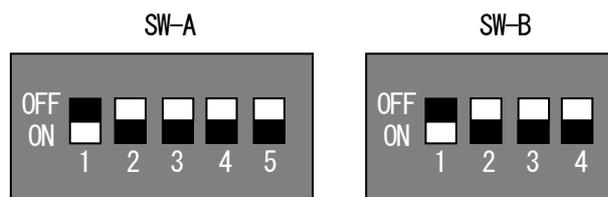
SW-B No. 3 : TR+, TR-間の終端抵抗

**No. 3** : ON (終端抵抗 100Ω 使用時)、OFF (終端抵抗 100Ω 使用しない時)

SW-B No. 4 : R+, R-間の終端抵抗

**No. 4** を OFF (R+, R-間の終端抵抗なし)

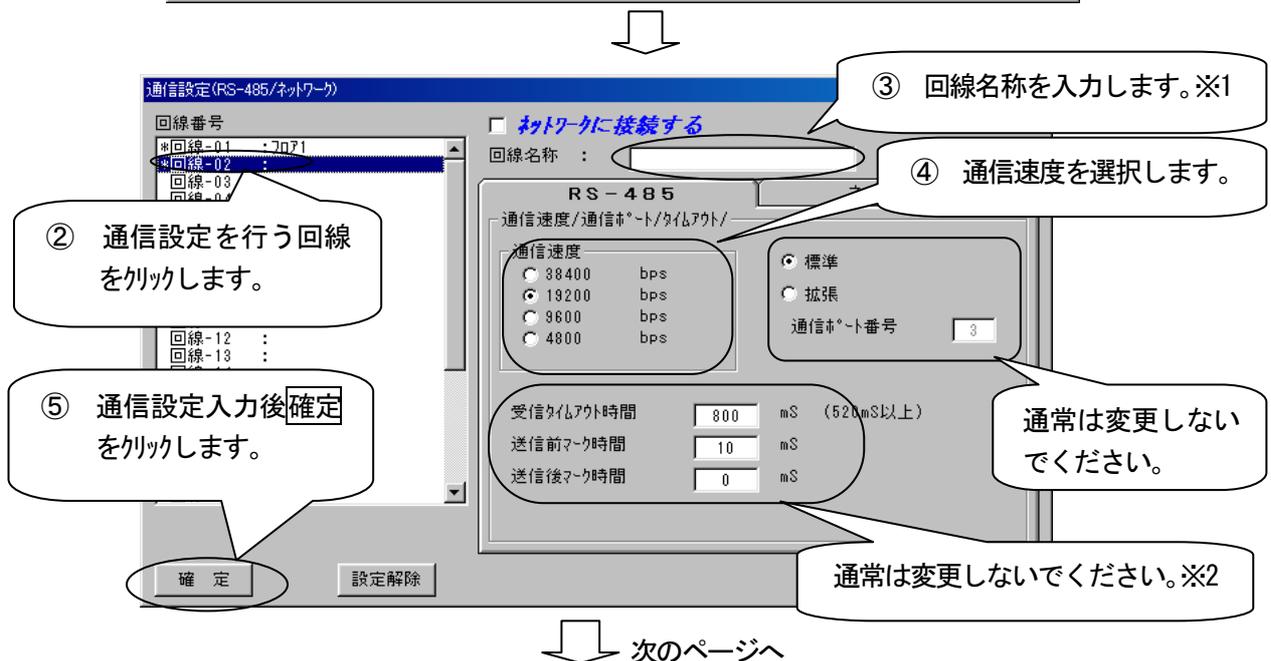
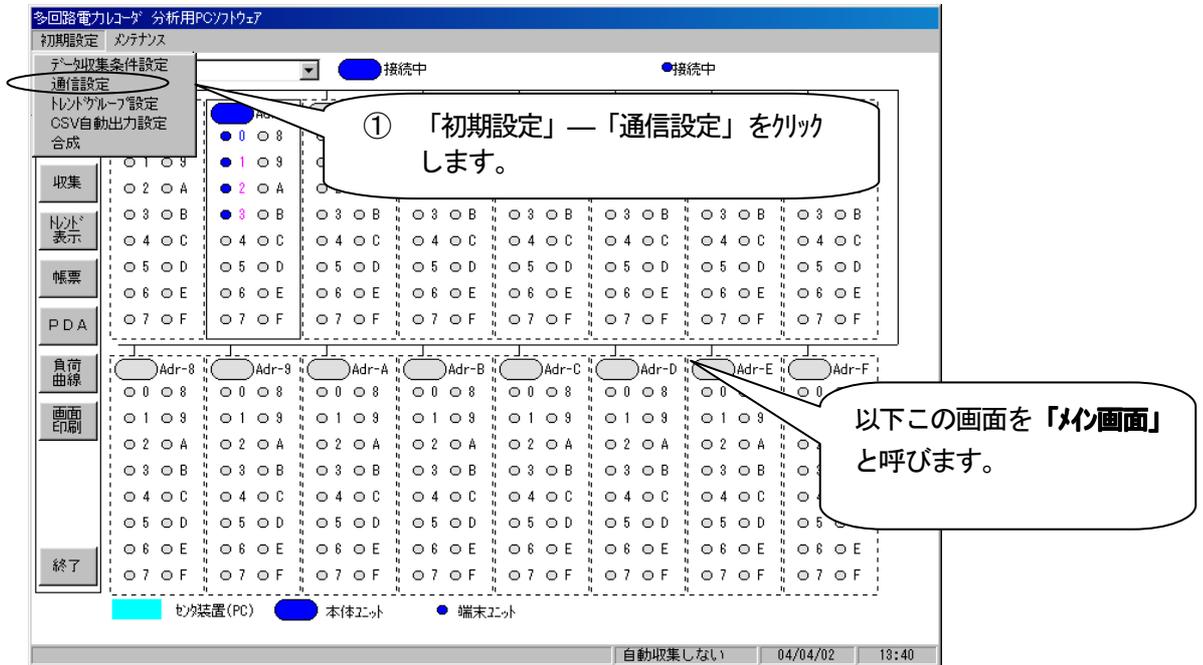
設定例 (19200bps、TR+, TR-間の終端抵抗使用時の場合)



## 通信設定方法

### RS485通信設定を行う

(例) 回線 02 に回線名称「7072」、通信速度「19200bps」を通信設定するとき



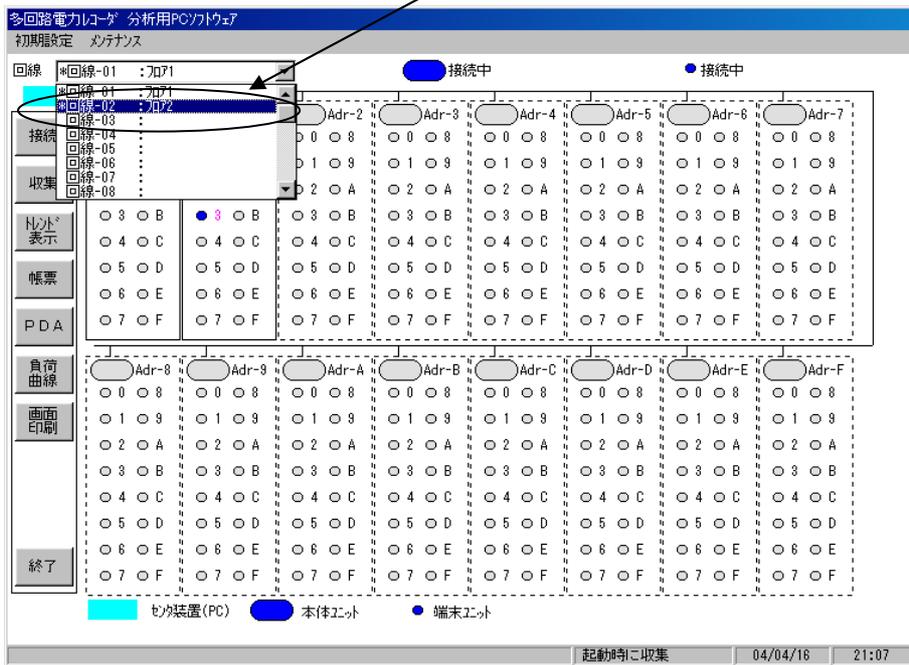
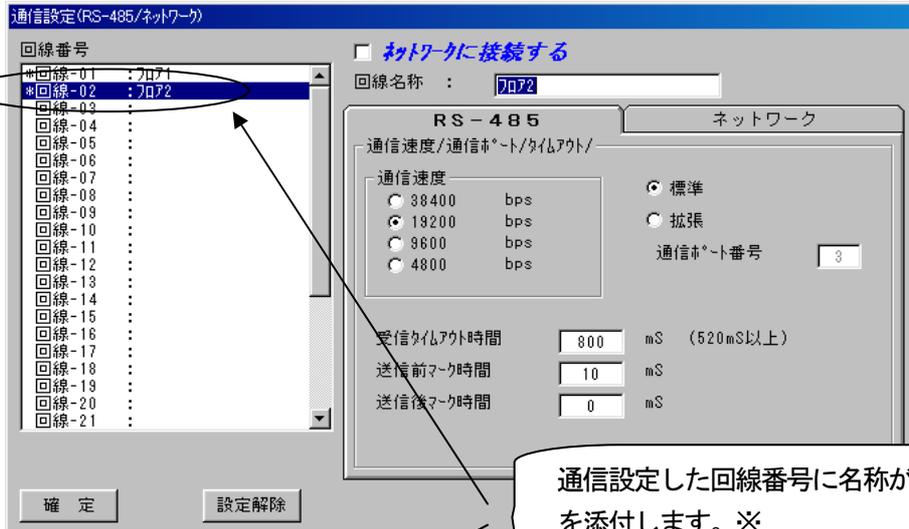
次のページへ

#### ※1 回線名称入力条件

項目	初期表示	登録可能文字数
回線名称	なし	半角 16 (全角 8) 文字

#### ※2 監視時間入力条件

項目	初期表示	有効入力範囲
受信タイムアウト時間	800	520 ~ 99999 ms
送信前マーク時間	10	0 ~ 999 ms
送信後マーク時間	0	0 ~ 999 ms



※ 回線01は、初期状態で接続設定 (RS485) されていますので「\*」がついています。

# 回線の設定を削除する

(例) 回線02の設定を削除するとき

① 設定を解除する回線をクリックします。

② 設定解除をクリックします。

③ はいをクリックします。

④ OKをクリックします。

⑤ 通信設定が終わったらキャンセルをクリックしてください。

設定解除された回線番号の「\*」、名称を削除します。

**⚠ 回線01の接続は解除できません。**

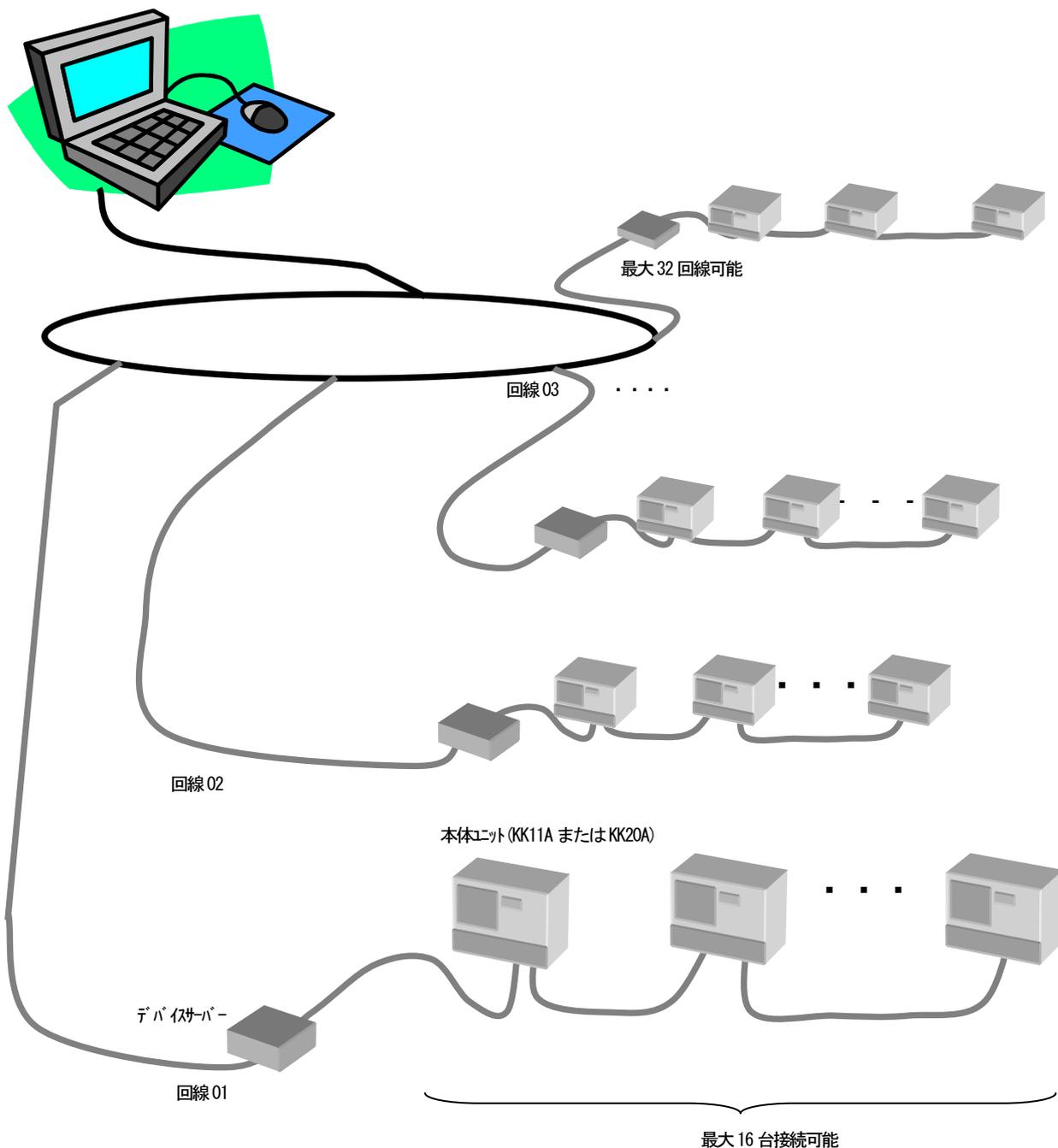
## 5 ネットワークで使用する場合

オンライン

### システム構成図

本ソフトウェアがインストールされているパソコンと本体ユニットはRS-485/Ethernet 変換器を介してネットワークに接続し、通信を行います。32 回線まで接続できます。1 回線に対して、本体ユニットは 16 台まで接続可能です。

推奨 RS-485/Ethernet 変換器  
(株)ライオン製 SI-65 相当



## ネットワークインターフェース仕様

RS-485/Ethernet 変換器 SI-65 を使用した場合のネットワークインターフェース仕様を下表に示します。

規格	IEEE802.3 準拠 (10BASE-T) 、IEEE802.3u 準拠 (100BASE-TX)
コネクタ形状	RJ-45 型
対応プロトコル	TCP/IP, UDP/IP, ARP, ICMP, SNMP, Telnet, DHCP, BOOTP, HTTP, Auto IP
トランス絶縁	1500V

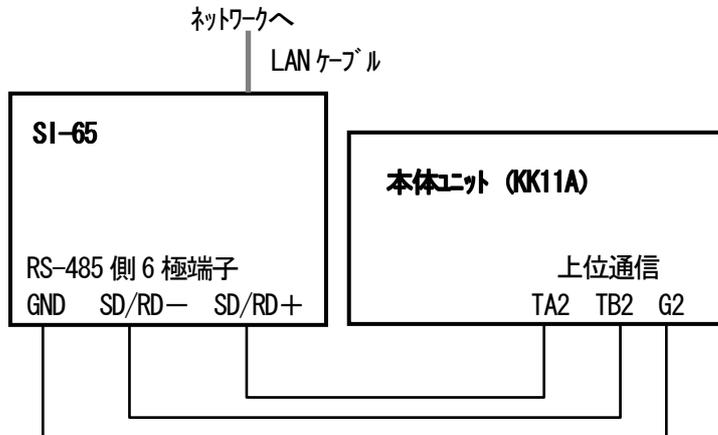
## ネットワーク/RS-485 の設定方法

SI-65 を使用した場合、LAN インターフェース部は SI-65 内蔵のラトロクス社 XPORT を設定する必要があります。次々頁に簡単な設定手順を示しますが、IP アドレス等の詳細設定は SI-65 の取扱説明書を参考に行ってください。  
なお本ソフトウェアを使用される場合は、SI-65 に固定 IP アドレスを設定してください。  
またパソコン側の設定は P5-5 を参照してください。

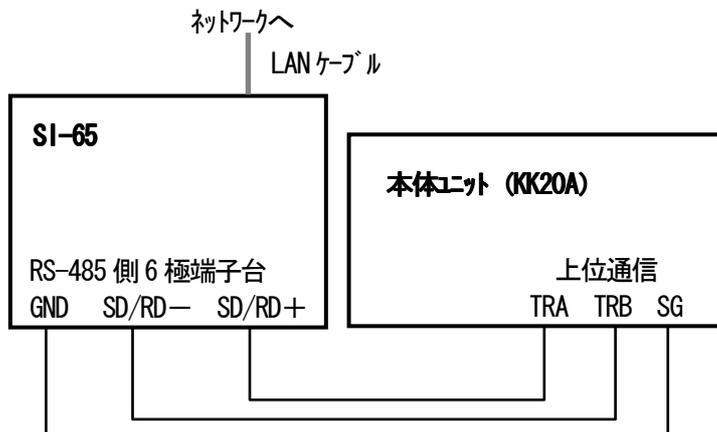
## 機器の接続

SI-65 を使用した場合の配線例を下図に示します。  
SI-65 と本体ユニット間は専用ケーブルで接続する必要があります。  
なお SI-65 を複数台ご使用される場合には、SI-65 付属の AC アダプターを SI-65 に接続しないで、RS-485 側 6 極端子台の "+5V IN" から電源を供給することも可能です。

### KK11A との接続



### KK20A との接続



■ RS-485/Ethernet 変換器 SW 設定

SW 設定

SW-A No. 1~3 : 通信速度設定

通信速度 [bps]	SW-A		
	No. 1	No. 2	No. 3
38400	OFF	ON	ON
19200	ON	OFF	ON
9600 <small>初期設定</small>	OFF	OFF	ON
4800	ON	ON	OFF

SW-A No. 4-5 : ドライバ制御

**No. 4** を ON (RS-485 送信ドライバ制御を AUTO)

SW-B No. 1 : RS-422/485 回線の選択

**No. 1** を ON (RS-485 半二重通信の設定)

SW-B No. 2 : エコーバック設定

**No. 2** を ON (エコーバック無しの設定)

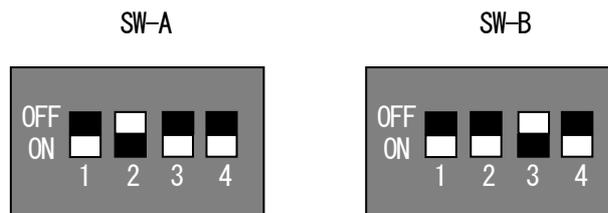
SW-B No. 3 : SD+, SD-間の終端抵抗

**No. 3** を OFF (SD+, SD-間の終端抵抗なし)

SW-B No. 4 : SD/RD+, SD/RD-間の終端抵抗

**No. 4** : ON (終端抵抗 100Ω 使用時) 、OFF (終端抵抗 100Ω 使用しない時)

設定例 (19200bps、SD/RD+, SD/RD-間の終端抵抗使用時の場合)



KK20A を KK21A と接続してご使用される場合、KK21A は RS-485/Ethernet 変換器ではありませんので、本ソフトウェアは動作しません。計測データは KK21A の CSV ファイルをご利用ください。

## ■ 内蔵 XPORT の設定手順

ここでは固定 IP アドレスを”192.168.100.110”に設定する場合の Windows のコマンドプロンプトでの操作例を示します。  
なお PC の IP アドレスを”192.168.100.110”に接続できるように変更しておく必要があります。

初めて IP アドレスを設定する場合には以下の①、②を行ってから③以降を実行してください。

### ① ARP テーブルエントリの作成

```
arp -s 192.168.100.110 yy-yy-yy-yy-yy-yy ⏎
```

192.168.100.110: 設定したい SI-65 の固定 IP アドレス

yy-yy-yy-yy-yy-yy : SI-65 の MAC アドレス

### ② ポート 1 に対する Telnet 接続 (一時的に XPORT に対して指定した IP アドレスを記憶させるコマンド)

```
telnet 192.168.100.110 1 ⏎
```

(上記コマンド実行後には接続に失敗)

### ③ ポート 9999 に対する Telnet 接続

```
telnet 192.168.100.110 9999 ⏎
```

### ④ セットアップモード

telnet 接続が成功すると「Press Enter for Setup Mode」のメッセージを表示しますので、5 秒以内に Enter キーを押してください。

### ⑤ ネットワークの設定

セットアップモードのメニューから「0 Server」を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス等を設定します。

例)

```
IP Address : (000) 192. (000) 168. (000) 100. (000) 110 ⏎ ← 192.168.100.110 を設定します。
```

```
Set Gateway IP Address (N) N ⏎ ← ゲートウェイアドレスを設定する場合は Y を押してください。
```

```
Netmask: Number of Bits for Host Part (0=default) (0) 8 ⏎ ← サブネットマスクを“255.255.255.0”に設定
```

```
Set DNS Server IP addr (N) N ⏎
```

```
Change telnet config password (N) N ⏎
```

### ⑥ RS-485 の設定

セットアップモードのメニューから「1 Channel 1」にて必要事項を設定します

変更の必要の無い項目は何も入力しないで Enter を押してください。

例)

```
Baudrate (9600) ? 19200 ⏎ ← RS-485 通信速度を 19200BPS に設定する場合
```

```
I/F Mode (4C) ? 78 ⏎ ← データビット: 7ビット、パリティ: 偶数、ストップビット: 1ビットに設定 (固定)
```

```
Flow (00) ? ⏎ ← フロー制御なしに設定
```

```
Port No (10001) ? ⏎ ← SI-65 の受付ポート番号を設定
```

```
ConnectMode (C0) ? ⏎
```

.

.

```
SendChar 2 (00) ? ⏎
```

} Enter を押すだけでよい

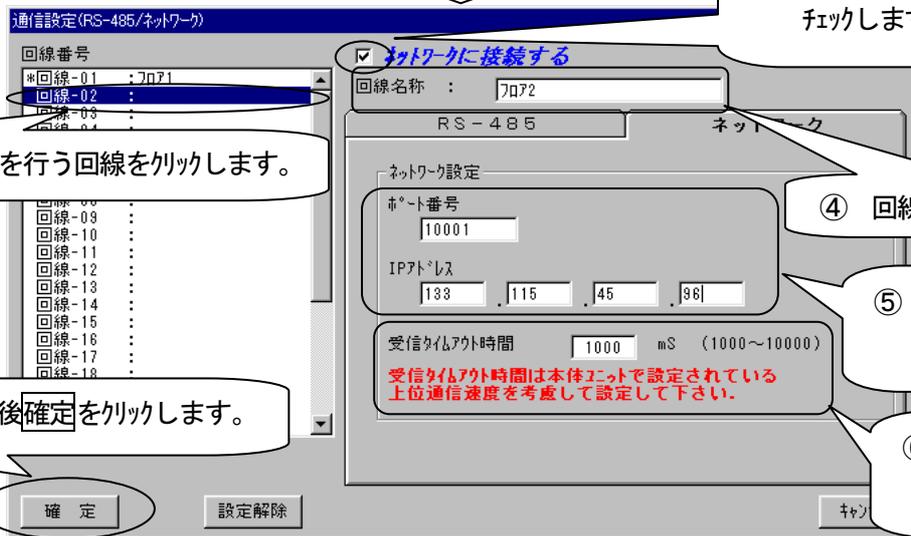
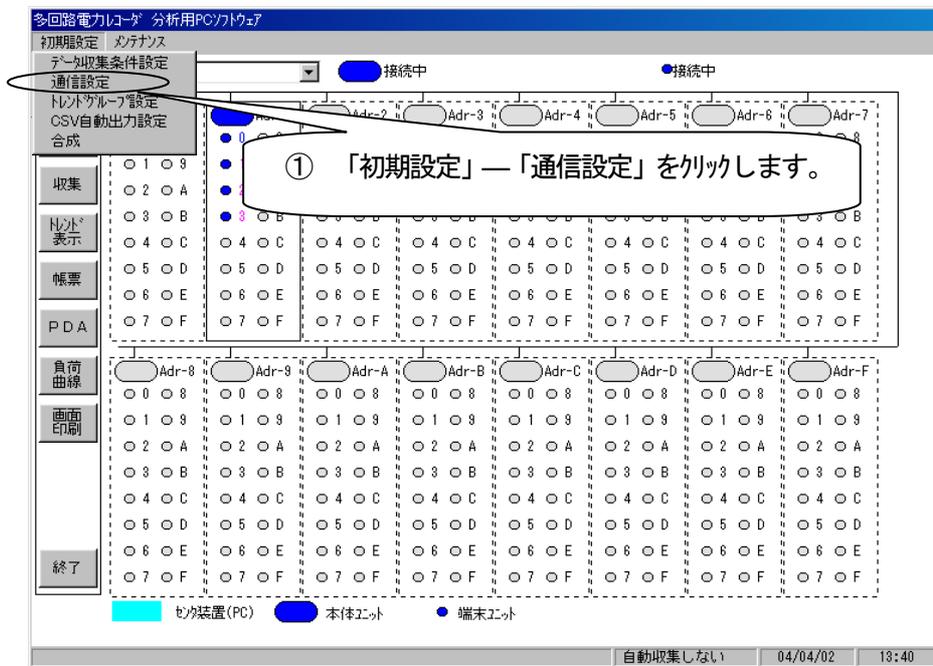
### ⑦ 設定内容の保存

セットアップモードのメニューから「9 Save and exit」を選択すると XPort に変更した値が反映されます。

# 通信設定方法

## ネットワークに設定する

(例) 回線02をネットワークに設定する



次のページへ

※1 回線名称入力条件

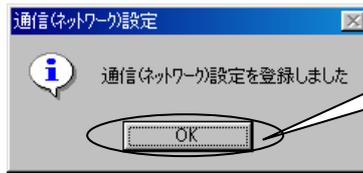
項目	初期表示	登録文字数
回線名称	なし	半角16(全角8)文字

※2 ネットワーク設定値入力条件

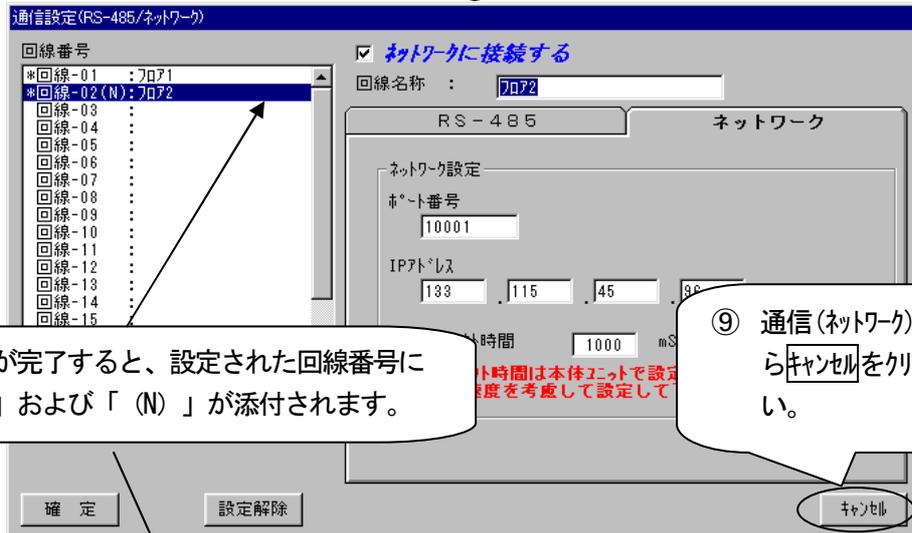
項目	初期表示	登録文字数
ポート番号	なし	半角5桁
IPアドレス	なし	各半角3桁

※3 監視時間入力条件

項目	初期表示	有効入力範囲
受信タイムアウト時間	1000	1000~10000 ms

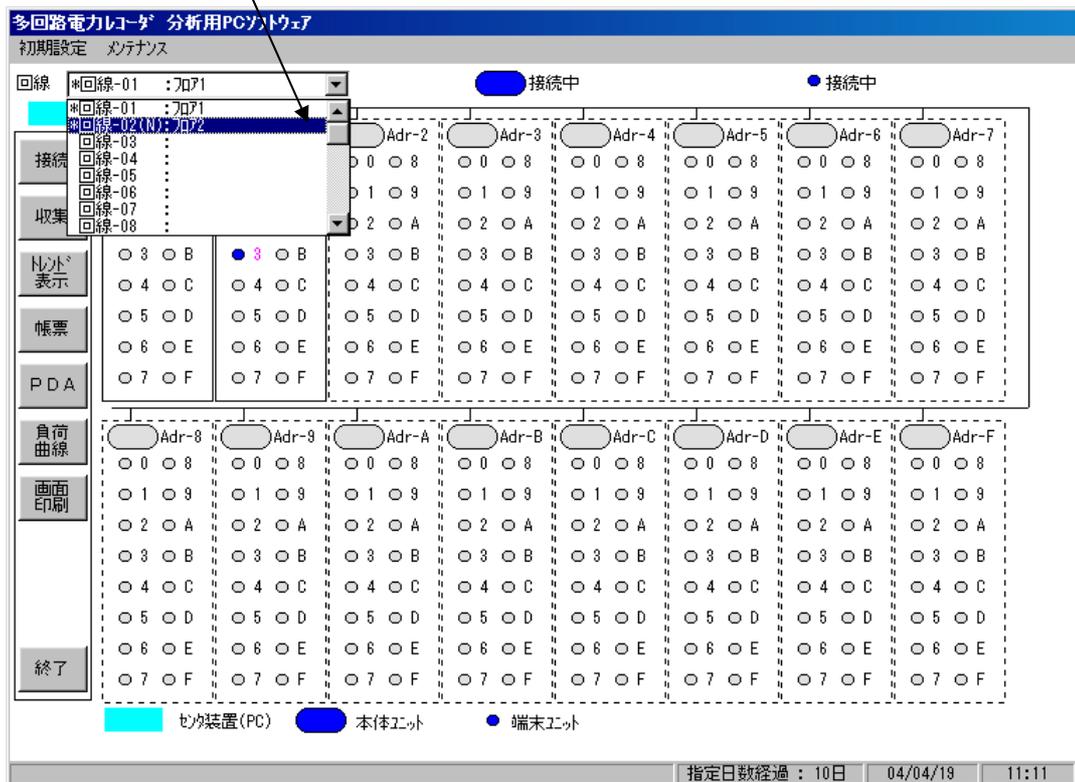


⑧ OKをクリックします。



設定が完了すると、設定された回線番号に「\*」および「(N)」が添付されます。

⑨ 通信(ネットワーク)設定が終わったらキャンセルをクリックしてください。



ネットワーク設定を解除する方法は、RS485を使用する場合と同様です。P4-6 参照

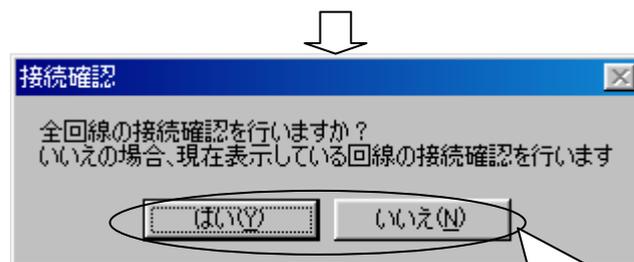
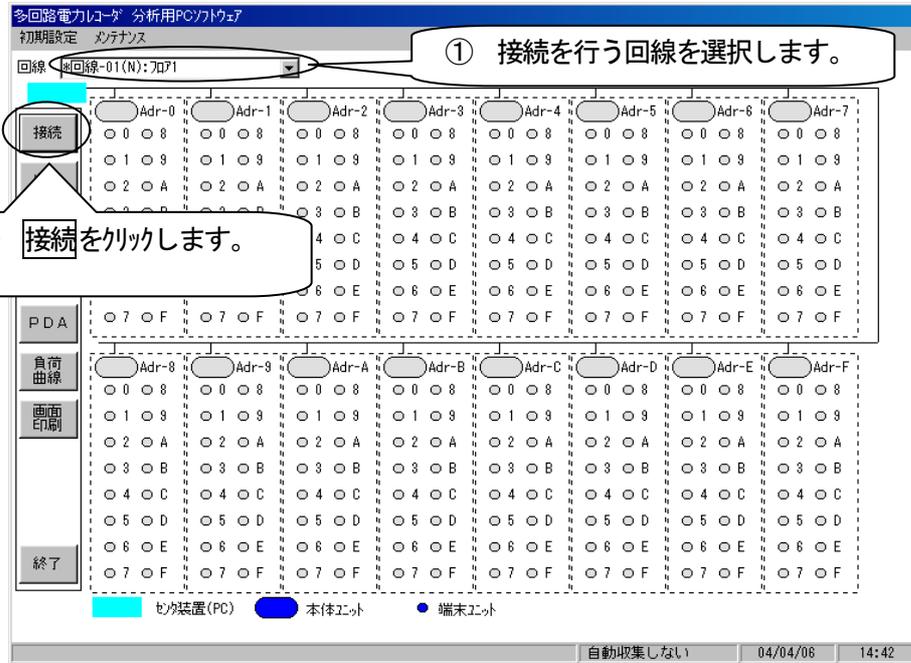
## 6 接続を確認する

オンライン

### 接続を行う

回線ごとに本体ユニット、端末ユニットの接続状態の表示を行います。

また本体ユニット、端末ユニットを追加で接続したり、変更したりした場合にも必ず接続確認を行ってください。



- ④
- ・通信設定したすべての回線で接続状態を確認します。  
→ はいをクリック
  - ・画面表示している回線のみで接続状態を確認します。  
→ いいえをクリック

↓ 次のページへ

確認中画面

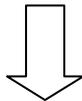
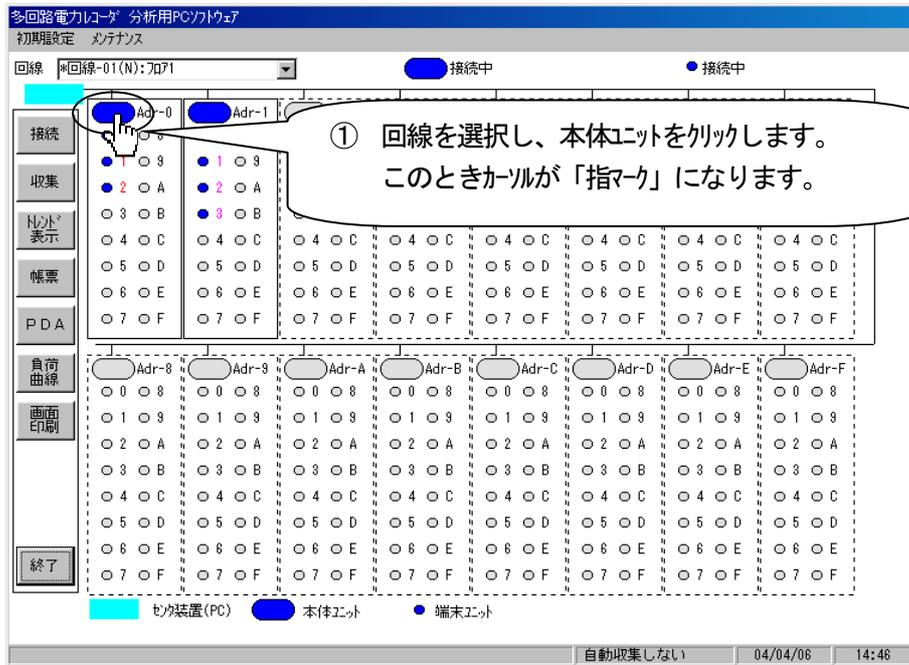
確認終了後画面

※ 端末エットの表示色

表示色	端末
赤	2線式計測エット
桃	3線式計測エット
緑	パル入力エット
青	アナログ入力エット

## 本体ユニットの情報を確認する

(例) 回線01 本体ユニットアドレス0 の情報を確認するとき



### 本体ユニット機能選択画面説明

本体ユニット機能選択画面

本体ユニット 回線 : 01  
 本体ユニット アドレス : 0  
 本体ユニット ID : 006S11  
 本体ユニット 名称 : #90 6F 事務所

変更

本体ユニットの現在値を見る

本体ユニットに記録されている時限データを見る

本体ユニットの叩きおよびリポートを確認する

本体ユニットの設定を確認する

戻る

本体ユニットの情報を表示します。

本体ユニット名称を登録します。P6-4 参照

本体ユニットの現在値表示画面を表示します。P13-1 参照

時限データ確認画面を表示します。P14-10 参照

叩きおよびリポート 確認画面を表示します。P14-5 参照

本体ユニットの設定を確認します。P6-5 参照

## 本体ユニットの名称を登録する

(例) 回線 01 本体ユニットアドレス 0 に本体ユニット名称「事務所」を登録するとき

本体ユニット機能選択画面

本体ユニット 回線 : 01  
 本体ユニット アドレス : 0  
 本体ユニット ID : 006S11  
 本体ユニット 名称 :

変更

本体ユニットの現在値を見る

本体ユニットに記録されている時限データを見る

本体ユニットのログおよびレポートを確認する

本体ユニットの設定を確認する

戻る

① 変更をクリックします。

② 名称を入力します。※

変更する名称

事務所

確定

キャンセル

③ 確定をクリックします。

名称登録

本体ユニットの名称を登録しました

OK

④ OKをクリックします。

名称変更

変更する名称

事務所

確定

キャンセル

⑤ キャンセルをクリックします。

※ 本体ユニット名称入力条件

項目	初期表示	登録可能文字数
本体ユニット名称	なし	半角 24 (全角 12) 文字

## 本体ユニットの設定内容を見る

本体ユニットに設定されている情報を表示します。

(例) 回線01 本体ユニットアドレス0の設定内容を確認するとき

本体ユニット機能選択画面

本体ユニット 回線	: 01
本体ユニット アドレス	: 0
本体ユニット ID	: 006S11
本体ユニット 名称	: 事務所

変更

本体ユニットの現在値を見る

本体ユニットに記録されている時限データを見る

本体ユニットのログおよびレポートを確認する

本体ユニットの設定を確認する

戻る

① 本体ユニットの設定を確認するをクリックします。

本体ユニットの設定確認

本体ユニット 回線	: 01
本体ユニット アドレス	: 0
本体ユニット ID	: 006S11
本体ユニット 名称	: 事務所

現在時刻 : 2004/03/12 14:28:58

ID設定 : 006S11

相線式設定 : 単相3線

変圧比設定 : 110 / 110V

時限設定 : 1分

保存データ設定 : 電力(kW) 最大  
力率(PF) 平均  
電圧(V) 最小  
電流(A) 最大

閉じる

本体ユニットに設定されている情報を収集し、表示します。  
※1、※2 (次ページ参照)

※1 本体ユニット設定内容

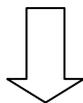
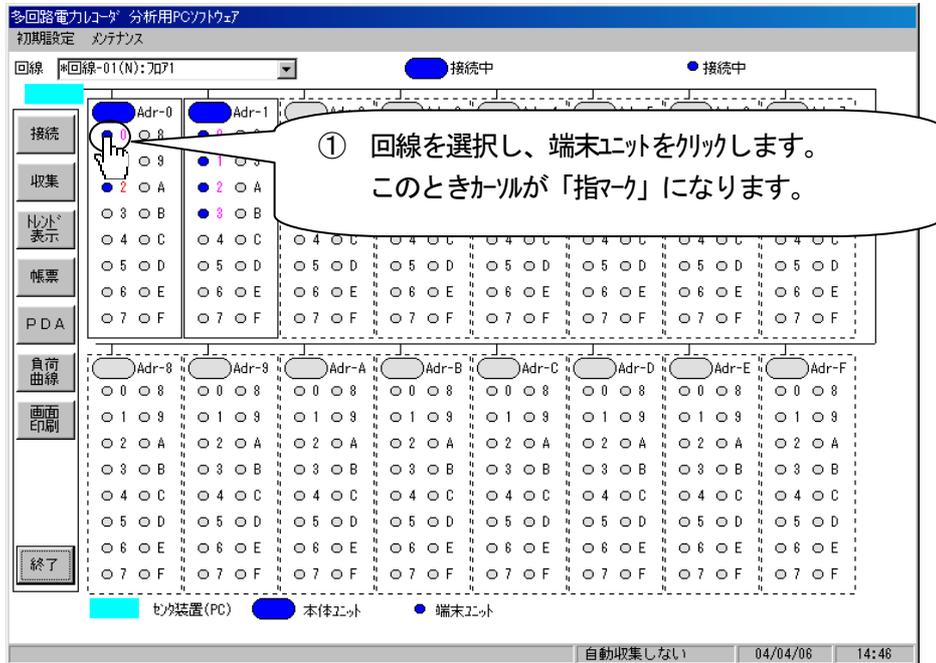
現在時刻	本体ユニットの時刻を表示します。
ID 設定	ID を表示します
相線式設定	相線式を表示します。 (単相2線、単相3線、三相3線)
変圧比設定	変圧比を表示します。
時限設定	時限を表示します。(1分、30分)
保存データ設定	電力、力率、電圧、電流それぞれの保存データ形式を表示します。 (最大、最小、平均、瞬時)

※2 保存データ設定と日報・月報

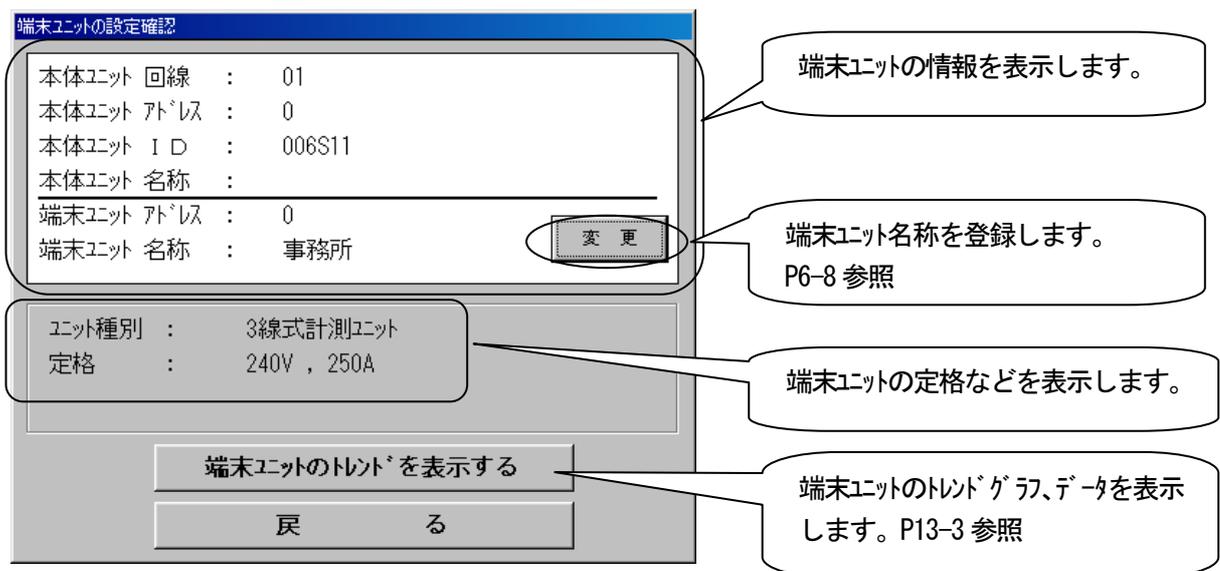
日報・月報の電力、力率、電圧、電流は最大値を表示 (P9-18 参照) しますので、電力、力率、電圧、電流を日報・月報表示する場合は、本体ユニットにて保存データ設定を最大または瞬時にしてください。設定の詳細については「多回路電力レコーダ 取扱説明書」を参照ください。

## 端末ユニットの情報を確認する

(例) 回線01、本体ユニットアドレス0、端末ユニットアドレス0の端末ユニットを確認するとき



### 端末ユニットの設定確認画面説明



## 端末ユニットの名称を登録する

端末ユニットをクリックし、「端末ユニット機能選択画面」から端末ユニットの名称を登録します。

(例) 回線 01 本体ユニットアドレス 0 端末ユニットアドレス 0 に端末ユニット名称「2線式計測ユニット」を登録するとき

端末ユニットの設定確認

本体ユニット 回線 : 01  
 本体ユニット アドレス : 0  
 本体ユニット ID : 006S11  
 本体ユニット 名称 :  
 端末ユニット アドレス : 0  
 端末ユニット 名称 : 事務所

変更

ユニット種別 : 3線式計測ユニット  
 定格 : 240V , 250A

端末ユニットのアドレスを表示する

戻る

① 変更をクリックします。

② 名称を入力します。※

変更する名称 2線式計測ユニット

確定

キャンセル

③ 確定をクリックします。

名称登録

端末ユニットの名称を登録しました

OK

④ OKをクリックします。

名称変更

変更する名称 2線式計測ユニット

確定

キャンセル

⑤ キャンセルをクリックします。

※ 端末ユニット名称入力条件

項目	初期表示	登録可能文字数
端末ユニット名称	なし	半角 24 (全角 12) 文字

## メイン画面を印刷する

メイン画面で表示している回線状態を印刷します。

多回路電力ユーザ分析用PCソフトウェア  
初期設定 メンテナンス

回線 回線-01(N):7071 ● 接続中 ● 接続中

	Adr-0	Adr-1	Adr-2	Adr-3	Adr-4	Adr-5	Adr-6	Adr-7
接続	○0○8	○0○8	○0○8	○0○8	○0○8	○0○8	○0○8	○0○8
収集	○1○9	○1○9	○1○9	○1○9	○1○9	○1○9	○1○9	○1○9
グラフ表示	○2○A							
帳票	○3○B							
PDA	○4○C							
負荷曲線	○5○D							
画面印刷	○6○E							
終了	○7○F							

① 画面印刷をクリックします。

■ 本体装置(PC) ● 本体エント ● 端末エント

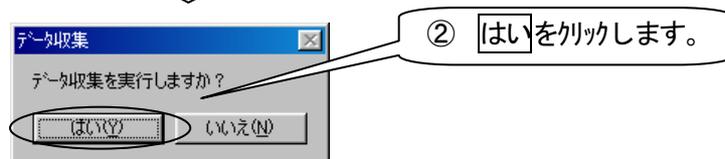
自動収集しない 04/04/06 14:42

# 7 データを収集する

オンライン

接続している本体ユニットの時限データを収集し、データベースに保存します。データ収集には時間がかかりますので定期的にデータ収集をすることを推奨します。自動でデータ収集を行う設定も可能です。

## データを収集する



次のページへ

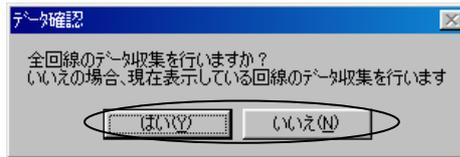


### KK11A の場合

データ収集は1分時限の場合 30 時間以内、30分時限の場合 40 日以内に必ず行ってください。それ以上経過しますと、収集データが欠落しますので定期的に収集をしてください。

### KK20A の場合

- ・ 30分時限、全計測項目保存の場合：データ収集は 30 日以内に必ず行ってください。
  - ・ 30分時限、電力量のみ保存の場合：データ収集は 175 日以内に必ず行ってください。
  - ・ 60分時限、全計測項目保存の場合：データ収集は 60 日以内に必ず行ってください。
  - ・ 60分時限、電力量のみ保存の場合：データ収集は 350 日以内に必ず行ってください。
- それ以上経過しますと、収集データが欠落しますので定期的に収集をしてください。



- ③
- ・通信設定したすべての回線で収集を行います。 → **はい**をクリック
  - ・画面表示している回線のみで収集を行います。 → **いいえ**をクリック



データ収集通信中はメッセージを表示します。

※1 収集状態の表示色

表示色	収集状態
水	データ収集待ち
赤	データ収集中
青	接続中 (データ収集を完了)
黄	データ収集中にエラーが発生

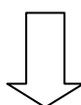
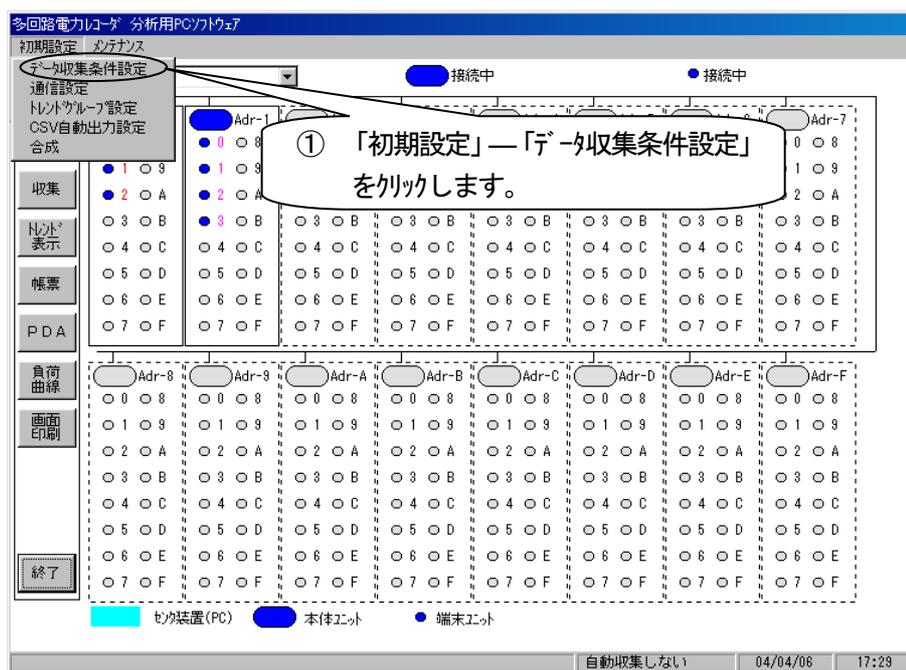
※2 リトライ中の本体ユニットの表示色は青色 (通常の収集中は赤色) になります。

## 自動収集を設定する

データ収集について次のいずれかの設定が可能です。

- ・ソフトウェア起動時に自動収集する。
- ・毎日定時に自動収集する。(00、01、・・・23時まで設定可能)
- ・指定日数経過ごとに収集するかどうかのメッセージを表示する。(5、10、20、30日を選択可能)
- ・自動収集設定はしない。

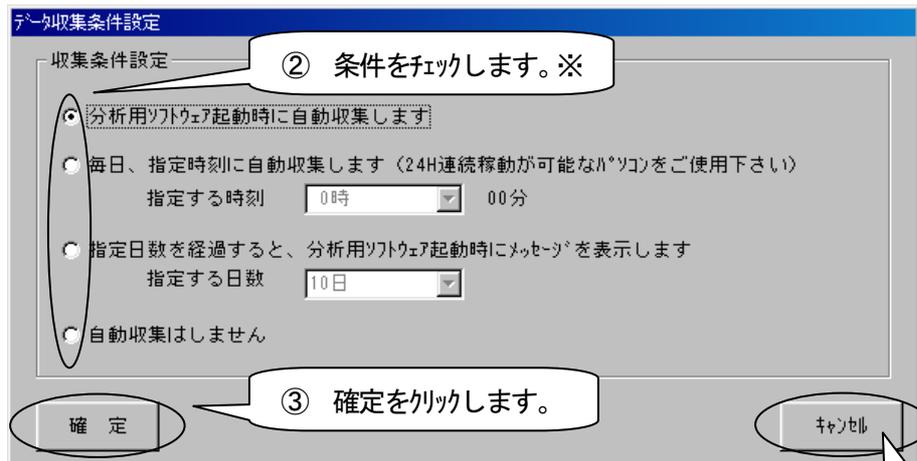
(例) 「分析用ソフトウェア起動時に自動収集します」を設定するとき



次のページへ



指定時刻に自動収集設定した場合、自動収集待ちの間はメイン画面を表示してください。指定時刻での自動収集の起動は、メイン画面を表示中にのみ有効となります。



④ OKをクリックします。



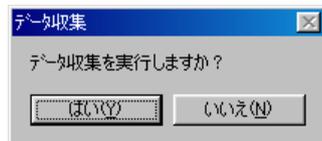
⑤ キャンセルをクリックします。

↓ 次のページへ

### ※自動収集条件

- ・ソフトウェア起動時に自動収集する。  
——> 「分析用ソフトウェア起動時に自動収集します」を選択
- ・定時刻に自動収集する。  
——> 「毎日、指定時刻に自動収集します」を選択  
(00～23時を選択)
- ・指定日数経過ごとに収集するかどうかのメッセージを表示する。  
——> 「指定日数を経過すると、分析用ソフトウェア起動時にメッセージを表示します」を選択  
(5, 10, 20, 30日を選択)

データベースにある最新の収集データ日付から選択した日数経過すると、本ソフトウェア起動時に自動収集するかどうかのメッセージ（以下の画面）が表示されます。



- ・自動収集設定はしない。  
——> 「自動収集はしません」を選択

多回路電力ログ 分析用PCソフトウェア  
 初期設定 メンテナンス

回線 回線-02(N): ● 接続中 ● 接続中

接続 収集 出力表示 帳票 PDA 負荷曲線 画面印刷 終了	Adr-0	Adr-1	Adr-2	Adr-3	Adr-4	Adr-5	Adr-6	Adr-7
	0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8
	1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9
	2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A
	3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B
	4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C
	5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D
	6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E
7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	
Adr-8	Adr-9	Adr-A	Adr-B	Adr-C	Adr-D	Adr-E	Adr-F	
0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8	0 0 8	
1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9	1 0 9	
2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A	2 0 A	
3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B	3 0 B	
4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C	4 0 C	
5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D	5 0 D	
6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E	6 0 E	
7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	7 0 F	

■ 本体装置(PC)   
 ■ 本体ユニット   
 ● 端末ユニット

起動時に収集    04/04/15    16:41

待機中は設定内容が表示されます。

## 自動収集後のCSVファイルを自動出力する

定時刻の自動収集後に日報に登録された項目をCSVファイルに自動的に出力する設定が可能です。

### 日報登録

自動収集後にCSVファイルを自動出力する項目は日報登録された項目ですので、まず日報登録を行う必要があります。日報登録につきましては、帳票登録 (P9-2) をご覧ください。

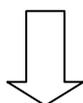
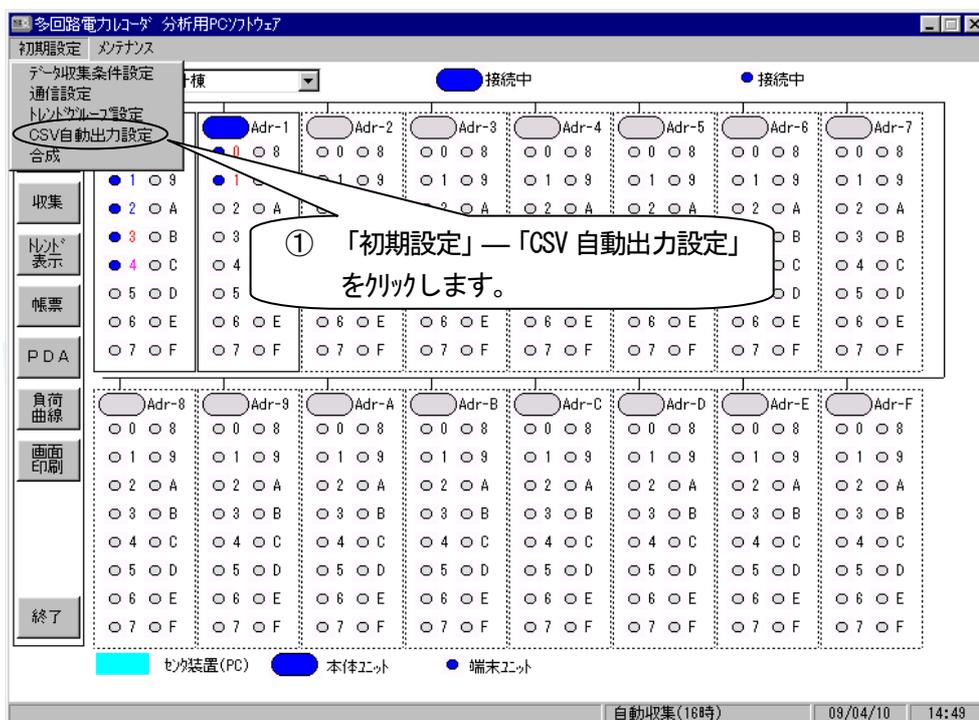
### CSVファイルの自動出力設定

データ収集条件を「毎日定時に自動収集します」に設定しているときに、自動収集後のCSVファイル自動出力について次の設定が可能です。

- ・ 自動収集後のCSVファイルの自動出力の有無
- ・ 当日のCSVファイルの出力の有無
- ・ 出力日数 (1~40 まで設定可能)

(例) データ収集条件を「毎日定時に自動収集します」の16時に設定後、  
CSVファイル自動出力条件を次のように設定するとき

- ・ 「自動収集後に出力する」
- ・ 「当日を出力する」
- ・ 「出力日数」を3日



次のページへ

② ドライブ、フォルダを指定して、CSVファイルの出力先を設定します。

④ 「自動収集後に出力する」をチェックします。

⑤ 「当日を出力する」をチェックします。※

⑥ 「出力日数」は3日を選択します。※1

⑦ 保存をクリックします。

⑧ OKをクリックします。※2

⑨ 閉じるをクリックします。

③ 出力先フォルダを確認します。

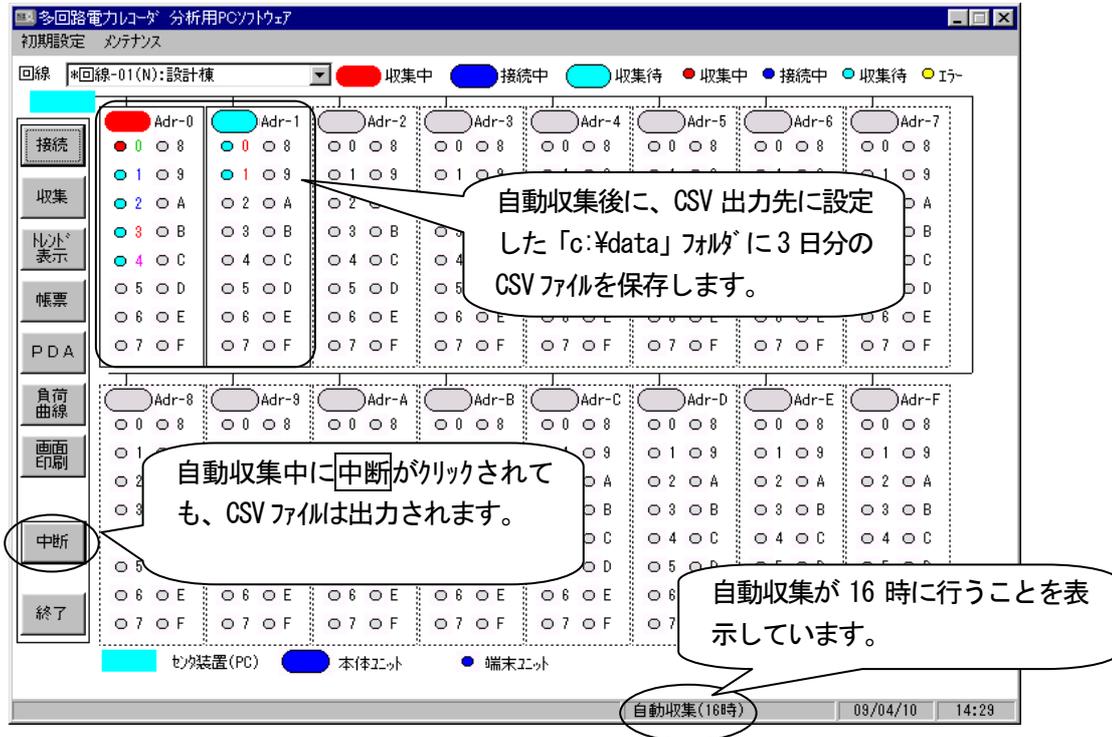
※1 「当日を出力する」を選択したときは当日を含めた日数となり、「当日を出力する」を選択しないときは、前日からの日数となります。

⚠ ※2 出力先にある自動出力した CSV ファイルを開いたまま、再度 CSV ファイルの自動出力を行わないでください。本ソフトウェアが正常に動作しない恐れがあります。

## CSVファイルの自動出力

「毎日定時に自動収集します」に設定しているときに、自動収集後にCSVファイルを出力します。

(例) 16時に「毎日定時に自動収集します」に設定しているとき



# 8 PDA で収集したデータを使用する場合

帳票作成やグラフ表示を行うために、PDA で KK11A から収集したデータをデータベースに保存します。

## 本体ユニット(KK11A)の設定確認

本ソフトウェアは PDA 番号と呼ぶグループ番号を 16 グループまで登録でき、1 グループ当たり本体ユニットは 16 台まで登録できます。PDA で収集した CSV 形式のファイルを読み込むことで最大 256 台の本体ユニットの時限データを取り込むことができます。※1  
ただし、1 グループ内においては本体ユニットのアドレス ("0"~"F") は異なる必要があります。

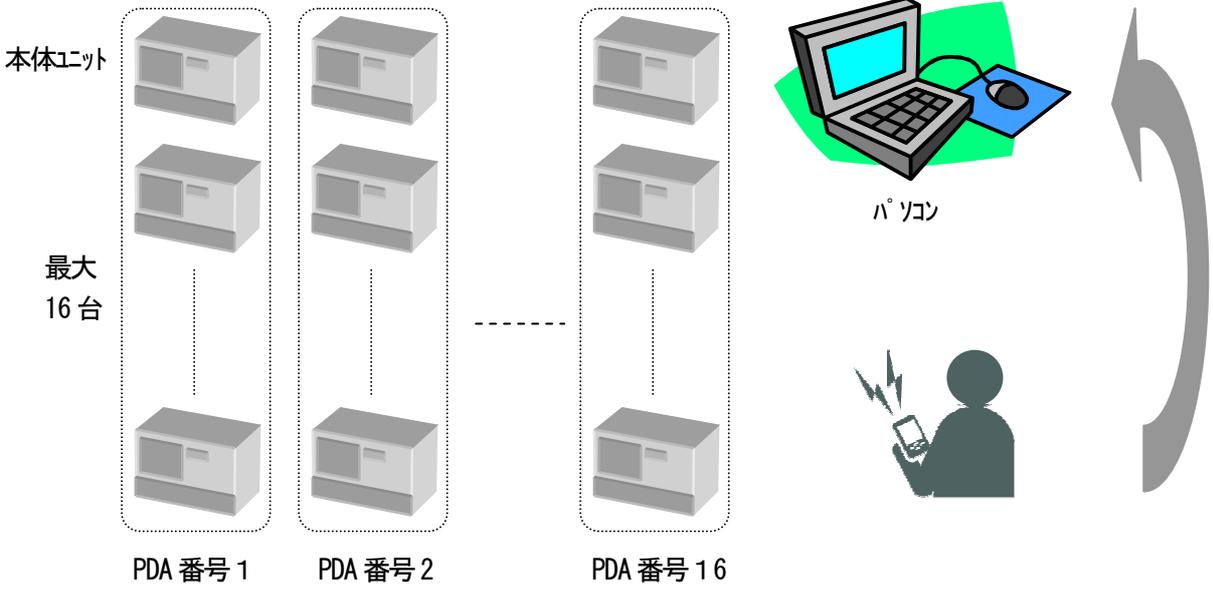
PDA で本体ユニットのデータを収集する前に下記の設定を確認してください。設定の詳細については、「多回路電力レコーダ取扱説明書」を参照ください。

### 本体ユニットの ID

本体ユニットの ID を設定していない場合、同じ PDA で 2 台以上の本体ユニットのデータを収集しようとすると、先に収集したファイルを上書きする恐れがあります。これを回避するため、本体ユニットに固有な ID 番号を設定してください。※2

### 本体ユニットのアドレス

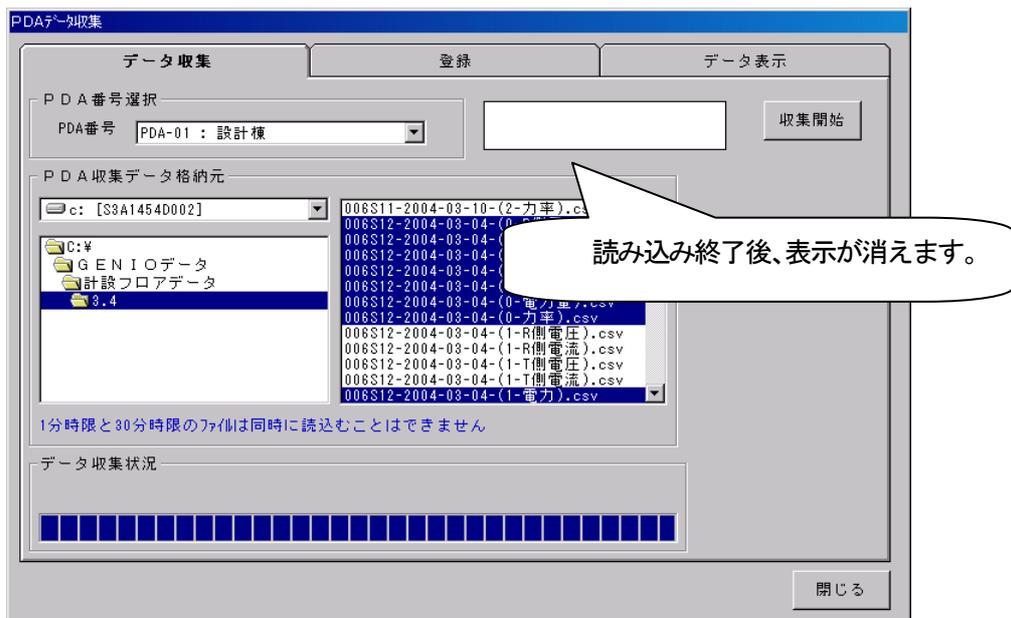
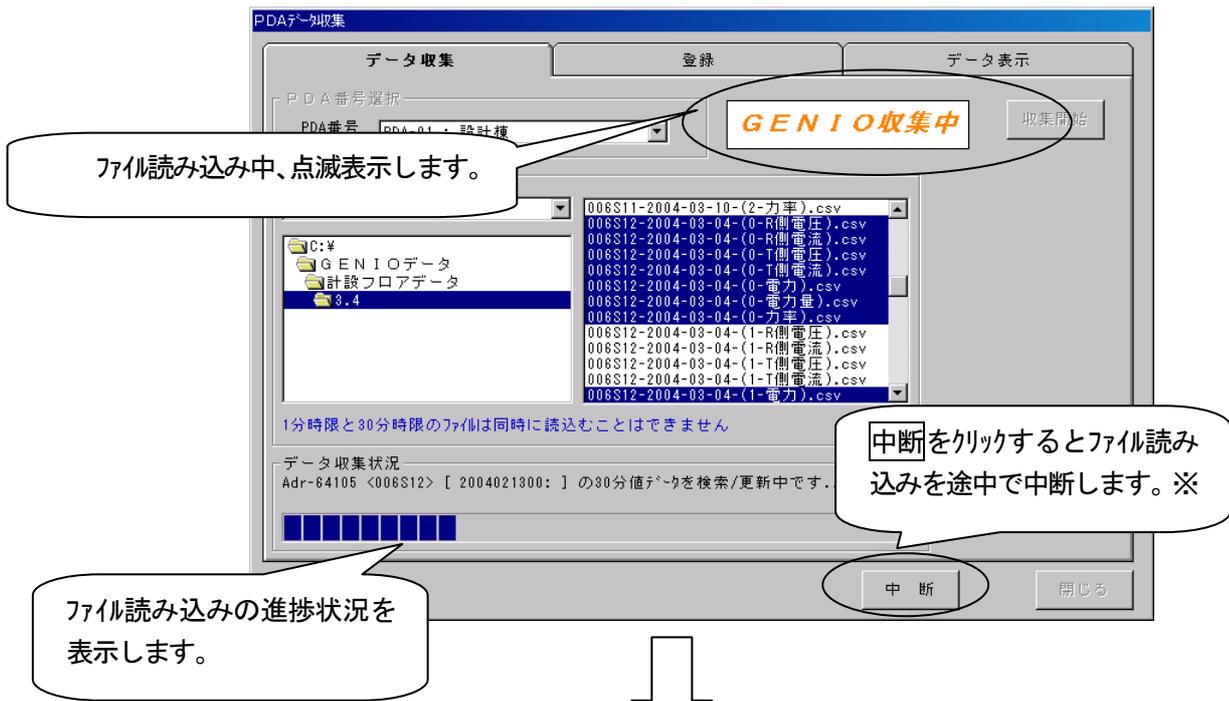
本ソフトウェアを使用して PDA で収集したデータを読み込む場合、アドレスを設定していない 2 台以上の本体ユニットのデータを同じ PDA 番号で読み込むと、データベースに保存しているデータを上書きする恐れがあります。2 台以上の本体ユニットのデータを読み込む場合はそれぞれ PDA 番号を切替えてデータを読み込むか、あるいは本体ユニットをそれぞれ異なったアドレスに設定して PDA でデータを収集してください。※2



⚠ ※1 PDA で収集した CSV ファイルを編集すると、本ソフトウェアで読み込めなくなる恐れがあります。

📄 ※2 本体ユニットの ID の設定および本体ユニットのアドレスを変更しても、本体ユニットに保存されている計測データは変更されません。





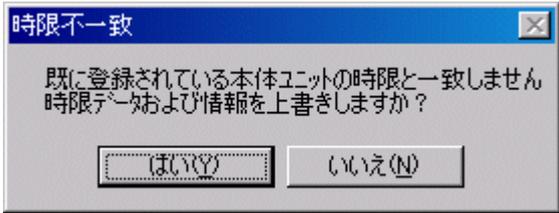
※ **中断**

次のメッセージを表示しますので、CSV ファイルの読み込みを中断するときは**はい**をクリックしてください

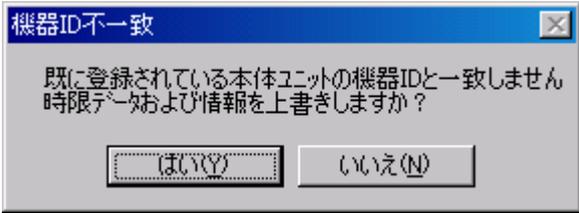


PDA 番号の選択を間違えて「収集開始」をクリックすると下記メッセージを表示することがあります。  
いずれの表示の場合も、既にデータベースに保存しているデータを残しておきたいときには、「いいえ」を選択し  
現在選択している PDA 番号を変更した後、再度「収集開始」をクリックしてください。

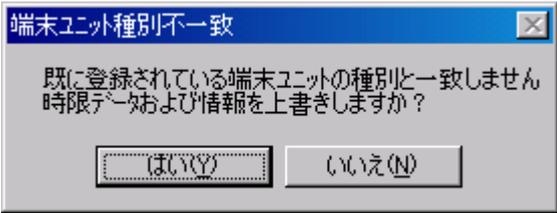
 既に収集した PDA データの時限と現在収集しようとする PDA データの時限が異なるときに表示します。



 既に収集した PDA データの本体ユニット ID と現在収集しようとする PDA データの本体ユニット ID が異なるときに表示します。



 本体ユニットおよび端末ユニットアドレスが同じときに、既に収集した PDA データの端末ユニットの種別と現在収集しようとする PDA データの端末ユニットの種別が異なるときに表示します。



## 名称を登録する

① PDAデータ収集画面の「登録」ボタンをクリックします。

② データ収集時に選択したPDA番号を表示しますので、その番号をクリックします。

③ 読み込んだファイルの本体ユニットアドレスを表示しますので、そのアドレスをクリックします。

④ 端末ユニットアドレスを表示しますので、そのアドレスをクリックします。

⑤ PDA名称、本体ユニット名称、端末ユニット名称を入力します。※

⑥ 確定をクリックします。

⑦ OKをクリックして登録を終了します。続けて名称を登録する場合は②～⑦を実施してください。

本体ユニットアドレスがクリックされると、本体ユニットIDを表示します。

※ 名称入力条件

項目	初期表示	登録可能文字数
PDA 名称	なし	半角 16 (全角 8) 文字
本体ユニット名称	なし	半角 24 (全角 12) 文字
端末ユニット名称	なし	半角 24 (全角 12) 文字

## 取り込んだデータを表示する

PDA で収集したデータを表示します。

① 「データ表示」タブをクリックします。

データ表示

機器ID	日付	時刻	項目名称	選択	時限01	時限02	時限
006S11	2004/02/26	09	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/26	10	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/26	11	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/26	12	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.0	0.1	0
006S11	2004/02/26	13	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/26	14	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.0	0.1	0
006S11	2004/02/26	15	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.0	0.1	0
006S11	2004/02/26	16	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.0	0.1	0
006S11	2004/02/26	17	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.0	0.1	0
006S11	2004/02/26	18	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/26	19	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.0	0.1	0
006S11	2004/02/26	20	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/26	21	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/26	22	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/26	23	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/27	00	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.1	0.0	0
006S11	2004/02/27	01	電灯 (電力量)	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0	0

同一日時の検索    グラフ表示    閉じる

取り込んだデータを表示  
します。

## 取り込んだデータをグラフ表示する

PDA で収集したデータをグラフ表示します。

30分時限時は「00」固定で、0時からのデータを表示します。

① 「データ表示」ボタンをクリックします。

1分時限時は1～60（1時間データ）  
30分時限時は1～48（1日データ）  
データを表示します。

② 選択欄をチェックし、グラフ表示する項目を選択します。※  
選択した項目の時刻がグラフ表示開始時刻となります。

③ グラフ表示をクリックします。

次のページへ

※ 同一日時の計測項目のデータを、4つまでグラフ表示することができます。  
同一日時の検索方法を以下に示します。

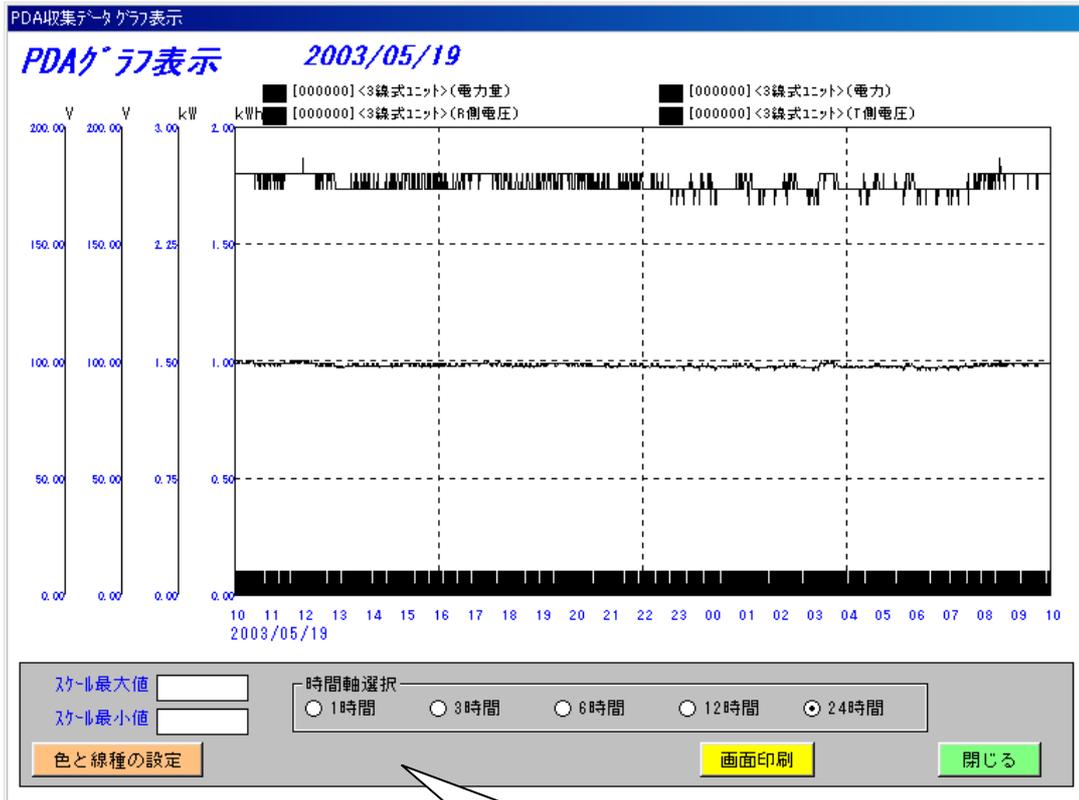
① 検索する項目をチェックします。

② 同一日時の検索をクリックします。

③ チェックした項目と同一時刻のデータの背景の色が赤色になりますので、グラフ表示する計測項目を4項目以内でチェックします。

検索表示の解除をクリックすると背景の色が元に戻り、選択した計測項目のチェックを解除します。

⚠ 同一日時の検索では、  
チェックした検索項目より上の該当項目は赤色表示されません。



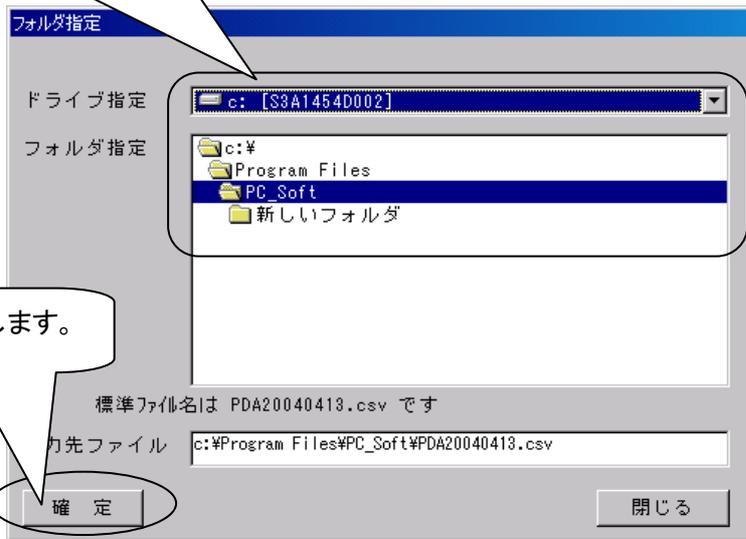
グラフの操作はP11-3を参照してください。

## グラフ表示したデータを CSV ファイルに出力する

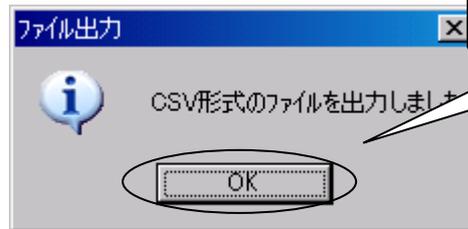


① グラフ表示を閉じ、  
Excel グラフ用ファイル出力を  
クリックします。※

② ドライブ、フォルダを指定します。  
出力先ファイル欄に表示されます。



③ 確定をクリックします。



④ OKをクリックします。

※ グラフ表示しないと、Excel グラフ用ファイル出力が表示されません。

## 9 帳票を作成する

オンライン

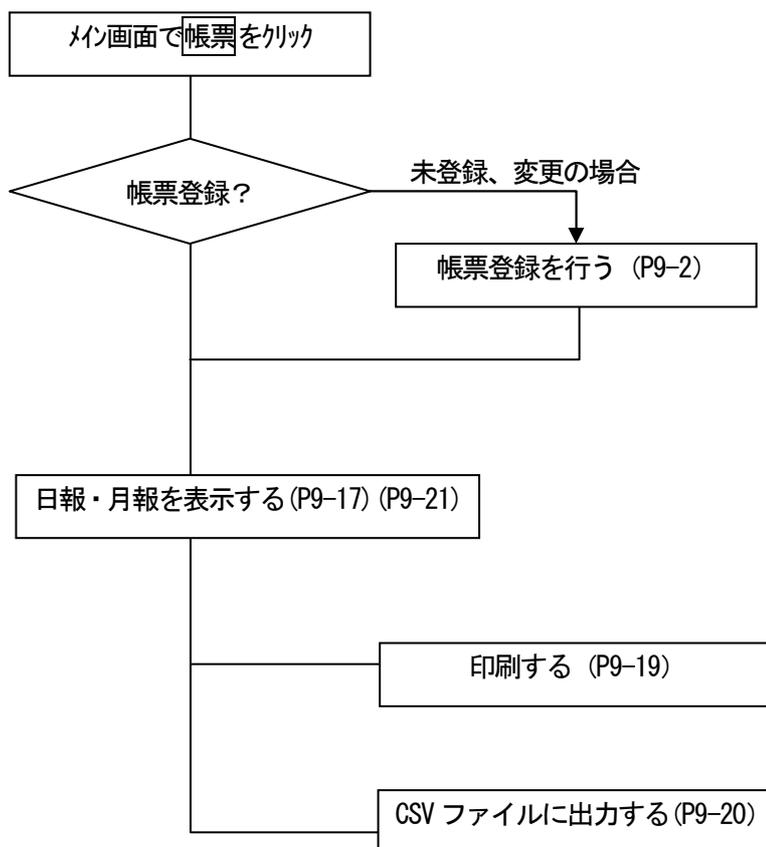
PDA

本体ユニットから収集した時限データは、データベースに保存しています。日報や月報は時限データをデータベースより読み出して作成します。

日報・月報には、計測項目を1ページ当たり最大14項目まで表示することができます。またページ数は500ページまで表示することができます。

帳票を作成するためには、以下の手順で操作します。

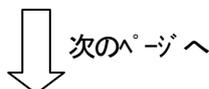
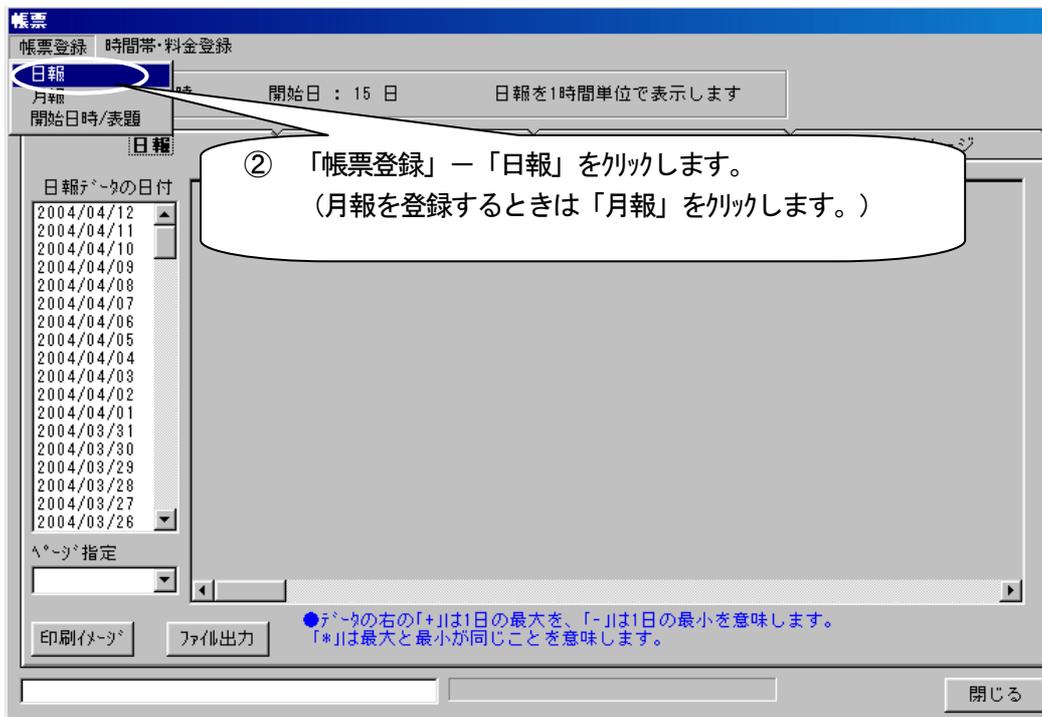
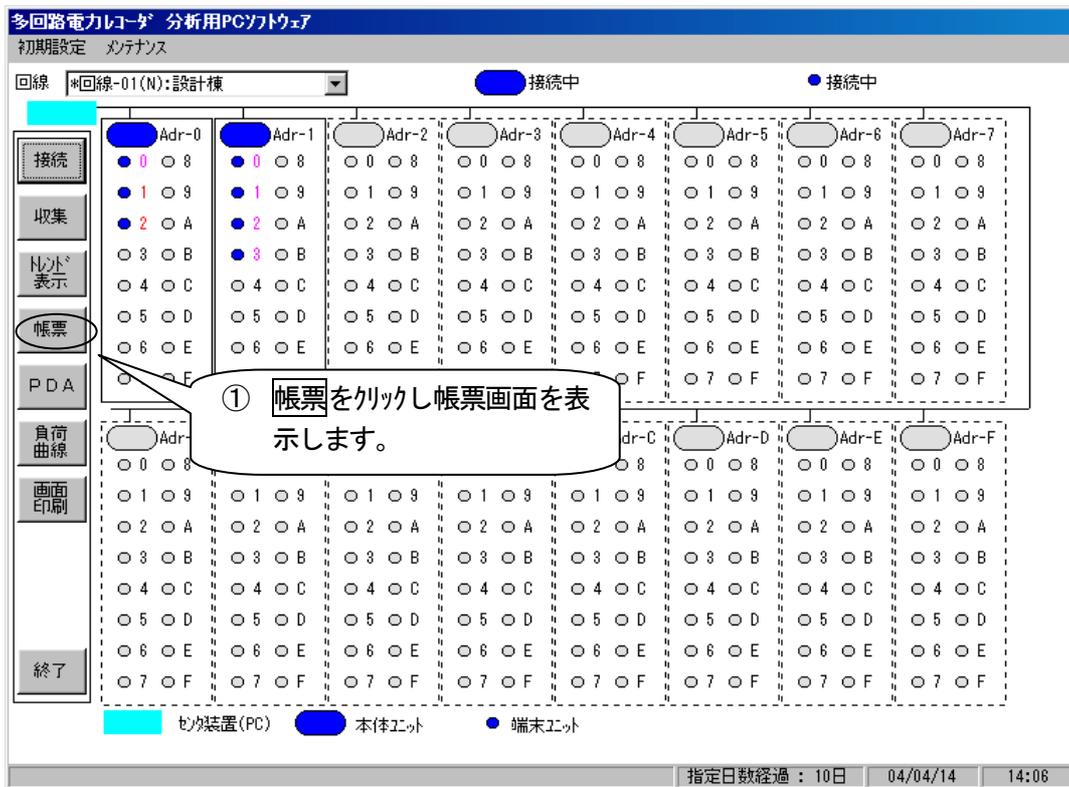
### ■ 操作手順 帳票を作成する



# 帳票登録

## 帳票登録を行う

帳票を表示するために、はじめに帳票登録を行います。



画面説明

帳票登録

項目番号

日報 月報登録 開始日時/表題登録

ページ	項目番号	No.1	No.2	No.3
1		実験室の配電盤 主幹 電力量 kWh	実験室の配電盤 主幹	実験室の配電盤 主幹
2		実験室の配電盤 電子実験室 作業台E 力率 %	電	実験室の配電盤 作業台E
3		実験室の配電盤2 高温槽No3 R側電流 A	実験室の配電盤2 高温槽No3 T側電圧 V	実験室の配電盤2 高温槽No3 T側電流 A

自動設定 一括削除 確定

ページ番号

日報に表示する項目を表示します。

接続している端末ユニットの計測項目を自動で設定します。

設定項目をすべて削除します。

登録内容をデータベースに保存します。※

※ この確定のボタンを押すことで、登録した内容がデータベースに保存されます。確定ボタンを押さないと、登録内容は保存されませんのでご注意ください。

帳票登録は、1ページ当たり最大14項目まで登録でき、500ページまで登録できます。ただし項目設定数が多くなると表示や印刷に時間がかかるのでご注意ください。

## 積算項目を自動設定する

積算項目（電力量とパルクット）をすべて登録します。

帳票登録

日報登録      月報登録      開始日時/表題登録

年度	No.1	No.2	No.3	
1				

① **自動設定**をクリックします。

自動設定      一括削除      確定      閉じる

積算項目指定

積算項目のみを設定しますか？

はい(Y)      いいえ(N)

② **はい**をクリックします。

帳票登録

日報登録      月報登録      開始日時/表題登録

年度	No.1	No.2	No.3	
1	実験室の配電盤 主幹 電力量 kWh ID:001022	実験室の配電盤 事務所東側コンセント 電力量 kWh ID:001024	実験室の配電盤 電子実験室 作業台E 電力量 kWh ID:001024	実験
2	adr-1:3線式2ネット 電力量 kWh	adr-0:3線式2ネット 電力量 kWh	adr-1:3線式2ネット 電力量 kWh	adr-

積算項目を自動で入力します。

③ 設定した内容を確認し、良ければ**確定**をクリックしてください。変更する場合は P9-6 を参照して変更してください。

自動設定      一括削除      確定      閉じる

④ 登録を終了する場合は **閉じる**をクリックしてください。

## 全ての項目を自動設定する

全ての計測項目を自動設定します。ただしパル入力ユニットのステータス項目だけは設定しません。

① **自動設定**をクリックします。

② **いいえ(N)**をクリックします。

③ **はい(Y)**をクリックします。

④ 設定した内容を確認して**確定**をクリックします。

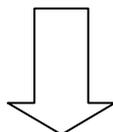
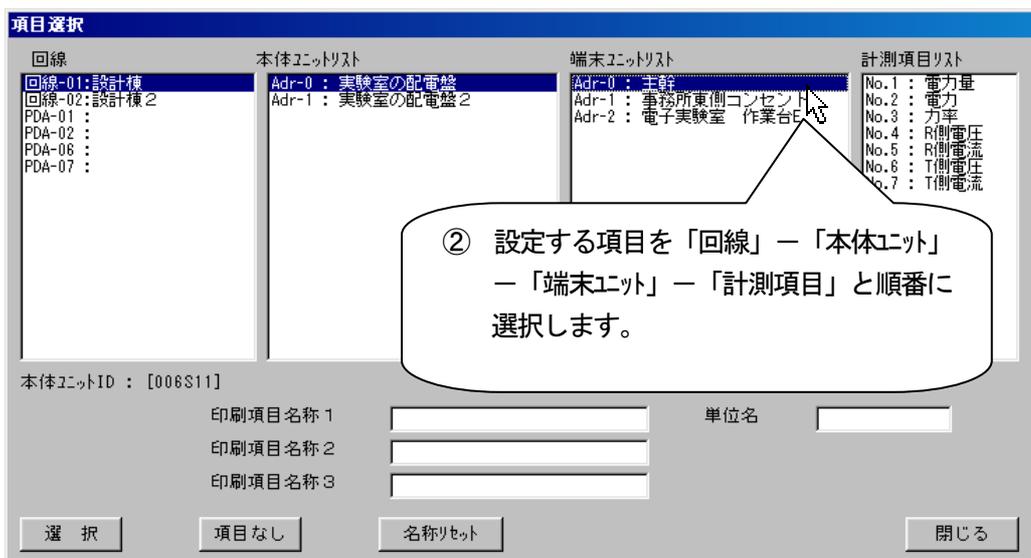
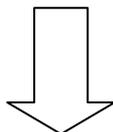
⑤ 登録を終了する場合は**閉じる**をクリックしてください。

ページ	No.1	No.2	No.3
1			
2	実験室の配電盤 電子実験室 作業台E	実験室の配電盤 電子実験室 作業台E	実験室の配電盤 電子実験室 作業台E

ステータス以外の全項目を自動で入力します。

## 個別に計測項目を設定・変更する

計測項目を個別に設定できます。



次のページへ

項目選択

計測項目リスト

- No.1: 電力量
- No.2: 電力
- No.3: 力率
- No.4: R側電圧
- No.5: R側電流
- No.6: T側電圧
- No.7: T側電流

本体ユニットID : [006S11]

印刷項目名称 1: 実験室の配電盤      単位名: kWh

印刷項目名称 2: 主幹

印刷項目名称 3: 電力量

選択    項目なし    名称リセット    閉じる

③ 「計測項目」まで選択すると、選択した計測項目を下に表示します。ここに表示する文字を帳票に表示するので、必要に応じて変更してください。※  
また変更した名称を初期表示に戻したいときは、**名称リセット**をクリックしてください。

④ **選択**をクリックします。

帳票登録

日報登録    月報登録    開始日時/表題登録

ページ	No.1	No.2	No.3
5	ID:TEST01 湿度計 (humidity) 瞬時値 %	ID:TEST01 湿度計 (humidity) 瞬時値 %	ID:TEST01 湿度計 (humidity) 瞬時値 %
6	ID:001024 adr-0:3線式ユニット 電力 kW	ID:001024 adr-1:3線式ユニット 電力量 kWh	ID:001024 adr-1:3線式ユニット 電力 kW
7	実験室の配電盤 主幹 電力量 kWh		

印刷項目名称を表示します。

自動設定    一括削除    確定    閉じる

⑤ 設定した内容を確認して**確定**をクリックします。

⑥ 登録を終了する場合は**閉じる**をクリックしてください。

※ 本体ユニット、端末ユニットの名称を登録している場合と、していない場合で印刷項目名称に表示する文字が変わります。

項目	本体ユニット、端末ユニット名称を登録しているときの初期表示	本体ユニット、端末ユニット名称を登録していないときの初期表示	登録可能文字数
印刷項目 1	本体ユニット名称	本体ユニット ID	半角 24 (全角 12) 文字
印刷項目 2	端末ユニットアドレス名称	端末アドレス: 端末種別	半角 24 (全角 12) 文字
印刷項目 3	計測項目名称	計測項目名称	半角 24 (全角 12) 文字
単位名	単位	単位	半角 12 (全角 6) 文字

## 新しいページを挿入する

帳票登録

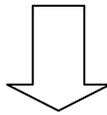
開始日時/表題登録

① ページ番号をクリックすると  
選択メニューを表示します。

ページ	No.2	No.3
1	実験室の配電盤	実験室の配電盤
2	主幹	主幹
	電力量	力率
	kWh	%
	実験室の配電盤	実験室の配電盤
	電子実験室 作業台E	電子実験室 作業台E
	力率	電圧
	%	V
	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2
	高温槽No3	高温槽No3
	R側電流	T側電圧
	A	V

② 「上にページを挿入」  
をクリックします。\*

自動設定 一括削除 確定 閉じる



帳票登録

日報登録 月報登録 開始日時/表題登録

ページ	No.1	No.2	No.3
1			
2	実験室の配電盤	実験室の配電盤	実験室の配電盤
	主幹	主幹	主幹
	電力量		
	kWh		
	実験室の配電盤	電子実験室 作業台E	電子実験室 作業台E
	電子実験室 作業台E	電圧	電流
	力率	V	A
	%		

クリックしたページの上に新しくページが追加されます。

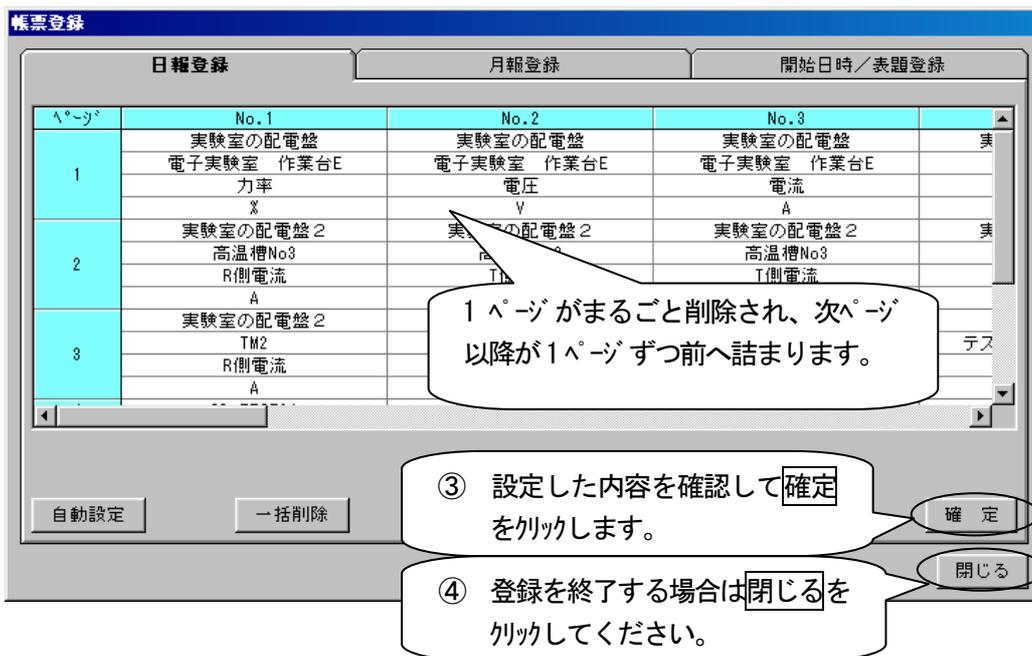
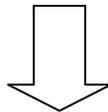
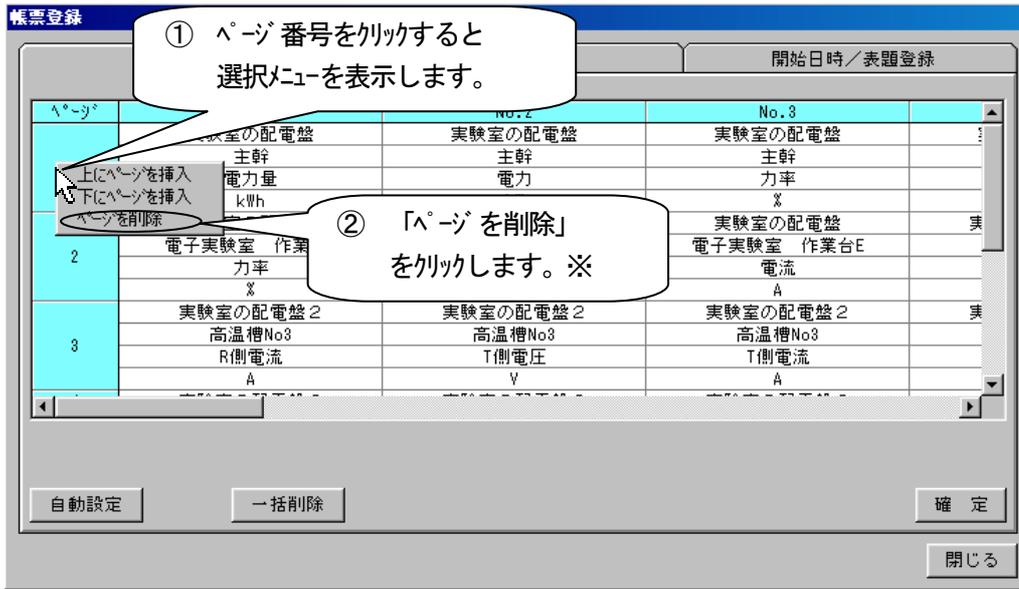
③ 設定した内容を確認して「確定」  
をクリックします。

④ 登録を終了する場合は「閉じる」  
をクリックしてください。

自動設定 一括削除 確定 閉じる

※ 「下にページを挿入」をクリックの場合は、クリックしたページの下に新しいページを追加します。

## ページを削除する



※ ページを全て削除することはできません。  
残り1ページだけになると削除できなくなります。

## 新しく項目欄を挿入する

帳票登録

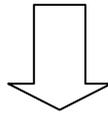
日報登録 月報登録

① 項目欄をクリックすると  
選択メニューを表示します。

② 「計測項目を挿入」  
をクリックします。※

ページ	No.1	No.2	No.3	
1	実験室の配電盤	実験室の配電盤	電子実験室 作業台E	
	電子実験室 作業台E	電子実験室 作業台E	電子実験室 作業台E	
	力率	電流		
2	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2	高温槽No3	
	高温槽No3	T側電圧		
	R側電流	V		
3	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2	
	TM2	TM2	TM2	テスト
	R側電流	T側電圧	T側電流	
	A	V	A	

自動設定 一括削除 確定 閉じる



帳票登録

日報登録 月報登録 開始日時/表題登録

項目欄が挿入され、それ以降の  
欄は1つ右にずれます※

③ 設定した内容を確認して**確定**  
をクリックします。

④ 登録を終了する場合は**閉じる**を  
クリックしてください。

ページ	No.1	No.2	No.3	
1	実験室の配電盤		実験室の配電盤	
	電子実験室 作業台E			
	力率			
2	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2	高温槽No3	
	高温槽No3	高温槽No3		
	R側電圧	R側電流		
3	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2	
	TM2	TM2	TM2	実
	R側電圧	R側電流	T側電圧	
	V	A	V	

自動設定 一括削除 確定 閉じる

※ 挿入した項目 No より大きい No の項目が1つ右にずれます。挿入したページの No14 の項目は、次のページの No1 にずれます。また最終ページの No14 の項目は削除されます。

## 項目欄を削除する

帳票登録

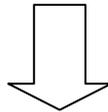
日報登録 月報登録

年-月	No.1	No.2	No.3	実験室の配電盤
1	実験室の配電盤 主幹 電力量 kWh	実験室の配電盤 主幹 電力 kW	実験室の配電盤 主幹 力率 %	実験室の配電盤 主幹

① 項目欄をクリックすると  
選択メニューを表示します。

② 「計測項目を削除」  
をクリックします。※

自動設定 一括削除 確定 閉じる



帳票登録

日報登録 月報登録 開始日時/表題登録

年-月	No.1	No.2	No.3	実験室の配電盤
1	実験室の配電盤 主幹 電力量 kWh	実験室の配電盤 主幹 力率 %	実験室の配電盤 主幹 R側電圧 V	実験室の配電盤 主幹

項目欄が削除され、それ以降の欄  
は1つずつ詰まります※

③ 設定した内容を確認して**確定**  
をクリックします。

④ 登録を終了する場合は**閉じる**を  
クリックしてください。

自動設定 一括削除 確定 閉じる

※ 削除した項目 No より大きいNo の項目が一つ左にずれます。  
最終ページの No14 に新しく空白の項目欄が挿入されます。

# 項目なしで設定する

帳票登録

日報登録 | 月報登録

年度	No.1	No.2	No.3
1	実験室の配電盤	実験室の配電盤	実験室の配電盤
	主幹	主幹	主幹
	電力量 kWh	電力 kW	電力 kW
2	実験室の配電盤	実験室の配電盤	実験室の配電盤
	電子実験室 作業台E	電子実験室	電子実験室
	力率 %	電圧 V	電圧 V
3	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2
	高温槽No3	高温槽No3	高温槽No3
	R側電流 A	T側電圧 V	T側電流 A

① 項目欄をクリックすると  
選択メニューを表示します。

② 「項目設定」  
をクリックします。

自動設定 | 一括削除 | 確定 | 閉じる

項目選択

回線: 回線-01:設計棟  
回線-02:設計棟2  
PDA-01:  
PDA-02:  
PDA-06:  
PDA-07:

本体ユニットリスト  
Adr-0: 実験室の配電盤  
Adr-1: 実験室の配電盤2

端末ユニットリスト  
Adr-0: 主幹  
Adr-1: 事務所東側コンセント  
Adr-2: 電子実験室 作業台E

計測項目リスト  
No.1: 電力量  
No.2: 電力  
No.3: 力率  
No.4: R側電圧  
No.5: R側電流  
No.6: T側電圧  
No.7: T側電流

本体ユニットID: [006S11]

印刷項目名称1: 実験室の配電盤  
印刷項目名称2: 電力  
印刷項目名称3: 電力

単位名: kWh

③ 項目なし  
をクリックします。

選択 | 項目なし | 名称リセット | 閉じる

帳票登録

日報登録 | 月報登録 | 開始日時/表題登録

年度	No.1	No.2	No.3
1	実験室の配電盤		実験室の配電盤
	主幹		主幹
	電力量 kWh		力率 %
2	実験室の配電盤	実験室の配電盤	実験室の配電盤
	電子実験室 作業台E	電子実験室 作	電子実験室
	力率 %	電圧 V	電圧 V
3	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2	実験室の配電盤2
	高温槽No3	高温槽No3	高温槽No3
	R側電流 A	T側電圧 V	T側電流 A

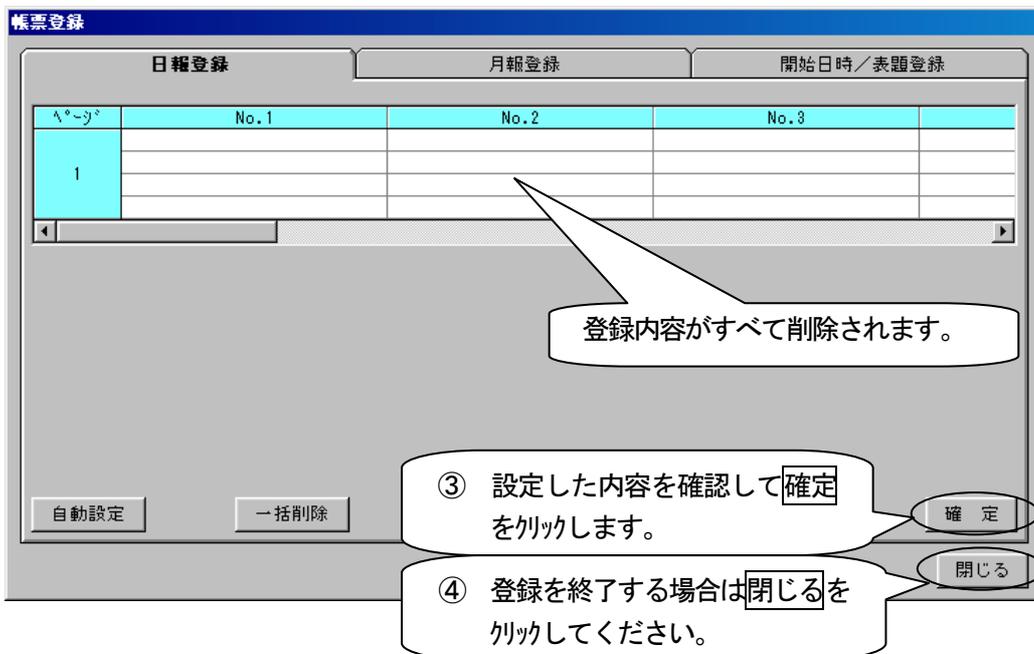
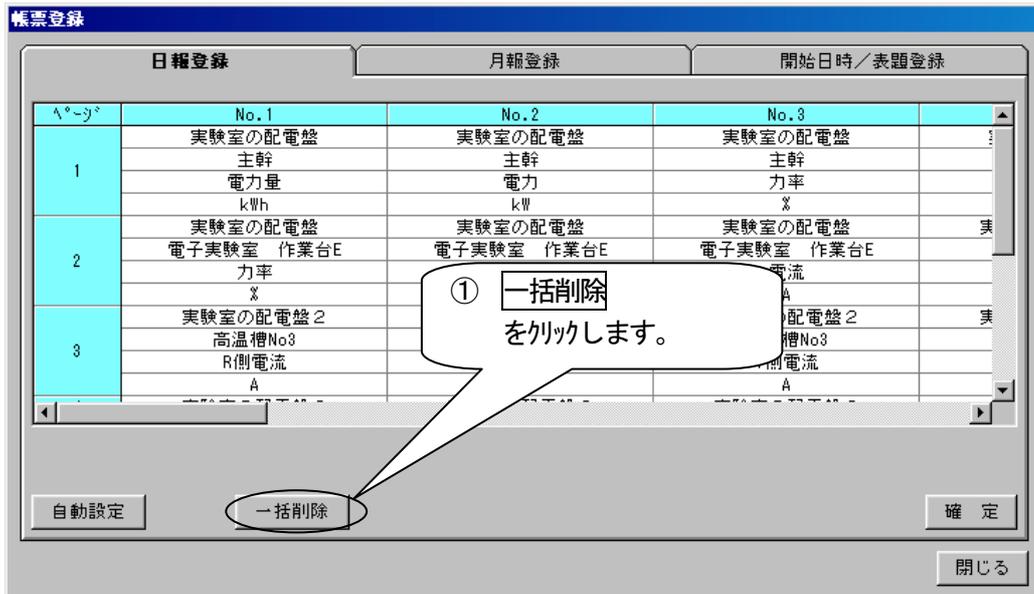
項目なしで登録されます。

④ 設定した内容を確認して**確定**  
をクリックします。

⑤ 登録を終了する場合は**閉じる**  
をクリックしてください。

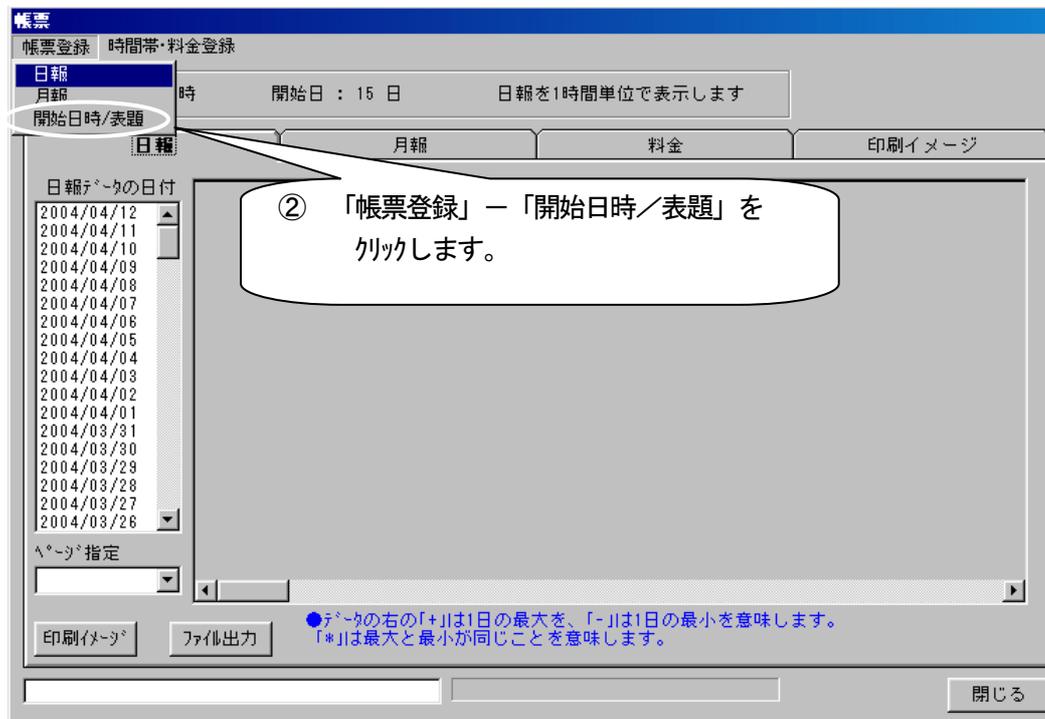
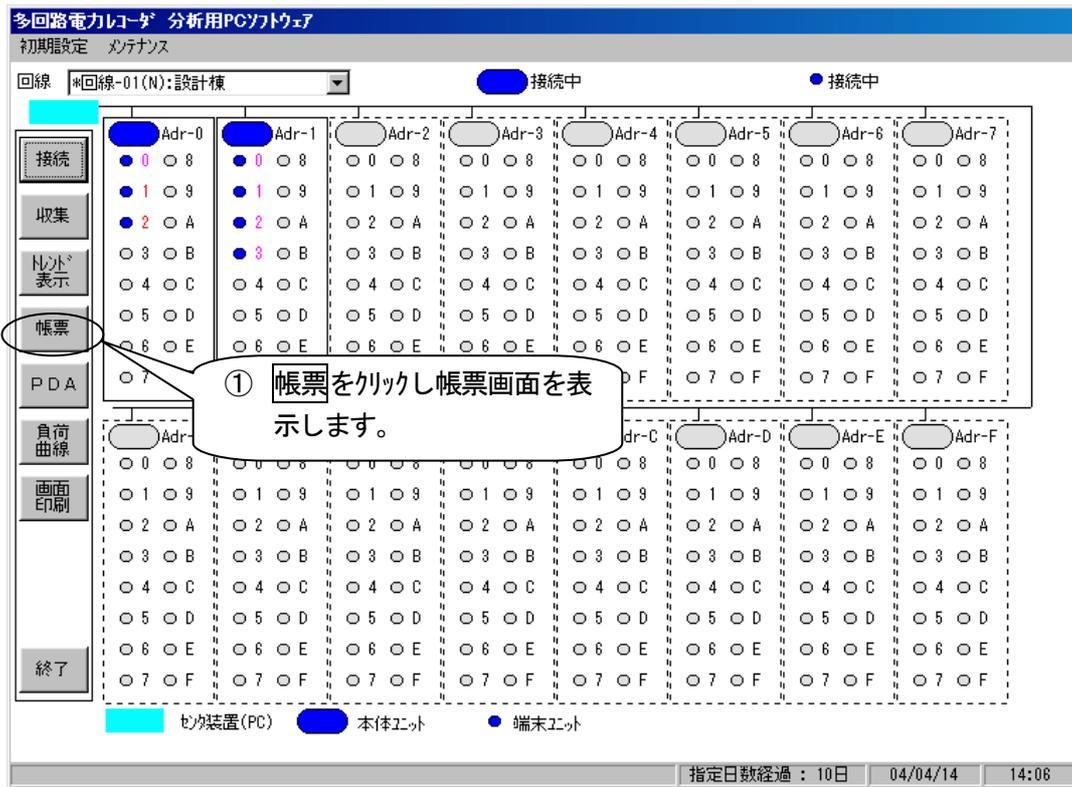
自動設定 | 一括削除 | 確定 | 閉じる

# 登録内容をすべて削除する



## 帳票の表題、開始時刻、表示時間単位を設定する

帳票の表題、開始時刻、表示時間単位を設定します。



次のページへ

**画面説明**

帳票登録

日報登録 月報登録

開始時刻/開始日  
 帳票開始時刻 08 時 帳票開始日 01 日

帳票印字表題  
 社名 株式会社○○○○  
 日報印字表題 日報  
 月報印字表題 月報

日報の時間単位選択  
 日報を30分単位で表示します  
 日報を1時間単位で表示します

確定  
閉じる

Callouts:  
 - 日報の表示開始時刻を入力します。※1  
 - 月報の表示開始日を入力します。※1  
 - 社名を入力します。※1  
 - 帳票の表題を入力します。※1  
 - 確定をクリックして設定を保存します。  
 - 日報表示時刻単位設定をフェックします。※2

※1 それぞれの初期値と名称の入力条件は次のようになっています。

項目	初期値	登録文字数	内容
帳票開始時刻	00	半角 2 文字 (00~23)	日報の先頭となる時刻
帳票開始日時	01	半角 2 文字 (01~31)	月報の先頭となる日にち
社名	空白	半角 32 (全角 16) 文字	帳票に表示される会社名
日報/月報印字表題	日報/月報	半角 32 (全角 16) 文字	帳票に表示される表題

※2 帳票開始時刻が08 時の場合、選択した表示時刻単位は帳票で次のように反映されます。

帳票  
帳票登録 時間帯・料金登録

開始時刻 : 08 時 開始日 : 01 日 日報を1時間単位で表示します

日報

日報の日の日付  
 2004/06/16  
 2004/06/15  
 2004/06/14  
 2004/06/13  
 2004/06/10  
 2004/06/09  
 2004/06/08  
 2004/06/07  
 2004/04/20  
 2004/04/19  
 2004/04/18  
 2004/04/17  
 2004/04/16  
 2004/04/15  
 2004/04/12  
 2004/04/11  
 2004/04/10  
 2004/04/09

計測  
項目  
名称  
単位

1時間単位

30分単位

開始日 : 01 日 日報を30分単位で表示します

日付	計測項目	単位	値	単位	値
2004/06/16	実験室の配電盤2	主幹		恒温槽No3	
2004/06/15	電力量	kWh	1.90	電力量	0.00
2004/06/14	08:00~08:30		2.30		0.00
2004/06/13	08:30~09:00		2.00		0.00
2004/06/10	09:00~09:30		2.10		0.00
2004/06/09	09:30~10:00		2.70		0.00
2004/06/08	10:00~10:30		3.10		0.00
2004/06/07	10:30~11:00		3.00		0.00
2004/04/20	11:00~11:30		2.60		0.00
2004/04/19	11:30~12:00		2.60		0.00
2004/04/18	12:00~12:30		2.40		0.00
2004/04/17	12:30~13:00		2.30		0.00
2004/04/16	13:00~13:30		2.30		0.00
2004/04/15	13:30~14:00		2.30		0.00
2004/04/14	14:00~14:30		2.30		0.00
2004/04/13	14:30~15:00		2.40		0.00

印刷イメージ ファイル出力

印刷イメージ ファイル出力

閉じる

Callouts:  
 - 1時間単位  
 - 30分単位

(例) 日報の表示開始時刻を「8時」、社名を「株式会社〇〇〇〇」、日報の表題を「日報」、日報の時間単位を1時間とするとき

帳票登録

日報登録

① 帳票表示開始時刻に「8」と入力します。

開始時刻／開始日  
帳票開始時刻 08 時 帳票開始日 01 日

② 社名に「株式会社〇〇〇〇」と入力します。

帳票印字表題  
社名 株式会社〇〇〇〇

③ 日報に「日報」と入力します。

日報印字表題 日報

月報印字表題 月報

④ 「1時間単位」を選択します。

日報の時間単位選択  
 日報を30分単位で表示します  
 日報を1時間単位で表示します

確定  
閉じる

⑤ 確定をクリックし、設定をデータベースに保存します。

帳票登録

日報登録 月報登録 開始日時／表題登録

開始時刻／開始日  
帳票開始時刻 08 時 帳票開始日 01 日

帳票印字表題  
社名 株式会社〇〇〇〇

日報印字表題 日報

月報印字表題 月報

⑥ OKをクリックします。

開始日時および表題  
開始日時および帳票表題を登録しました  
OK

日報の時間単位選択  
 日報を30分単位で表示します  
 日報を1時間単位で表示します

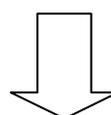
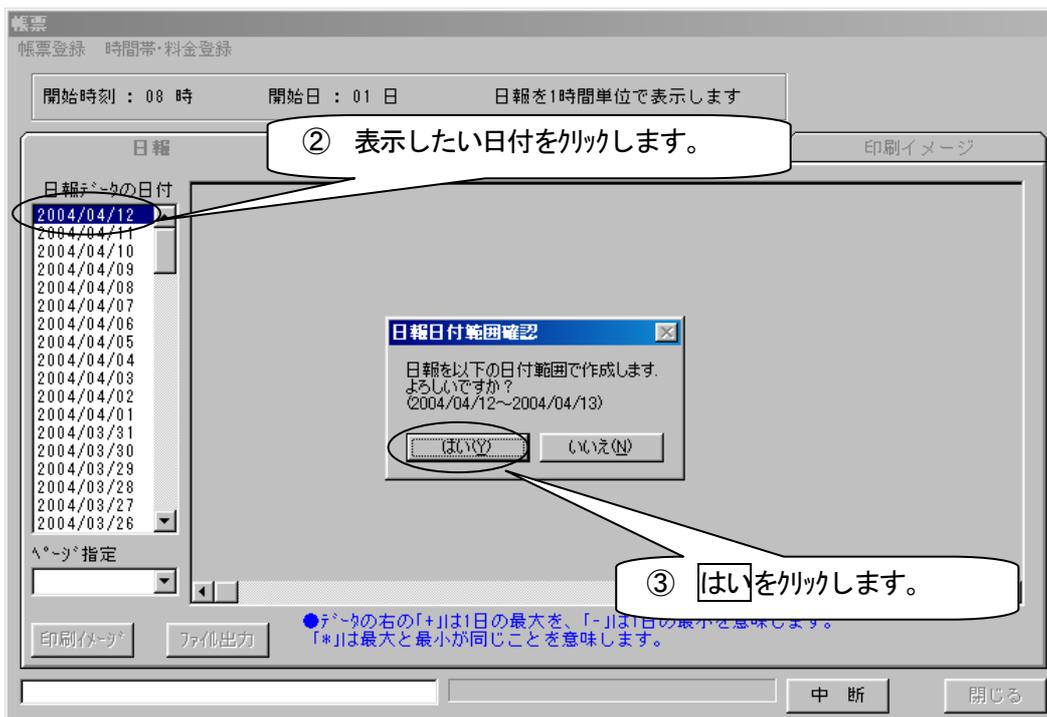
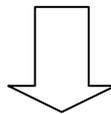
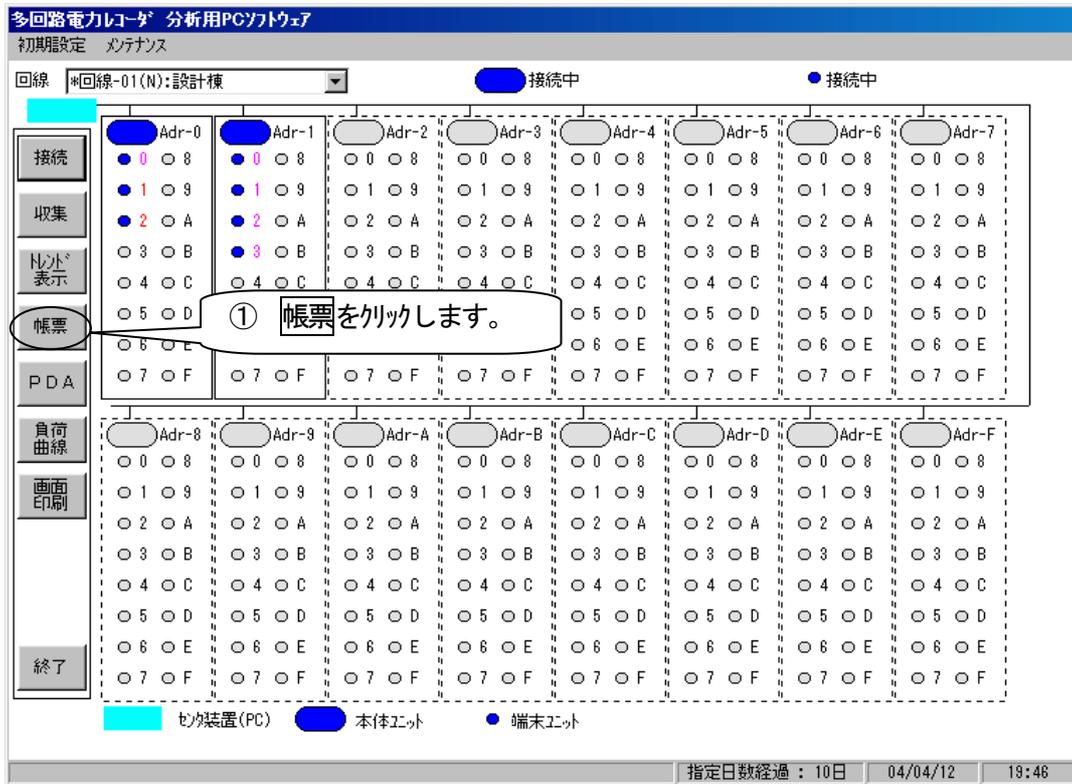
確定  
閉じる

⑦ 登録を終了する場合は閉じるをクリックしてください。

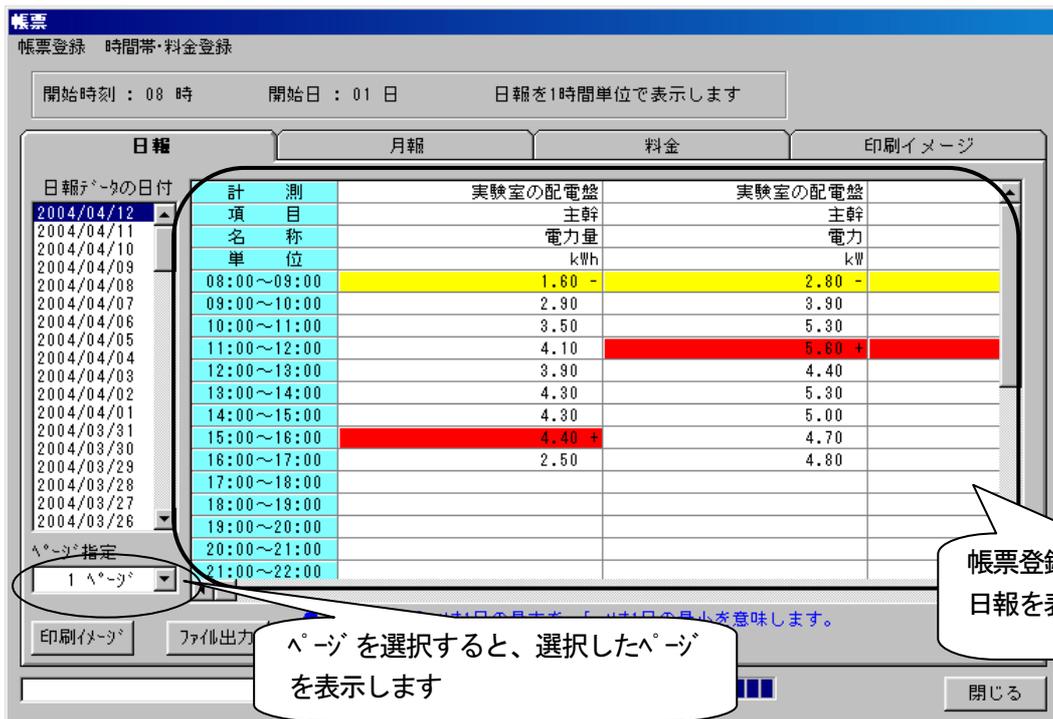
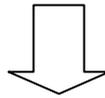
# 日報

## 日報を表示する

日報を表示するには、はじめに帳票登録で日報登録をする必要があります (P9-2 参照)。日報はデータベースよりデータを読み出して表示します。



次のページへ



※ 表示データについて

電力量とパルスカウントは合計値を表示し、その他の電力、力率、電圧などは最大値を表示します。上図では10:00~11:00で電力量は'3.50'と表示しており、10:00~11:00までの合計値が'3.50'であることを示しています。また電力は'5.30'と表示しており10:00~11:00の間の最大値が'5.30'であることを示しています。また、データに添付されている記号の意味は次の通りです。

データ添付記号	背景色	内容
-	黄	表示データ1日の最小値
+	赤	表示データ1日の最大値
*	緑	表示データ1日の最大値と最小値が同値

# 印刷する

表示した日報を印刷します。

帳票  
帳票登録 時間帯・料金登録

開始時刻 : 08 時      開始日 : 01 日      日報を1時間単位で表示します

日報      月報      料金      印刷イメージ

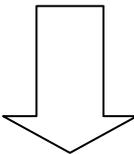
計測	項目	実験室の配電盤	実験室の配電盤
2004/04/12	項目	主幹	主幹
2004/04/11	名称	電力量	電力
2004/04/10	単位	kWh	kWh
2004/04/09	08:00~09:00	1.60 -	2.80 -
2004/04/08	09:00~10:00	2.90	3.00
2004/04/07	10:00~11:00	3.50	
2004/04/06	11:00~12:00	4.10	
2004/04/05	12:00~13:00	3.90	
2004/04/04	13:00~14:00	4.30	
2004/04/03	14:00~15:00	4.30	5.00
2004/04/02	15:00~16:00	4.40 +	4.70
2004/04/01		2.50	4.80

① 「印刷イメージ」をクリックします。

② 「印刷イメージ」タブをクリックします。

印刷イメージ      ファイル出力      閉じる

●データの右の「+」は1日の最大を、「-」は1日の最小を意味します。  
「\*」は最大と最小が同じことを意味します。



## 画面説明

帳票  
帳票登録 時間帯・料金登録

開始時刻 : 00 時      開始日 : 01 日      日報を1時間単位で表示します

日報      月報      料金      印刷イメージ

印刷イメージ

先頭  
次ページ  
前ページ  
最終

開始ページ  
1

終了ページ  
6

印刷開始

閉じる

印刷イメージを表示します。  
左ダブルクリックで拡大表示、右ダブルクリックで縮小表示します。

印刷開始ページと印刷終了ページを表示します。  
必要に応じて印刷範囲を変更してください。

印刷プロパティを表示し印刷を開始することができます。

それぞれクリックすると先頭ページ、次のページ、前のページ、最終ページを表示します。

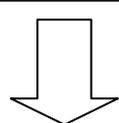
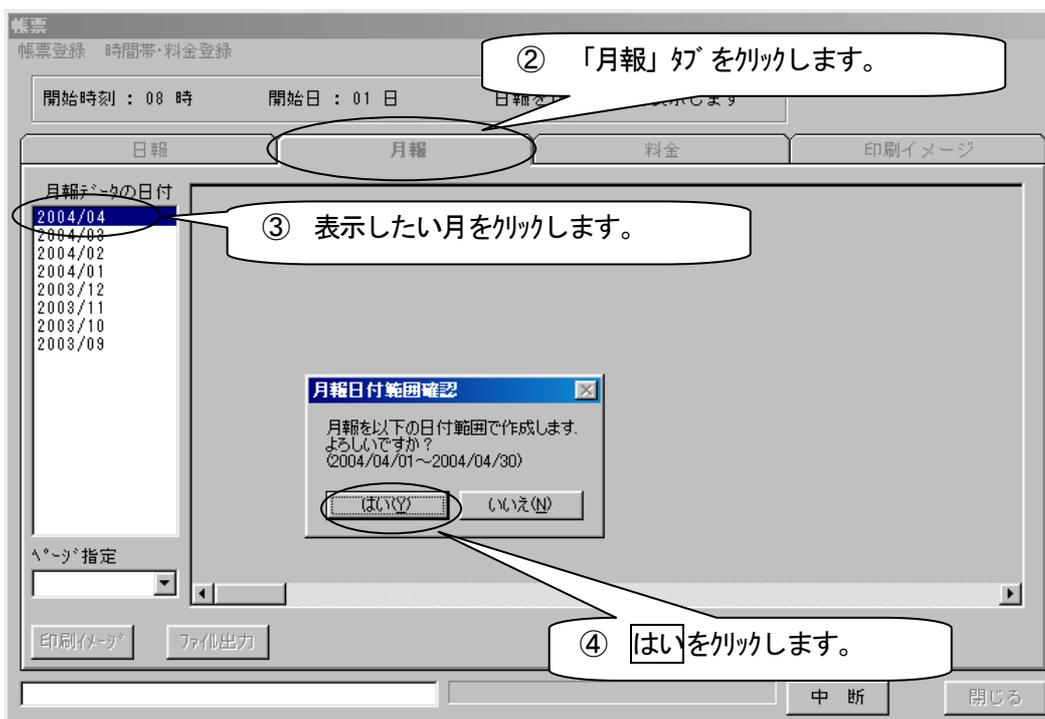
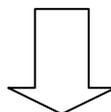
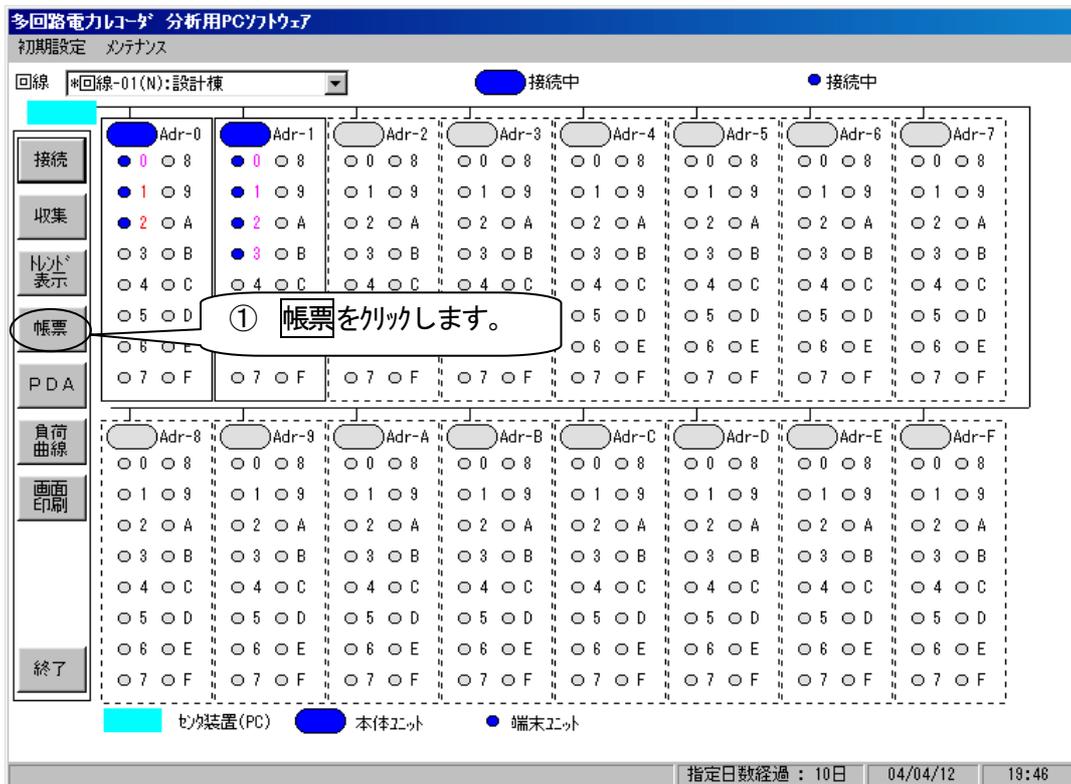
マウスの左をダブルクリックで拡大、右をダブルクリックするとイメージの縮小ができます



# 月報

## 月報を表示する

月報を表示するには、はじめに帳票登録で月報登録する必要があります。月報登録の方法 (P9-2 参照) や印刷 (P9-18 参照)、CSV ファイル出力 (P9-19 参照) の方法は日報と同じです。



次のページへ

帳票  
帳票登録 時間帯・料金登録

開始時刻 : 08 時    開始日 : 01 日    日報を1時間単位で表示します    **月報展開中**

日報    月報    料金    印刷イメージ

月報ページの日付

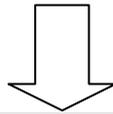
計測	実験室の配電盤	実験室の配電盤	電子
項目	主幹	事務所東側コンセント	電子
名称	電力量	電力量	
単位	kWh	kWh	
04/01	55.70	0.00	
04/02	18.00	0.27	
04/03	0.50	0.00	
04/04	4.20	0.01	
04/05	59.30	0.54	
04/06	54.10	0.81	
04/07	13.40	0.30	
04/08	65.40	0.72	
04/09	19.10	0.19	
04/10			
04/11	22.90	0.02	
04/12	31.50	0.44	
04/13			
04/14			

ページ指定  
1 ページ

印刷イメージ    ファイル出力

データベースを読込んでいます...    中 断    閉じる

処理の進捗状況を表示します。



帳票  
帳票登録 時間帯・料金登録

開始時刻 : 08 時    開始日 : 01 日    日報を1時間単位で表示します

日報    月報    料金    印刷イメージ

月報ページの日付

計測	実験室の配電盤	実験室の配電盤	電子
項目	主幹	事務所東側コンセント	電子
名称	電力量	電力量	
単位	kWh	kWh	
04/01	55.70	0.00	
04/02	18.00	0.27	
04/03	0.50	0.00	
04/04	4.20	0.01	
04/05	59.30		
04/06	54.10		
04/07	13.40		
04/08	65.40	0.72	
04/09	19.10	0.19	
04/10			
04/11	22.90	0.02	
04/12		0.44	
04/13			
04/14			

ページ指定  
1 ページ

印刷イメージ    ファイル出力

閉じる

帳票登録した内容で、月報を表示します。

ページを選択すると、選択したページを表示します

## 料金

料金登録済の場合、日報・月報を表示すると料金を算出します。（表示した帳票で、単位が「kWh」の項目について、料金を算出します。）ただし、ここで表示した料金は目安ですので、請求書などのお金に関わる事項には使用しないでください。

## 料金登録を行う

料金を設定することで、日報、月報で表示した積算値（電力量とパルスカット）の料金を計算して表示することができます。

設定する項目は次の通りです。

- ・ 時間帯名称…………… 「昼間時間」「夜間時間」「ピーク時間」等の名称を登録します。
- ・ 時間帯パターン…………… 1日24時間、30分単位の任意の時間帯に、時間帯名称を割り当てます。
- ・ 季節…………… 1年の季節に、時間帯パターンを割り当てます。
- ・ 固定特約日…………… 年度よらず固定している祝日などに、時間帯パターンを割り当てます。
- ・ 変動特約日…………… 年度によって変動する祝日などに、時間帯パターンを割り当てます。
- ・ 料金…………… 各時間帯名称の料金計算を設定します。

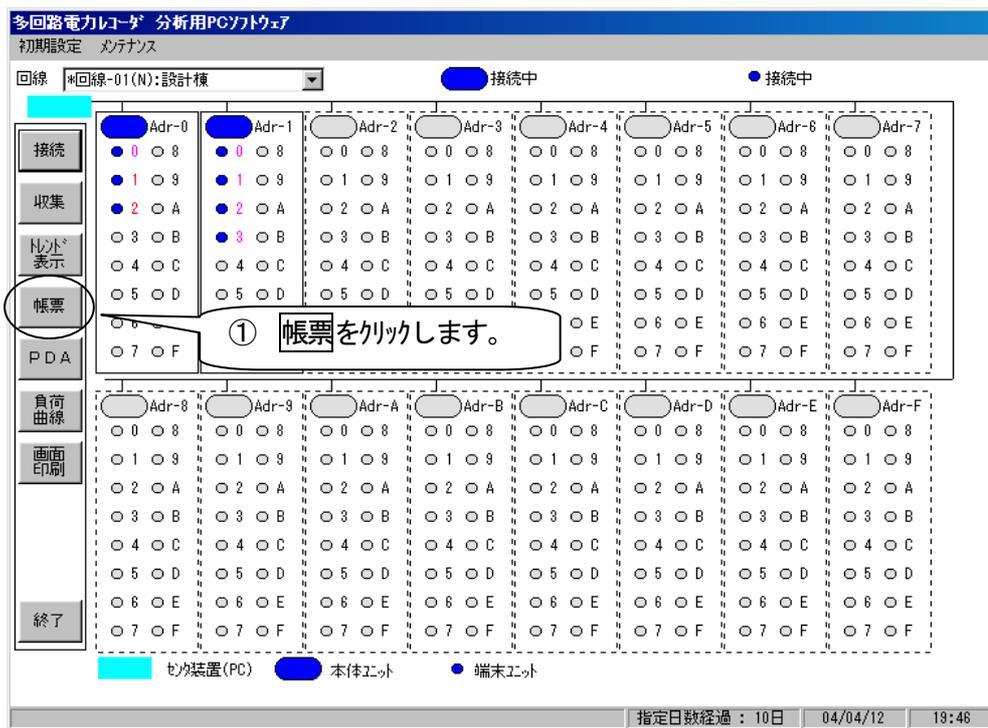
ここでは次の条件を例として料金登録を行っていきます。

- ・ 季節区分  
夏季 : 毎年7月1日～9月30日  
その他季 : 毎年10月1日～翌年6月30日
- ・ 時間帯区分  
ピーク時間 : 夏季の平日（土曜日を含みます）の13:00～16:00  
昼間時間 : 平日（土曜日を含みます）の8:00～20:00 ただし、ピーク時間に該当する時間を除きます。  
夜間時間 : ピーク時間および昼間時間以外の時間をいいます。ただし、日曜・祝日（「国民の祝日に関する法律」に規定する休日）および1月2日・3日、4月30日、5月1日・2日、12月30日・31日は、全日「夜間時間」とします。
- ・ 料金単価

電力量料金	ピーク時間		15.80円
	昼間時間	夏季	13.20円
		その他季	11.50円
	夜間時間		5.95円

## 時間帯名称を登録する

時間帯は「昼間」「夜間」「ピーク」さらに「夏季昼間」の4つがあるので、これらを登録します。



次のページへ

**時間帯/料金設定**

時間帯名称	時間帯パターン	季節	固定特約日	変動特約日	料金
時間帯 1名称	昼間	<input checked="" type="checkbox"/> 料金計算に使用する			
時間帯 2名称	夜間	<input checked="" type="checkbox"/> 料金計算に使用する			
時間帯 3名称	ピーク	<input checked="" type="checkbox"/> 料金計算に使用する			
時間帯 4名称	夏季昼間	<input checked="" type="checkbox"/> 料金計算に使用する			
時間帯 5名称		<input type="checkbox"/> 料金計算に使用する			
時間帯 6名称		<input type="checkbox"/> 料金計算に使用する			
時間帯 7名称		<input type="checkbox"/> 料金計算に使用する			
時間帯 8名称		<input type="checkbox"/> 料金計算に使用する			
時間帯 9名称		<input type="checkbox"/> 料金計算に使用する			
時間帯 10名称		<input type="checkbox"/> 料金計算に使用する			

③ 名称を入力し、その横のチェックボックスにチェックを入れます。※

④ 確定をクリックし、登録内容を保存します。

閉じる

↓

**時間帯名称**

 時間帯名称を登録しました

OK

⑤ OKをクリックします。

⑥ 閉じるをクリックし、登録を終了します。

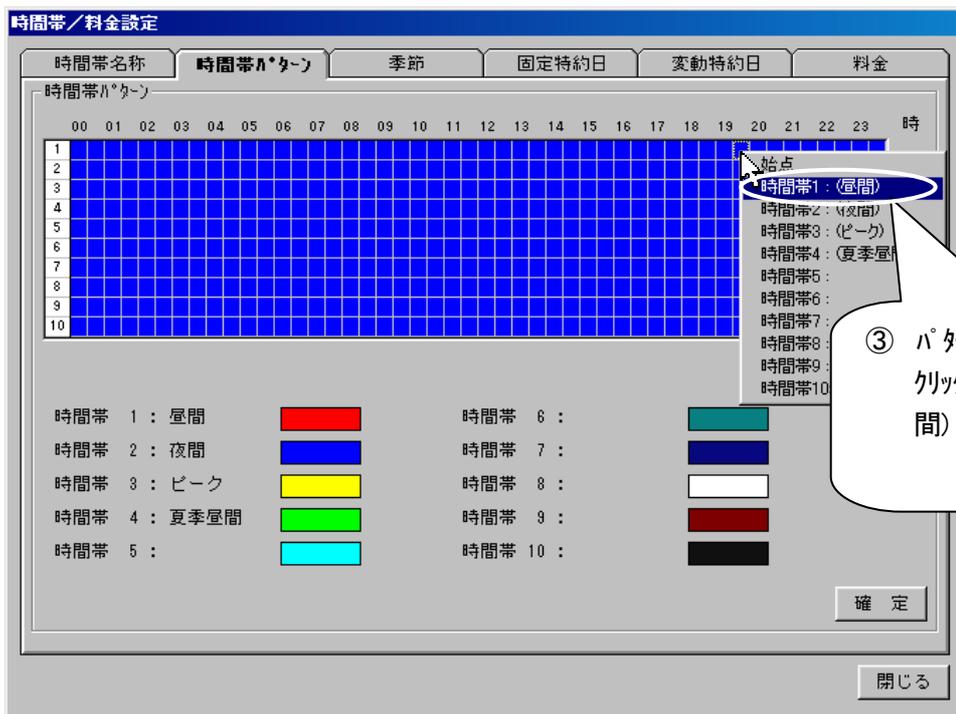
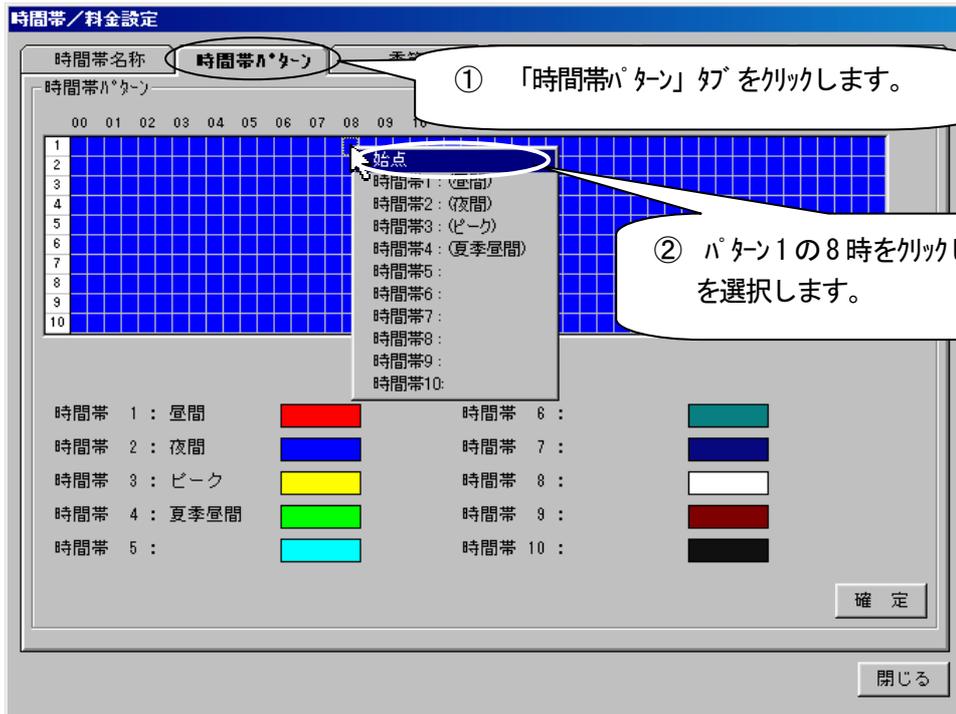
※ 名称は半角8（全角4）文字以内で入力します。

## 時間帯パターンを登録する

登録するパターンは、

- ・パターン1： 昼間時間： 8:00~20:00  
夜間時間： 昼間時間以外
- ・パターン2： ピーク時間： 13:00~16:00  
夏季昼間時間： 8:00~20:00（ピーク時間を除く）  
夜間時間： ピーク時間と昼間時間以外
- ・パターン3： 全日夜間時間

の3種類です。初期値はすべて「時間帯2」となっています。時間帯パターンは10個まで登録できます。



次のページへ

時間帯 / 料金設定

時間帯名称    時間帯パターン    季節    固定特約日    変動特約日    料金

時間帯パターン

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 時

時間帯 1 : 昼間    時間帯 6 :  
 時間帯 2 : 夜間    時間帯 7 :  
 時間帯 3 : ピーク    時間帯 8 :  
 時間帯 4 : 夏季昼間    時間帯 9 :  
 時間帯 5 :    時間帯 10 :

確定    閉じる



時間帯 / 料金設定

時間帯名称    時間帯パターン    季節    固定特約日    変動特約日    料金

時間帯パターン

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 時

時間帯 1 : (昼間)  
 時間帯 2 : (夜間)  
 時間帯 3 : (ピーク)  
 時間帯 4 : (夏季昼間)  
 時間帯 5 :  
 時間帯 6 :  
 時間帯 7 :  
 時間帯 8 :  
 時間帯 9 :  
 時間帯 10 :

④ ②③と同様にして、パターン2の8時をクリックして「始点」を選択し、20時の1つ前をクリックして「時間帯 4 : (夏季昼間)」を選択します。

確定    閉じる



時間帯/料金設定

時間帯名称 | 時間帯パターン | 季節 | 固定特約日 | 変動特約日 | 料金

時間帯パターン

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	時
1	Blue	Red	Blue																						
2	Blue	Green	Blue																						
3	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
4	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
5	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
6	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
7	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
8	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
9	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
10	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									

時間帯 1 : 昼間 (Red)

時間帯 2 : 夜間 (Blue)

時間帯 3 : ピーク (Yellow)

時間帯 4 : 夏季昼間 (Green)

時間帯 5 : (Cyan)

時間帯 6 : (Teal)

時間帯 7 : (Dark Blue)

時間帯 8 : (White)

時間帯 9 : (Dark Red)

時間帯 10 : (Black)

確定

閉じる

8:00~20:00 までが夏季昼間時間で登録されます。



時間帯/料金設定

時間帯名称 | 時間帯パターン | 季節 | 固定特約日 | 変動特約日 | 料金

時間帯パターン

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	時
1	Blue	Red	Blue																						
2	Blue	Green	Blue																						
3	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
4	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
5	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
6	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
7	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
8	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
9	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									

時間帯 5 : (Cyan)

時間帯 10 : (Black)

確定

閉じる

⑤ ②③と同様にして、パターン2の13時を  
 クリックして「始点」を選択し、16時の1つ  
 前をクリックして「時間帯3:(ピーク)」を  
 選択します。

始点

- 時間帯1:(昼間)
- 時間帯2:(夜間)
- 時間帯3:(ピーク)
- 時間帯4:(夏季昼間)
- 時間帯5:
- 時間帯6:
- 時間帯7:
- 時間帯8:
- 時間帯9:
- 時間帯10:



次のページへ

時間帯/料金設定

時間帯名称    時間帯パターン    季節    固定特約日    変動特約日    料金

時間帯パターン

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	時
1	Blue	Red																							
2	Blue	Green																							
3	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
4	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
5	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
6	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
7	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
8	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
9	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									
10	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue	Blue									

時間帯 1 : 昼間    時間帯 6 :  
 時間帯 2 : 夜間    時間帯 7 :  
 時間帯 3 : ピーク    時間帯 8 :  
 時間帯 4 : 夏季昼間    時間帯 9 :  
 時間帯 5 :    時間帯 10 :

確定

閉じる

13:00~16:00 までがピーク時間で登録されます。

⑥ パターン 3 の全日夜間時間はすでに登録されているので、これで確定をクリックして、登録内容を保存します。



時間帯パターン

時間帯パターンを登録しました

OK

⑦ OKをクリックします。

⑧ 閉じるをクリックし、登録を終了します。

## 季節を登録する

登録する季節は次の通りです。

夏季（7月1日～9月30日）： 平日（土曜含む）はパターン2

その他季（10月1日～翌年6月30日）： パターン1

日曜はパターン3、初期値はパターン1です。

① 「季節」タブをクリックします。

時間帯名称 | 時間帯パターン | **季節** | 固定

季節

季節	曜日	時間帯パターン
A	月曜	時間帯パターン1
	火～金曜	時間帯パターン1
	土曜	時間帯パターン1
	日曜	時間帯パターン1
B	月曜	時間帯パターン1
	火～金曜	時間帯パターン1
	土曜	時間帯パターン1
	日曜	時間帯パターン1
C	月曜	時間帯パターン1
	火～金曜	時間帯パターン1
	土曜	時間帯パターン1
	日曜	時間帯パターン1
D	月曜	時間帯パターン1
	火～金曜	時間帯パターン1
	土曜	時間帯パターン1
	日曜	時間帯パターン1

季節の日付範囲は  
4月1日～8月31日まで  
設定して下さい。  
2月の月末日は29日まで  
設定して下さい。

確定

閉じる



② 夏季の「7/1～9/30」を季節Bとして登録し、その他の日を季節A、Cに登録します。※

時間帯名称 | 時間帯パターン | **季節** | 固定特約日 | 変動特約日 | 料金

季節

季節	曜日	時間帯パターン
A	月曜	時間帯パターン1
	火～金曜	時間帯パターン1
	土曜	時間帯パターン1
	日曜	時間帯パターン1
B	月曜	時間帯パターン1
	火～金曜	時間帯パターン1
	土曜	時間帯パターン1
	日曜	時間帯パターン1
C	月曜	時間帯パターン1
	火～金曜	時間帯パターン1
	土曜	時間帯パターン1
	日曜	時間帯パターン1
D	月曜	時間帯パターン1
	火～金曜	時間帯パターン1
	土曜	時間帯パターン1
	日曜	時間帯パターン1

季節の日付範囲は  
4月1日～8月31日まで  
設定して下さい。  
2月の月末日は29日まで  
設定して下さい。

確定

閉じる



次のページへ

※ 季節Aの開始は4/1に、最後の季節の終了は3/31に設定してください。  
また各季節の終了と、次の季節の開始は連続した日付になるように設定してください。

**時間帯/料金設定**

時間帯名称	時間帯パターン	季節	固定特約日	変動特約日	料金
季節					
季節 A	開始 04/01 ~ 終了 06/30	A	月曜	時間帯パターン1	
季節 B	開始 07/01 ~ 終了 09/30		火~金曜	時間帯パターン1	
季節 C	開始 10/01 ~ 終了 03/31		土曜	時間帯パターン3	
季節 D		B	日曜	時間帯パターン2	
			月曜	時間帯パターン2	
			火~金曜	時間帯パターン3	
		C	土曜	時間帯パターン1	
			日曜	時間帯パターン1	
			月曜	時間帯パターン1	

季節の日付範囲は  
4月1日~3月31日で  
設定して下さい。  
2月の末日は28日で  
設定して下さい。

③ 季節A、B、Cの日曜のパターンを「時間帯パターン3」に、季節Bの平日（土曜を含む）のパターンを「時間帯パターン2」に登録します。※

④ 確定をクリックして登録内容を保存します。

確定

閉じる

↓

**季節切替パターン**

⑤ OKをクリックします。

季節切替パターンを登録しました

OK

⑥ 閉じるをクリックし、登録を終了します。

閉じる

※ 時間帯パターンの変更方法

① 変更したい季節、曜日の時間帯パターンをクリックします。

② ボタンをクリックします。

③ 「時間帯パターン1」～「時間帯パターン10」をメニュー表示しますので、設定したいパターンをクリックします。

時間帯パターンをクリックするとボタンを表示します。

時間帯/料金設定

時間帯名称	時間帯パターン	季節	固定特約日	変動特約日	料金
季節					
季節 A	開始 04/01 ~ 終了 06/30	A	月曜	時間帯パターン1	
季節 B	開始 07/01 ~ 終了 09/30		火~金曜	時間帯パターン1	
季節 C	開始 10/01 ~ 終了 03/31		土曜	時間帯パターン1	
季節 D		B	日曜	時間帯パターン1	
			月曜	時間帯パターン1	
			火~金曜	時間帯パターン2	
		C	土曜	時間帯パターン3	
			日曜	時間帯パターン4	
			月曜	時間帯パターン5	
		D	火~金曜	時間帯パターン6	
			土曜	時間帯パターン7	
			日曜	時間帯パターン8	
			時間帯パターン9		
			時間帯パターン10		
			時間帯パターン1		
			時間帯パターン1		

確定

閉じる

## 固定特約日を登録する

固定特約日には、年度が変わっても変動しない祝日（1/1、2/11、4/29、5/3、5/4、5/5、11/3、11/23、12/23）を初期値として「時間帯パターン1」で登録しています。

ここでは料金の条件により、それらの日にちに加えて1/2、1/3、4/30、5/1、5/2、12/30、12/31を固定特約日として「時間帯パターン3」で登録します。変動する祝日（成人の日、春分の日…等）は変動特約日で登録します。

この例では「4/29」を「時間帯パターン3」で登録します。

時間帯/料金設定

時間帯名称	時間帯パターン	季節	固定特約日	変動特約日	料金	
固定特約日						
1月 (2005年)		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜
2月 (2005年)						
3月 (2005年)						
4月 (2004年)					1	2
5月 (2004年)						3
6月 (2004年)		4	5	6	7	8
7月 (2004年)						9
8月 (2004年)						10
9月 (2004年)		11	12	13	14	15
10月 (2004年)						16
11月 (2004年)						17
12月 (2004年)		18	19	20	21	22
						23
		24	25	26	27	28
					29*	30

現在の登録内容

●固定特約日を登録すると、赤字および「\*」で表示します  
 ●固定特約日は年および季節に関係なく設定された時間帯パターンで算出します  
 ●振替休日は変動特約日で登録してください

確定

閉じる



時間帯/料金設定

時間帯名称	時間帯パターン	季節	固定特約日	変動特約日	料金	
固定特約日						
1月 (2005年)		日曜	月曜	火曜	水曜	木曜
2月 (2005年)						
3月 (2005年)						
4月 (2004年)					1	2
5月 (2004年)						3
6月 (2004年)		4	5	6	7	8
7月 (2004年)						9
8月 (2004年)						10
9月 (2004年)		11	12	13	14	15
10月 (2004年)						16
11月 (2004年)						17
12月 (2004年)		18	19	20	21	22
						23
		24	25	26	27	28
					29	

固定特約日解除  
 時間帯パターン1  
 時間帯パターン2  
**時間帯パターン3**  
 時間帯パターン4  
 時間帯パターン5  
 時間帯パターン6  
 時間帯パターン7  
 時間帯パターン8  
 時間帯パターン9  
 時間帯パターン10

確定

閉じる

② 設定する日をクリックするとメニューを表示しますので、「時間帯パターン3」を選択します。同様にして固定特約日として設定するすべての日を設定します。

③ 設定する日を設定したら、「確定」をクリックします。※

④ OKをクリックします。

固定特約日

固定特約日を登録しました

OK

⑤ 閉じるをクリックし、登録を終了します。

※ 1つの月を設定するごとに、「確定」をクリックしてください。

## 変動特約日を登録する

変動特約日には、年度ごとに変動する祝日（成人の日、春分の日…等）などを設定します。  
ここでの例では変動する祝日の1つ「海の日（7月の第3月曜日）」を「時間帯パターン3」で登録します。



## 料金を登録する

各時間帯ごとに料金を登録します。ここでは

- ・昼間時間：11.50 円
- ・夜間時間：5.95 円
- ・ピーク時間：15.80 円
- ・夏季昼間時間：13.20 円

を登録します。

この例では「昼間」に「11.50 円」を登録します。

① 「料金」タブをクリックします。

時間帯/料金設定

時間帯名称 時間帯

料金

時間帯No 1 : 昼間  
時間帯No 2 : 夜間  
時間帯No 3 : ピーク  
時間帯No 4 : 夏季昼間  
時間帯No 5 :  
時間帯No 6 :  
時間帯No 7 :  
時間帯No 8 :  
時間帯No 9 :  
時間帯No 10 :

基本料金 0.00 円 基本使用量 0.00 kWh  
単価1 0.00 円 単価変更使用量 0.00 kWh  
単価2 0.00 円

料金および使用量は  
小数第3位を四捨五入します。

基本料金 単価1 単価2

基本使用量 単価変更使用量

●登録は時間帯毎に登録して下さい

【ご注意】 料金計算は、請求書等のお金に関わる事項に使用しないで下さい

確定

閉じる



② 「時間帯No. 1 : 昼間」を選択します。

③ 単価2に「11.50」と入力します。  
※(次のページに説明があります。)

④ 確定をクリックします。  
②③④を繰り返して全ての時間帯に単価  
を入力します。

時間帯/料金設定

時間帯名称 時間帯 季節 固定特約日 変動特約日 料金

料金

時間帯No 1 : 昼間  
時間帯No 2 : 夜間  
時間帯No 3 : ピーク  
時間帯No 4 : 夏季昼間  
時間帯No 5 :  
時間帯No 6 :  
時間帯No 7 :  
時間帯No 8 :  
時間帯No 9 :  
時間帯No 10 :

基本料金 0.00 円 基本使用量 0.00 kWh  
単価1 0.00 円 単価変更使用量 0.00 kWh  
単価2 11.50 円

料金および使用量は  
小数第3位を四捨五入します。

基本料金 単価1 単価2

基本使用量 単価変更使用量

●登録は時間帯毎に登録して下さい

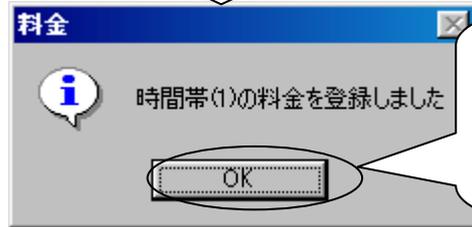
【ご注意】

確定

閉じる



次のページへ



※料金は次の式で計算されます。

**使用量 ≤ 基本使用量の場合**

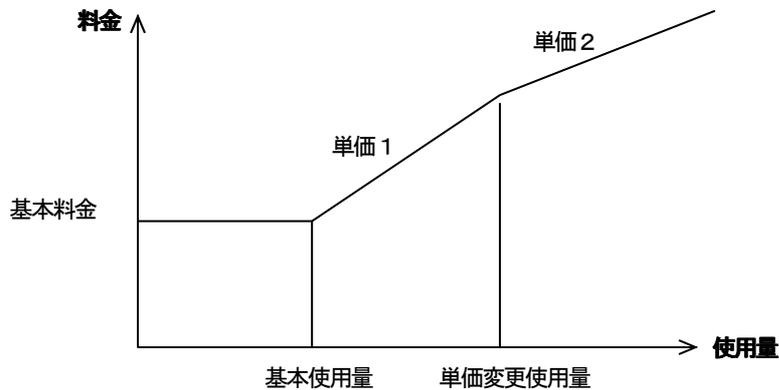
$$\text{料金} = \text{基本料金}$$

**基本使用量 < 使用量 ≤ 単価変更使用量の場合**

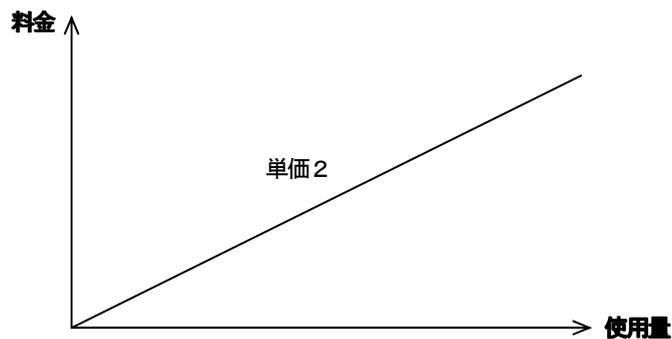
$$\text{料金} = \text{基本料金} + (\text{使用量} - \text{基本使用量}) \times \text{単価1}$$

**使用量 > 単価変更使用量の場合**

$$\text{料金} = \text{基本料金} + (\text{単価変更使用量} - \text{基本使用量}) \times \text{単価1} + (\text{使用量} - \text{単価変更使用量}) \times \text{単価2}$$

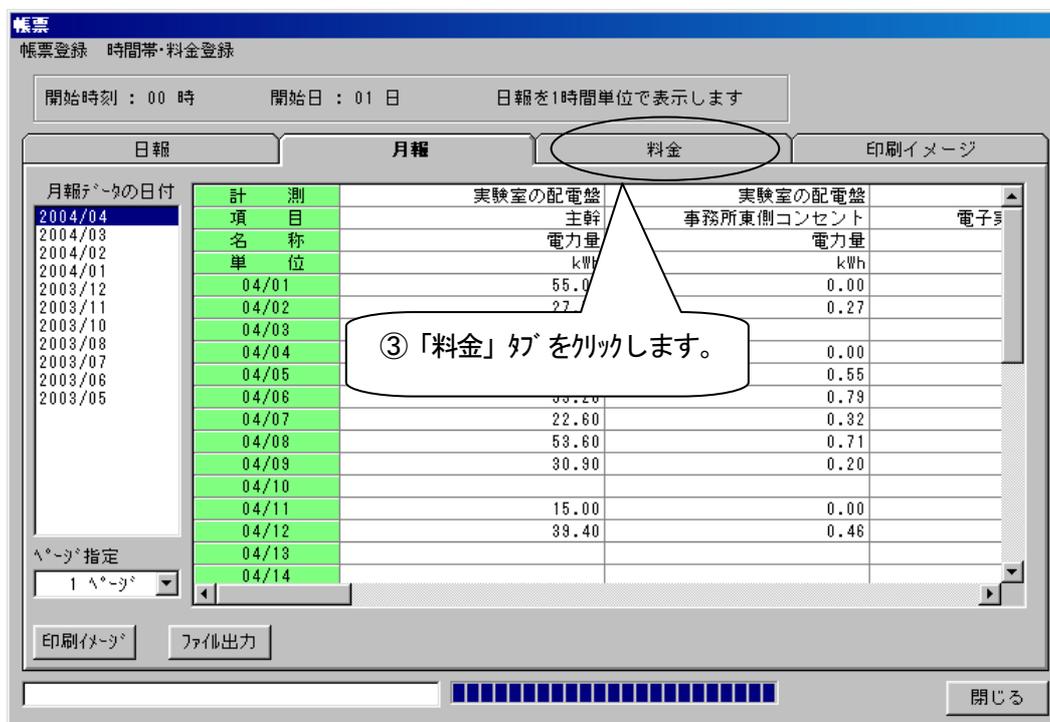
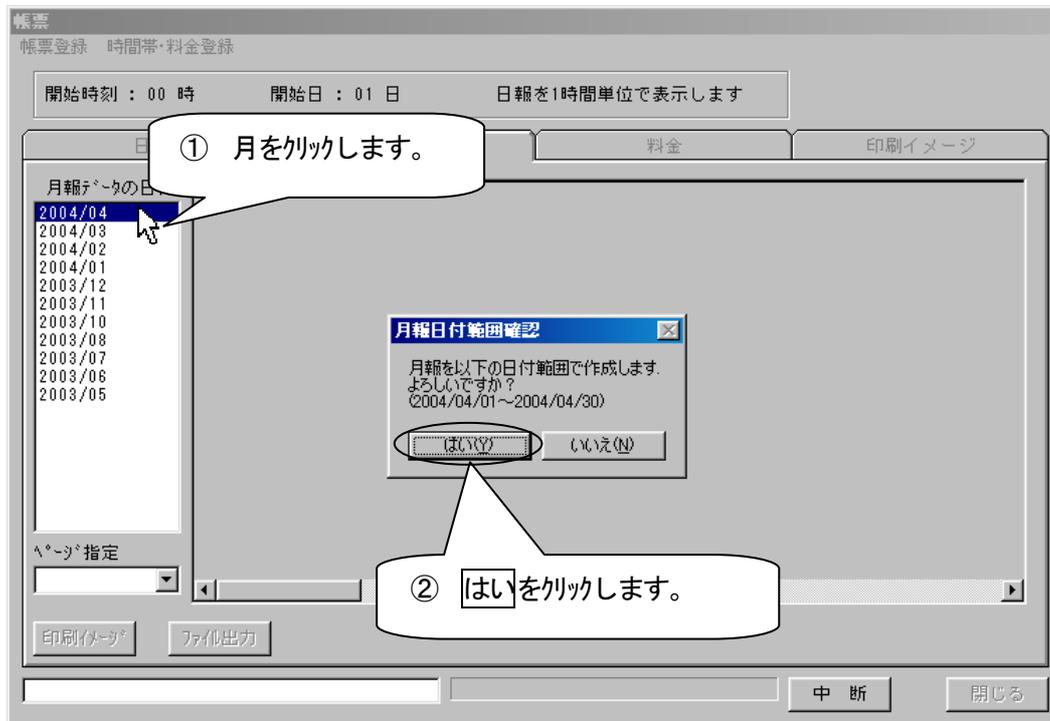


この例では、基本使用量や単価変更使用量などの設定を「0」とし、単価2だけ入力することで、下の図のような料金計算になり、単純に料金を「使用量×単価」で求めることができます。



## 料金を表示する

料金は日報・月報を表示したときに、同時に「料金」タブに料金表を表示しています。表示した料金を印刷する方法やCSV ファイルに出力する方法は日報と同じです。  
 この例では月報を表示して、料金表を表示します。



次のページへ

帳票  
帳票登録 時間帯・料金登録

開始時刻 : 00 時    開始日 : 01 日    日報を1時間単位で表示します

日報    月報    **料金**    印刷イメージ

項目名    実験室の配電盤

主幹  
電力量  
kWh    円    電力量  
kWh

	使用量	料金	使用量
昼間	252.30	3,103.29	3.04
夜間	100.60	608.63	0.26
ピーク	0.00	0.00	0.00
夏季昼間	0.00	0.00	0.00
	0.00		0.00
	0.00		0.00
	0.00		0.00
	0.00		0.00
	0.00		0.00

【注意】料金はあくまでも目安です。取引や請求等の取扱いには使用しないで下さい。  
料金表には単位名称が「kWh」の項目のみ表示します。

1ヶ所指定

④ 横スクロールバーを右へドラッグします。

閉じる



帳票  
帳票登録 時間帯・料金登録

開始時刻 : 00 時    開始日 : 01 日    日報を1時間単位で表示します

日報    月報    **料金**    印刷イメージ

項目名    実験室の配電盤

	総 合 計		総 合 計	
	円	円	円	円
	料 金	使 用 量	料 金	使 用 量
昼間	891.38	1,025.27	12,610.82	
夜間	454.60	682.31	4,127.97	
ピーク	0.00	0.00	0.00	
夏季昼間	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	
		0.00	0.00	
		0.00	0.00	
		0.00	0.00	
		0.00	0.00	

【注意】料金はあくまでも目安です。取引や請求等の取扱いには使用しないで下さい。  
なお、料金表には単位名称が「kWh」の項目のみ表示します。

1ヶ所指定    1ヶ所指定

印刷イメージ    ファイル出力

閉じる

使用量と料金の総合計を表示します。

# 10 帳票仕様

## 日報仕様

項目	仕様
表示可能項目数	14 計測項目 / ヘージ
表示可能ヘージ数	500ヘージ
データ	1 日分
時刻表示	30 分単位、1 時間単位
先頭時刻	選択日付、表示開始時刻
表示桁	小数点以下 2 桁
最大値=最小値	帳票表示データより抽出 (データに「*」添付)
日最大	帳票表示データより抽出 (データに「+」添付)
日最小	帳票表示データより抽出 (データに「-」添付)
日平均	帳票表示データの合計 ÷ 帳票表示データ数 (表示桁以下四捨五入)
日合計	積算項目のみ

## 日報例

日報 (2004/04/06)														作成: 2004年 4月14日 (水)	
項目	主幹	主幹	主幹	主幹	主幹	主幹	主幹	主幹	主幹	事務所東側コ	事務所東側コ	事務所東側コ	事務所東側コ	電子実験室	電子実験室
名称	電力	電力	力率	R側電圧	R側電流	T側電圧	T側電流	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力	電力
単位	kWh	kW	%	V	A	V	A	kWh	kWh	%	V	A	kWh	kWh	kWh
00:00~01:00	1.00	1.10	90.00	104.00	0.80	103.00	11.10	0.00	0.00	0.00	0.00	104.00	0.00	0.00	0.00
01:00~02:00	0.90	1.10	90.00	104.00	0.80	103.00	11.10	0.00	0.00	0.00	0.00	104.00	0.31	0.00	0.00
02:00~03:00	1.00	1.10	89.00	104.00	0.80	103.00	11.10	0.00	0.00	0.00	0.00	104.00	0.08	0.00	0.00
03:00~04:00	1.00	1.00	80.00	104.00	0.80	103.00	11.10	0.00	0.00	0.00	0.00	104.00	0.00	0.00	0.00
04:00~05:00	0.90	1.00	89.00	103.00	0.80	103.00	11.30	0.00	0.00	0.00	5.00	103.00	0.31	0.00	0.00
05:00~06:00	1.00	1.10	89.00	103.00	0.80	102.00	10.90	0.00	0.00	0.00	0.00	103.00	0.00	0.00	0.00
06:00~07:00	0.90	1.10	90.00	103.00	0.80	102.00	10.80	0.00	0.00	0.00	5.00	103.00	0.31	0.00	0.00
07:00~08:00	1.60	3.50	98.00	104.00	20.80	103.00	21.90	0.00	0.01	0.01	75.00	104.00	0.33	0.16	0.94
08:00~09:00	1.60	1.90	92.00	105.00	7.80	104.00	12.80	0.01	0.01	0.01	70.00	105.00	0.14	0.08	0.16
09:00~10:00	2.10	4.30	92.00	103.00	13.00	103.00	12.80	0.01	0.02	0.02	87.00	103.00	5.71	0.06	0.17
10:00~11:00	2.80	4.50	95.00	102.00	27.70	102.00	33.00	0.07	0.29	0.29	89.00	102.00	5.97	0.45	1.42
11:00~12:00	3.40	5.10	94.00	102.00	30.90	102.00	36.10	0.10	0.56	0.56	91.00	102.00	6.02	0.48	1.25
12:00~13:00	2.80	4.00	92.00	103.00	19.30	103.00	37.60	0.05	0.07	0.07	85.00	103.00	5.84	0.33	1.22
13:00~14:00	3.00	4.00	95.00	103.00	24.90	103.00	37.00	0.06	0.45	0.45	89.00	103.00	5.89	0.48	1.30
14:00~15:00	3.40	4.10	94.00	102.00	25.40	102.00	35.70	0.06	0.07	0.07	88.00	102.00	5.87	0.46	1.33
15:00~16:00	3.30	4.50	92.00	102.00	28.00	102.00	37.00	0.09	0.45	0.45	89.00	102.00	5.87	0.33	1.53
16:00~17:00	3.20	4.10	93.00	102.00	17.30	102.00	37.10	0.08	0.40	0.40	89.00	102.00	5.91	0.35	1.14
17:00~18:00	3.40	5.30	92.00	102.00	17.70	102.00	36.90	0.05	0.38	0.38	90.00	102.00	5.76	0.40	1.27
18:00~19:00	3.70	5.60	93.00	103.00	29.10	102.00	38.10	0.05	0.05	0.05	87.00	103.00	5.53	0.43	1.31
19:00~20:00	3.00	4.00	93.00	103.00	17.30	103.00	31.70	0.04	0.05	0.05	87.00	103.00	0.58	0.42	1.21
20:00~21:00	2.80	3.20	90.00	104.00	16.50	103.00	32.50	0.05	0.45	0.45	93.00	104.00	5.75	0.35	0.43
21:00~22:00	2.90	4.50	95.00	104.00	25.30	103.00	29.60	0.03	0.04	0.04	83.00	104.00	0.68	0.31	1.13
22:00~23:00	2.30	4.20	93.00	103.00	21.90	103.00	28.80	0.03	0.04	0.04	69.00	103.00	0.78	0.13	1.09
23:00~00:00	1.20	2.00	92.00	104.00	9.60	103.00	14.20	0.01	0.02	0.02	62.00	104.00	0.38	0.03	0.06
日最大	3.70	5.60	98.00	105.00	30.90	104.00	38.10	0.10	0.56	0.56	93.00	105.00	6.02	0.48	1.53
日最小	0.90	1.00	89.00	102.00	0.80	102.00	10.80	0.00	0.00	0.00	0.00	102.00	0.00	0.00	0.00
日平均	2.22	3.18	92.17	103.17	14.71	102.67	24.63	0.03	0.14	0.14	59.96	103.17	2.83	0.22	0.71
日合計	53.20														

# 月報仕様

項目	仕様
表示可能項目数	14 計測項目ノページ
表示可能ページ数	500ページ
データ	1ヶ月分
先頭時刻	選択月、表示開始日
表示桁	小数点以下2桁
月最大	帳票表示データより抽出
月最小	帳票表示データより抽出
月平均	帳票表示データの合計÷帳票表示データ数 (表示桁以下四捨五入)
月合計	積算項目のみ

# 月報例

月報 (2004/03/01~2004/03/31) Page-1

株式会社○○○○ 作成: 2004年 4月14日 (水)

計測項目名称単位	実験室の配電 盤2		実験室の配電 盤2		実験室の配電 盤2		実験室の配電 盤2		実験室の配電 盤2		実験室の配電 盤2		実験室の配電 盤2		実験室の配電 盤2		実験室の配電 盤2	
	主幹電力量 kWh	主幹電力 kW	主幹力率 %	R側電圧 V	R側電流 A	T側電圧 V	T側電流 A	恒溫槽No3電力量 kWh	恒溫槽No3電力 kW	恒溫槽No3力率 %	恒溫槽No3電圧 V	恒溫槽No3電流 A						
03/01	66.80	8.10	85.00	208.00	32.60	208.00	27.50	20.33	3.50	100.00	208.00	13.46	208.00	11.33	208.00	11.33	208.00	11.33
03/02	124.80	10.80	87.00	207.00	35.20	208.00	35.00	34.50	5.52	86.00	207.00	17.46	208.00	16.08	208.00	16.08	208.00	16.08
03/03	134.90	10.70	86.00	206.00	34.30	207.00	29.30	41.46	5.80	82.00	207.00	18.56	207.00	16.39	207.00	16.39	207.00	16.39
03/04	94.60	7.80	87.00	208.00	28.20	209.00	26.00	16.22	2.32	80.00	208.00	11.23	209.00	2.70	209.00	2.70	209.00	2.70
03/05	76.30	9.50	85.00	206.00	33.20	208.00	23.70	11.32	4.56	80.00	206.00	16.70	209.00	13.05	209.00	13.05	209.00	13.05
03/06	106.80	8.40	88.00	209.00	32.50	210.00	23.20	31.47	4.57	81.00	209.00	16.44	210.00	12.24	210.00	12.24	210.00	12.24
03/07	74.50	6.20	83.00	208.00	22.70	208.00	17.80	30.57	1.52	76.00	208.00	8.31	208.00	2.08	208.00	2.08	208.00	2.08
03/08	82.70	6.30	86.00	207.00	25.30	208.00	21.90	30.50	1.78	77.00	207.00	8.40	208.00	2.11	208.00	2.11	208.00	2.11
03/09	91.20	9.50	88.00	207.00	29.50	208.00	31.10	30.27	1.76	77.00	207.00	8.23	208.00	2.11	208.00	2.11	208.00	2.11
03/10	96.60	9.60	89.00	206.00	33.90	206.00	28.60	30.18	1.48	76.00	206.00	8.16	208.00	2.11	208.00	2.11	208.00	2.11
03/11	109.10	8.30	87.00	208.00	32.50	209.00	26.60	29.93	1.78	76.00	208.00	8.08	209.00	2.13	209.00	2.13	209.00	2.13
03/12	108.20	7.80	87.00	207.00	28.10	208.00	23.30	29.92	1.47	76.00	207.00	8.08	209.00	2.13	209.00	2.13	209.00	2.13
03/13	114.80	10.00	88.00	207.00	35.30	209.00	30.30	30.07	1.52	76.00	207.00	8.13	209.00	2.11	209.00	2.11	209.00	2.11
03/14	96.10	4.40	80.00	208.00	18.10	209.00	13.00	30.15	1.48	76.00	208.00	8.25	209.00	2.08	209.00	2.08	209.00	2.08
03/15	126.70	8.80	87.00	207.00	32.80	208.00	26.70	29.99	1.46	76.00	207.00	8.14	209.00	2.13	209.00	2.13	209.00	2.13
03/16	121.60	7.70	84.00	207.00	28.40	208.00	22.40	29.88	1.48	76.00	207.00	8.19	208.00	2.13	208.00	2.13	208.00	2.13
03/17	121.60	9.50	88.00	207.00	33.50	208.00	27.80	29.82	1.80	76.00	207.00	8.55	208.00	2.13	208.00	2.13	208.00	2.13
03/18	110.20	7.60	87.00	207.00	28.00	208.00	23.10	29.92	1.46	76.00	207.00	8.09	208.00	2.12	208.00	2.12	208.00	2.12
03/19	61.90	6.40	83.00	208.00	20.10	208.00	20.50	30.23	1.45	76.00	208.00	8.19	208.00	2.08	208.00	2.08	208.00	2.08
03/20	33.70	1.60	75.00	205.00	8.50	206.00	3.00	30.38	1.44	76.00	205.00	8.17	206.00	2.08	206.00	2.08	206.00	2.08
03/21	34.00	1.90	75.00	206.00	8.80	206.00	3.00	30.61	1.76	76.00	206.00	8.53	207.00	2.08	207.00	2.08	207.00	2.08
03/22	85.60	10.10	87.00	206.00	32.20	207.00	33.30	30.44	1.79	77.00	206.00	8.33	207.00	2.10	207.00	2.10	207.00	2.10
03/23	147.90	10.70	86.00	206.00	34.80	207.00	36.00	30.24	1.69	76.00	206.00	8.21	207.00	2.12	207.00	2.12	207.00	2.12
03/24	100.20	8.80	85.00	206.00	25.90	207.00	27.70	29.88	3.28	79.00	206.00	13.67	207.00	2.34	207.00	2.34	207.00	2.34
03/25	124.50	12.00	92.00	207.00	36.50	209.00	38.80	29.26	2.75	93.00	207.00	13.35	209.00	2.13	209.00	2.13	209.00	2.13
03/26	118.80	8.80	87.00	207.00	26.90	208.00	29.60	5.54	0.42	47.00	207.00	4.55	208.00	0.16	208.00	0.16	208.00	0.16
03/27	121.30	9.10	85.00	208.00	28.90	209.00	30.40	5.55	0.43	47.00	208.00	4.55	209.00	0.16	209.00	0.16	209.00	0.16
03/28	116.70	9.30	84.00	208.00	28.90	209.00	28.20	5.50	2.73	73.00	208.00	13.16	209.00	0.16	209.00	0.16	209.00	0.16
03/29	98.80	6.20	84.00	206.00	17.90	208.00	21.70	5.44	0.88	47.00	206.00	6.86	208.00	0.16	208.00	0.16	208.00	0.16
03/30	94.40	8.00	87.00	206.00	20.40	207.00	26.50	5.47	0.41	47.00	206.00	4.26	207.00	0.16	207.00	0.16	207.00	0.16
03/31	104.70	9.90	86.00	206.00	28.40	208.00	28.40	6.01	2.82	68.00	206.00	13.53	208.00	2.25	208.00	2.25	208.00	2.25
月最大	147.90	12.00	92.00	209.00	36.50	210.00	38.80	41.46	5.80	100.00	209.00	18.56	210.00	16.39	210.00	16.39	210.00	16.39
発生日	03/23	03/25	03/25	03/06	03/25	03/06	03/25	03/03	03/03	03/01	03/06	03/03	03/06	03/03	03/06	03/03	03/06	03/03
月最小	33.70	1.60	75.00	205.00	8.50	206.00	3.00	5.44	0.41	47.00	205.00	4.26	206.00	0.16	206.00	0.16	206.00	0.16
発生日	03/20	03/20	03/20	03/20	03/20	03/20	03/20	03/29	03/30	03/26	03/20	03/30	03/20	03/26	03/20	03/26	03/20	03/26
月平均	100.13	8.22	85.42	207.00	27.82	208.00	25.34	24.55	2.17	74.36	207.03	9.94	208.13	3.71	208.13	3.71	208.13	3.71
月合計	3104.00							761.05										

## 料金仕様

項目	仕様
表示可能項目数	4 計測項目／ページ
表示可能ページ数	500 ページ
データ	日報、月報の単位名称が kWh の計測項目
表示桁	小数点以下 2 桁
ページ合計	1 ページに表示している項目の合計
総合計	全ページに表示している項目の総合計

## 料金例

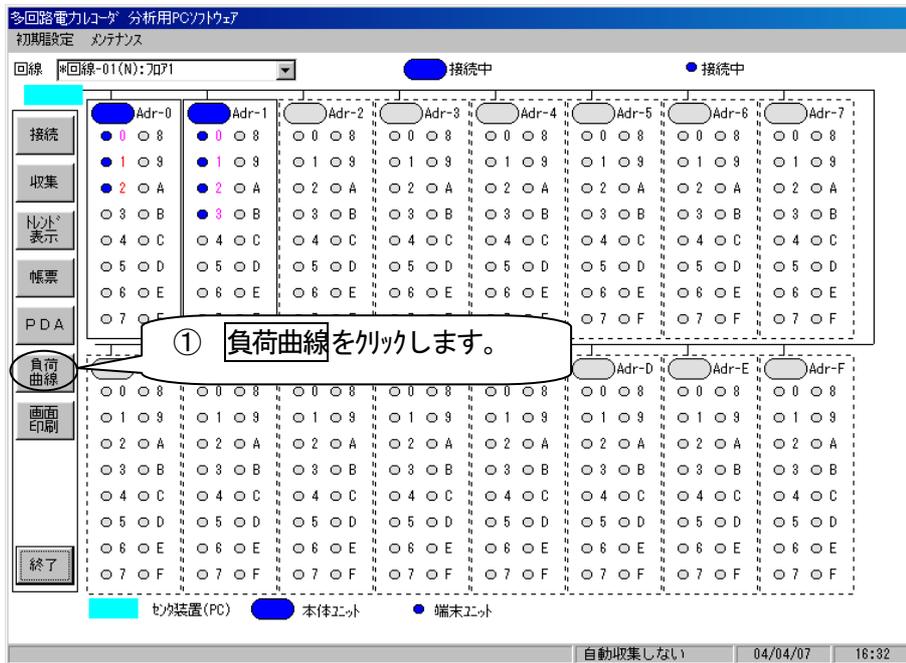
月報 (料金目安表) (2004/03/01~2004/03/31) Page-1

作成: 2004年 4月14日 (水)

株式会社〇〇〇〇 項目名	実験室の配電盤 2 主幹 電力量		実験室の配電盤 2 恒温槽No3 電力量		実験室の配電盤 2 TM1 電力量		実験室の配電盤 2 TM2 電力量		ページ合計		総合計	
	使用量 kWh	料金	使用量 kWh	料金	使用量 kWh	料金	使用量 kWh	料金	使用量 kWh	料金	使用量 kWh	料金
昼間	1,694.50	20,842.35	388.53	4,778.92	116.52	1,433.20	254.06	3,124.94	2453.61	30,179.41	2,453.61	30,179.41
夜間	1,409.50	8,527.48	372.52	2,253.75	76.21	461.07	222.88	1,348.42	2081.11	12,590.72	2,081.11	12,590.72
ピーク	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
夏季昼間	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
項目合計	3,104.00	29,369.83	761.05	7,032.67	192.73	1,894.27	476.94	4,473.36	4534.72	42,770.13	4,534.72	42,770.13

# 11 負荷曲線を表示する

データベースに保存した計測データをグラフ表示します。グラフ表示は、日付ごとに表示する方法と、計測項目ごとに表示する方法があります。どちらも表示できるグラフは4つまでです。



## 画面説明



複数の日付で表示するか、複数の計測項目で表示するかを選択します。

計測項目の一覧を表示します。

グラフ表示する項目をチェックします。

表示開始時刻および日付を表示します。

棒グラフで表示する場合にチェックします。(30分制限データの積算項目のみ) (P11-4)

日のグラフを表示する場合、日負荷をクリックします。

月のグラフを表示する場合、月負荷をクリックします。

収集データの日付が表示されます。

収集データの月が表示されます。

グラフの線の色を表示します。

グラフ表示開始日時の設定を行います。(P11-7)

表示開始の変更

表示開始時：00時 表示開始日：01日  
データ表示は開始時の30分から描画します

表示方式選択  
 複数の日付を選択  
 複数の計測項目を選択

計測項目リスト  
 計測項目の展開表示 選択 棒グラフ 色  
 1: [実験室の配電盤2] <30分時限>  
 0: [30分主計測]  
 (電力量)     
 (電力)     
 (力率)     
 (R側電圧)     
 (R側電流)     
 (T側電圧)     
 (T側電流)     
 1: [30分-1]  
 (電力量)     
 (電力)     
 (力率)

日グラフ表示

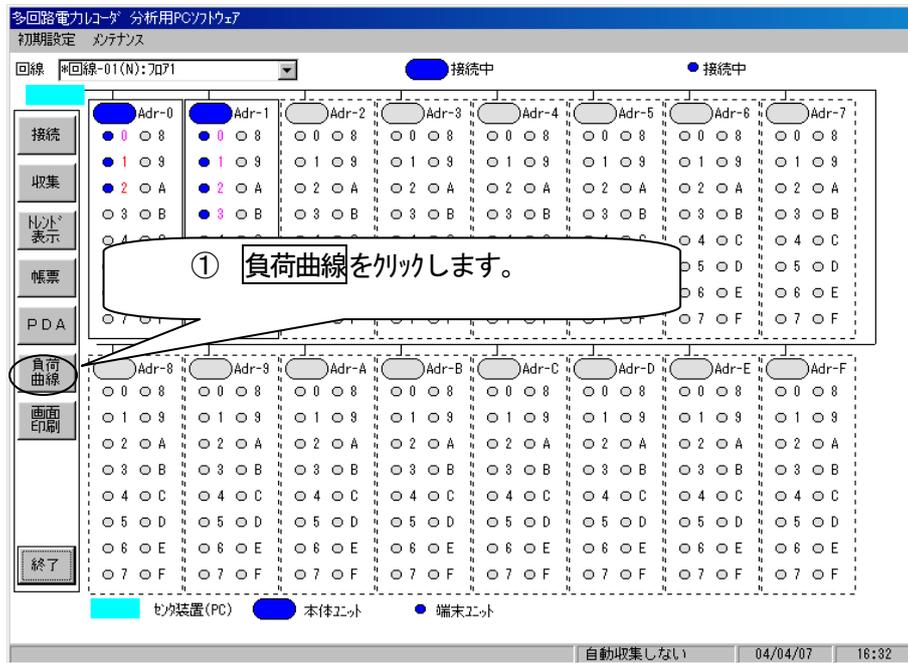
日付の日付  
 2004/04/14  
 2004/04/13  
 2004/04/09  
 2004/04/08  
 2004/04/07  
 2004/04/06  
 2004/04/05  
 2004/04/04  
 2004/04/03

月付の日付  
 2004/04  
 2004/03  
 2004/02  
 2004/01  
 2002/01

## 計測項目ごとにグラフを表示する

1つの日付に対し、複数の計測項目でグラフを表示します。

(例) 回線01、本体ユニットアドレス0、端末ユニットアドレス0の日付を「4月8日」とし、計測項目を「電力量」、「電力」、「力率」、「R側電圧」の4つをグラフ表示するとき

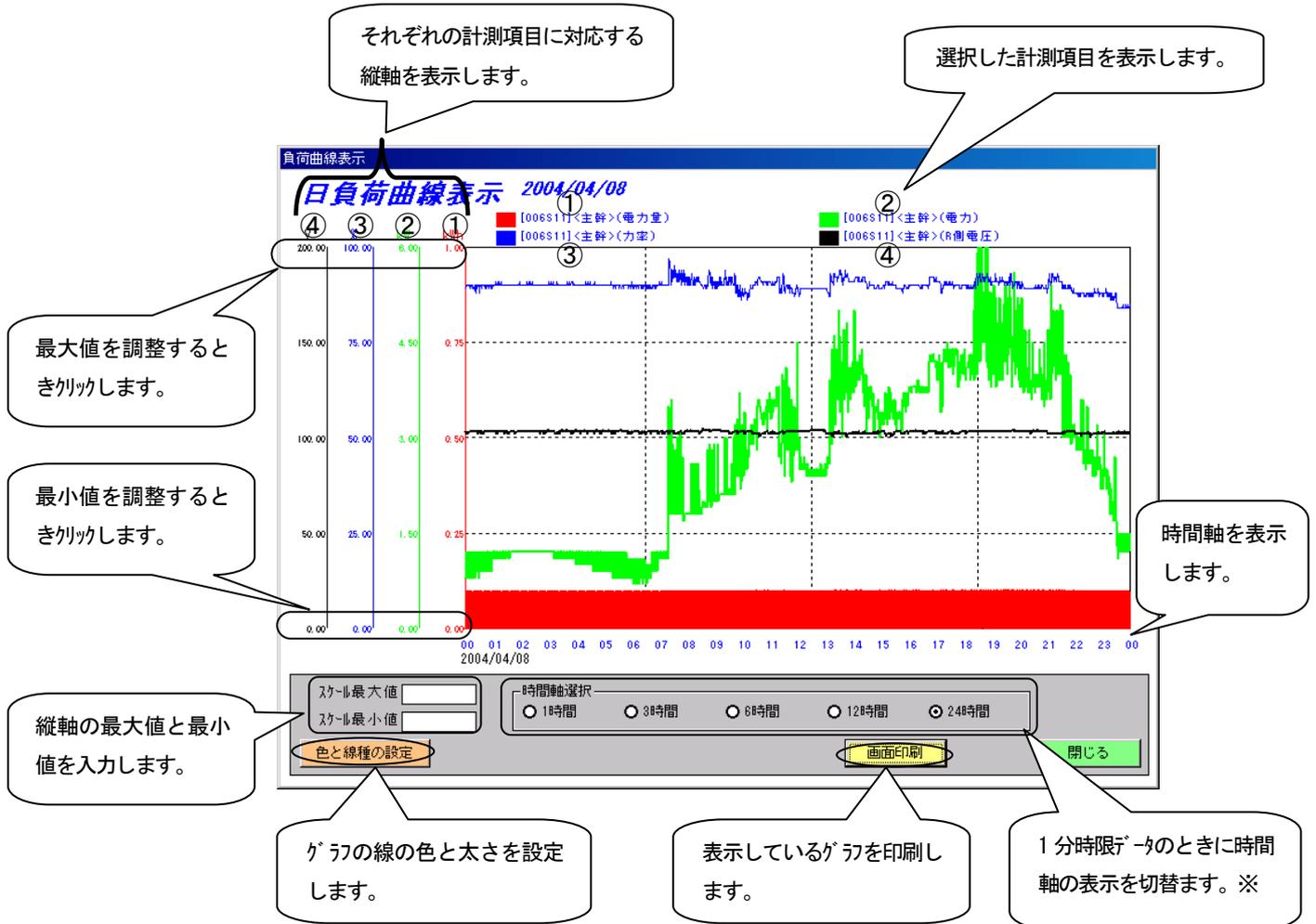


↓ 次のページへ

※ 月のデータを表示するときは、④で月データ日付から表示する月を1つだけ選択し、⑤で月負荷をクリックします。

**画面説明**

※ ①②③④：計測項目順



※ 月負荷と30分時限データの日負荷の場合、時間軸の表示を切替ることができません。



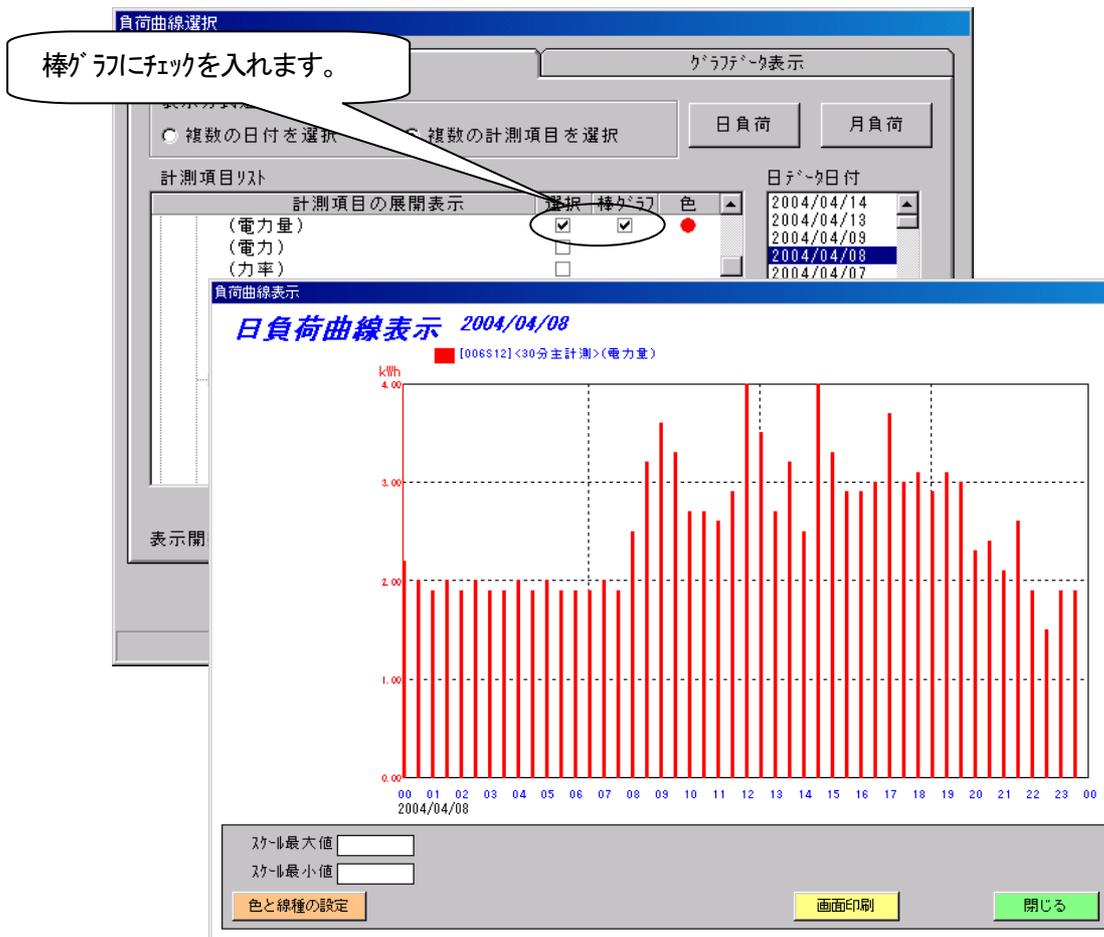
### 月負荷画面例

月負荷をクリックしたときは次のようなグラフを表示します。



### 棒グラフ画面例

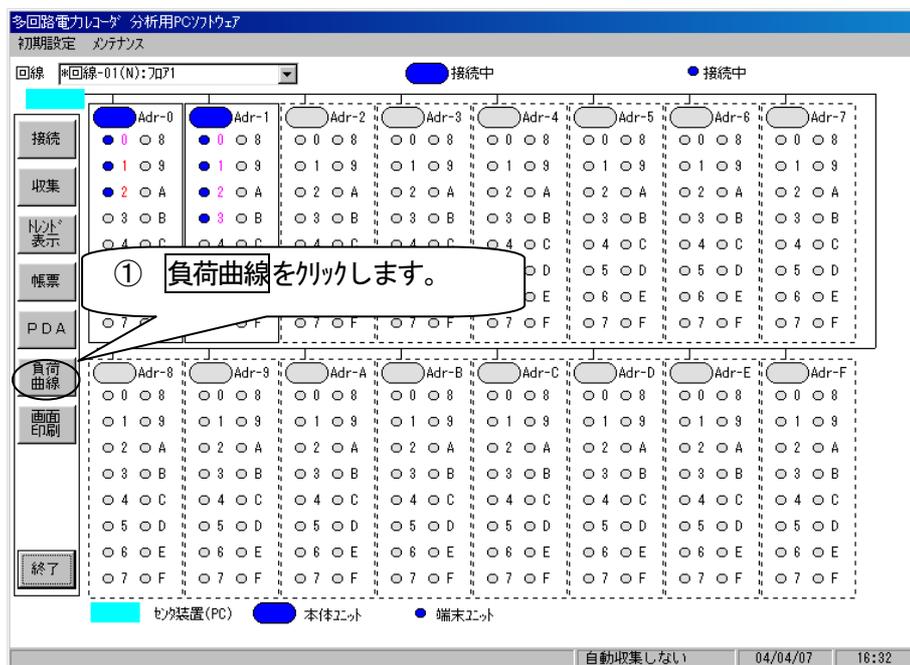
30分単位データの積算項目（電力量またはパルスカウント）は棒グラフで表示できます。



## 日付ごとにグラフを表示する

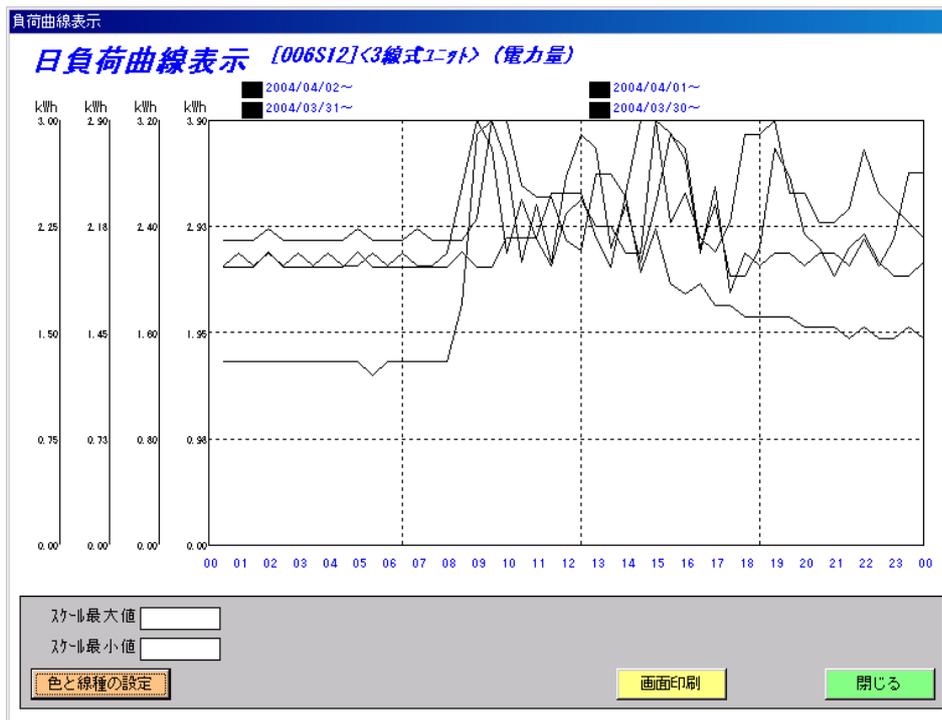
1つの計測項目に対し、複数の日付でグラフを表示します。

(例) 回線01、本体ユニットA0、端末ユニットA0の計測項目を「電力量」とし、日付は「2004/03/30」、「2004/03/31」、「2004/04/01」、「2004/04/02」の4つをグラフ表示するとき



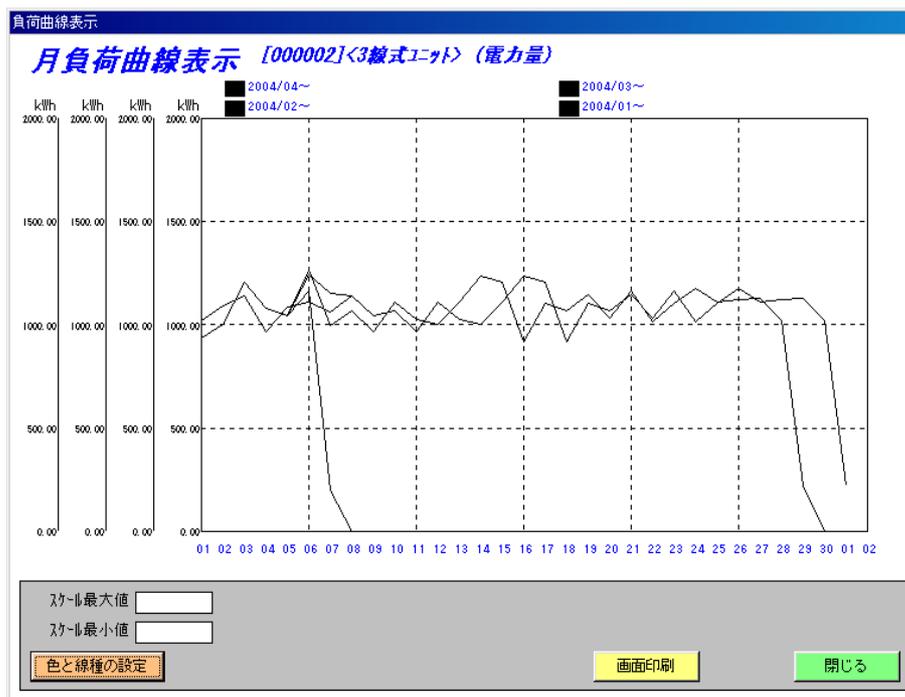
↓ 次のページへ

※ 月のデータを表示するときは、④で月データ日付から表示する月を選択し(4つまで)、⑤で月負荷をクリックします。



### 複数日付の月負荷画面例

月負荷をクリックしたときは次のようなグラフを表示します。

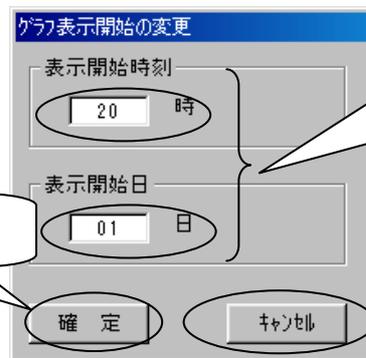


## グラフ表示の開始時刻を変更する

グラフの表示開始時刻と表示開始日時を変更します。

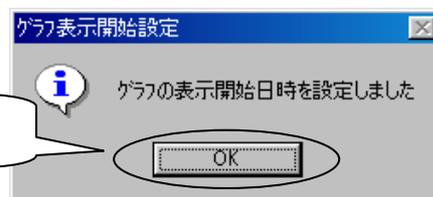


① 表示開始の変更をクリックします。



② 表示開始時刻を入力します。※  
(月負荷曲線の時間軸変更は、  
表示開始日を入力します。)

③ 確定をクリックします。



④ OKをクリックします。

⑤ 日時設定後、キャンセルをクリックします。

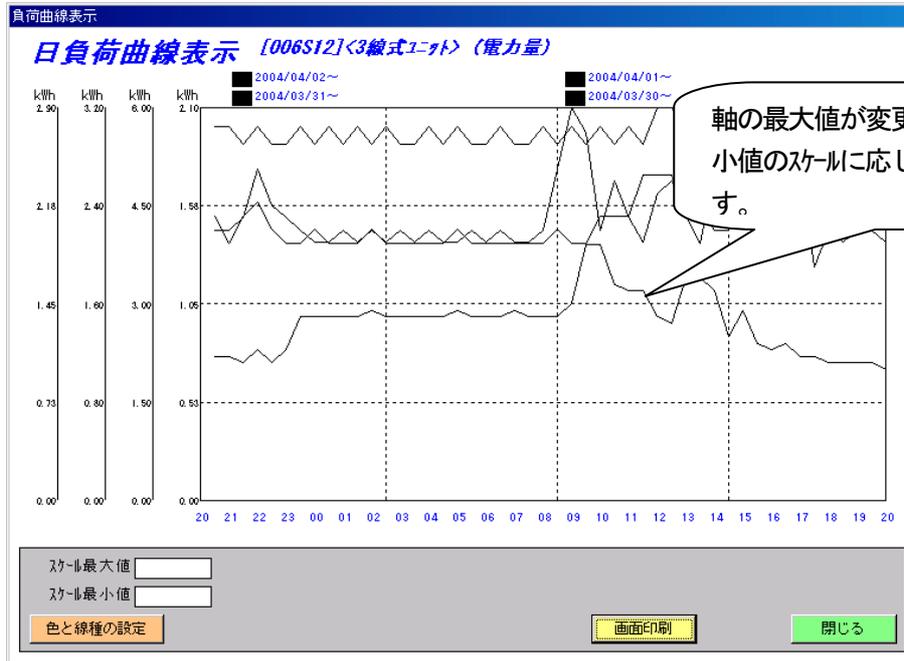
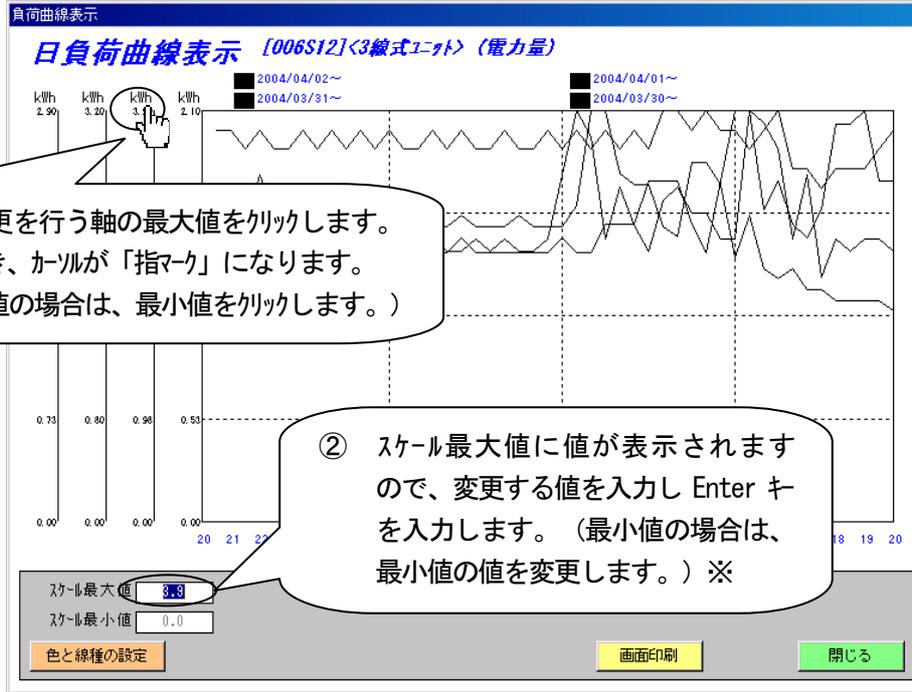
※ 表示開始日時

項目	初期値	設定可能な値
表示開始時刻	00	0~23
表示開始日	01	1~28

## グラフのスケールを変更する

計測項目ごとに、縦軸の最大値・最小値を変更します。

(例) 最大値を3.9から6.0に変更するとき



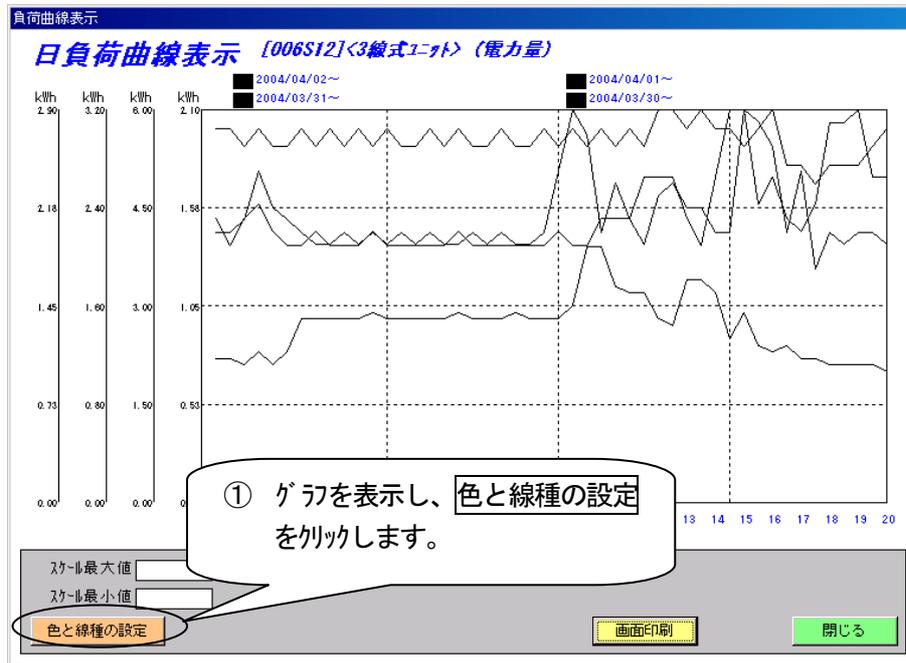
※最大値、最小値は小数点以下第2位が四捨五入されます。

項目	設定可能な値
最大値、最小値	-10000.0~10000.0

最大値>最小値

## グラフの色と太さを変更する

(例) 1番目のグラフの色を「赤」に、線の太さを「太線」に設定するとき

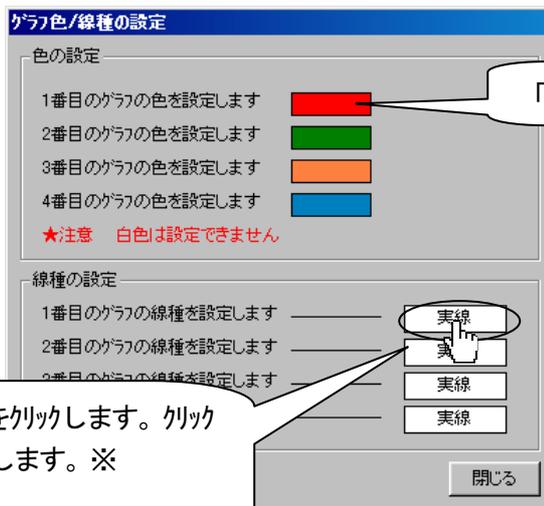


② 設定を行うグラフの色をクリックします。

③ 色を選択します。

④ OKをクリックします。

↓ 次のページへ



⑤ 設定を行うグラフの線種をクリックします。クリックすると次のように変化します。※ 実線⇔太線



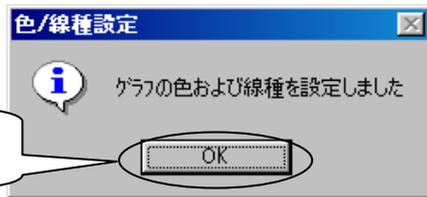
「太線」で表示されます。

⑥ 確定をクリックして、設定内容を登録します。

⑧ 閉じるをクリックして色と線種の設定を終了します。



⑦ OKをクリックします。



※ 棒グラフには、線種の設定は反映されません。

## 12 トレンドグラフを表示する

オンライン

### トレンドグループを設定する

トレンド表示を行う前に、トレンドグループを設定する必要があります。1グループ7項目、最大20グループ設定できます。

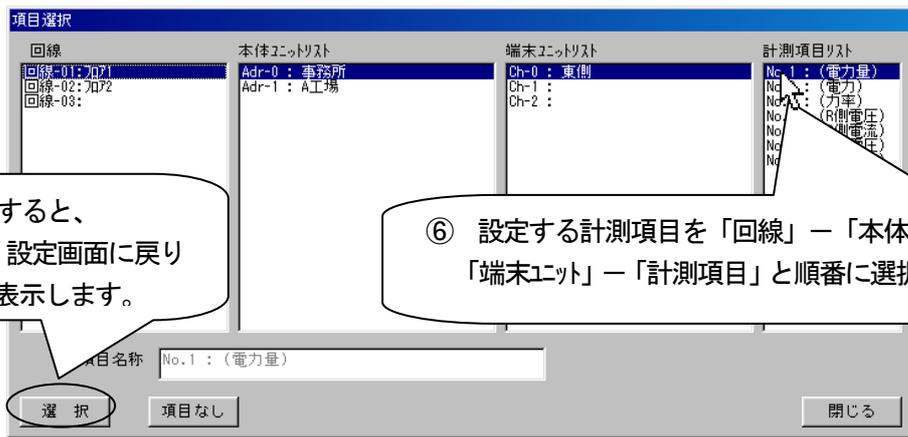
(例) グループ1に名称を「製造ライン1」と設定し、回線01、本体ユニットアドレス0、端末ユニットアドレス0の計測項目「電力」を番号1に設定するとき



↓ 次のページへ

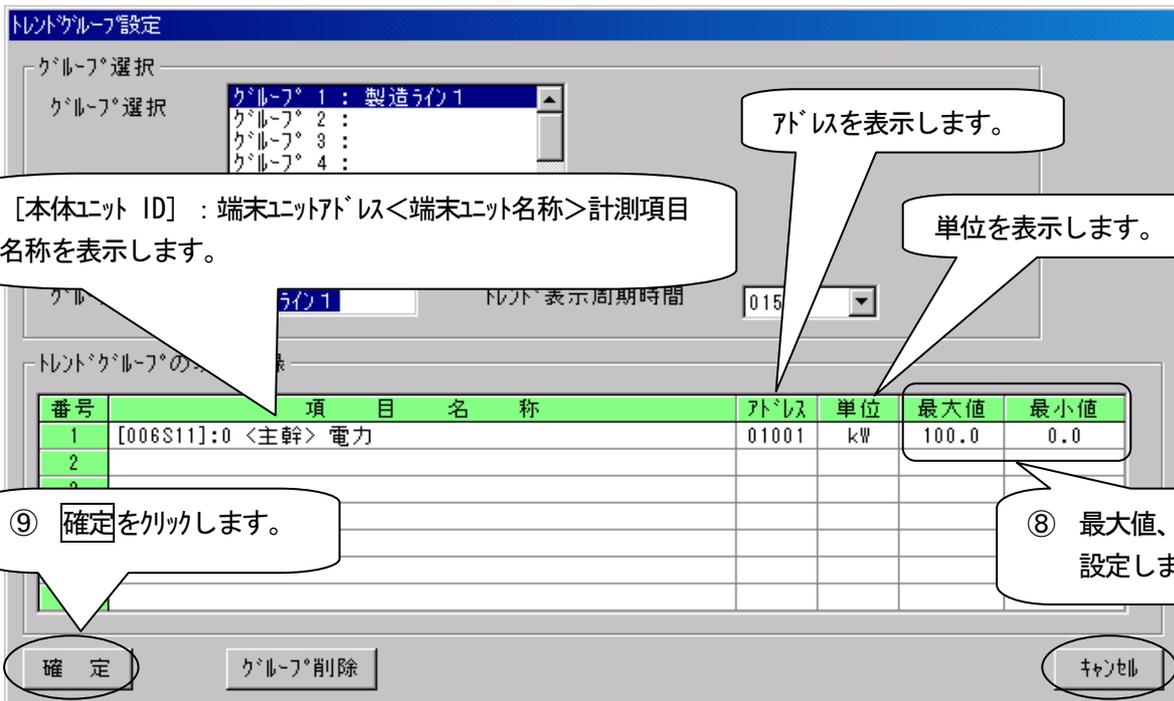
※ グループ名称と表示周期間隔

項目	初期値	設定可能な値	内容
グループ名称	なし	半角12(全角6)文字	グループ名称
表示時間(秒)	15	15、30、60、120から選択	データロット間隔



⑦ **選択**をクリックすると、トレンドグループ設定画面に戻り項目名称を表示します。

⑥ 設定する計測項目を「回線」－「本体ユニット」－「端末ユニット」－「計測項目」と順番に選択します。



[本体ユニット ID] : 端末ユニットアドレス<端末ユニット名称>計測項目名称を表示します。

アドレスを表示します。

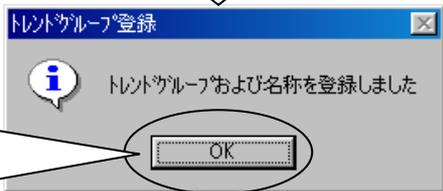
単位を表示します。

⑨ **確定**をクリックします。

⑧ 最大値、最小値を設定します。※



⑩ **OK**をクリックします。続けて同じグループに別の項目を設定する場合⑤～⑩を実施してください。



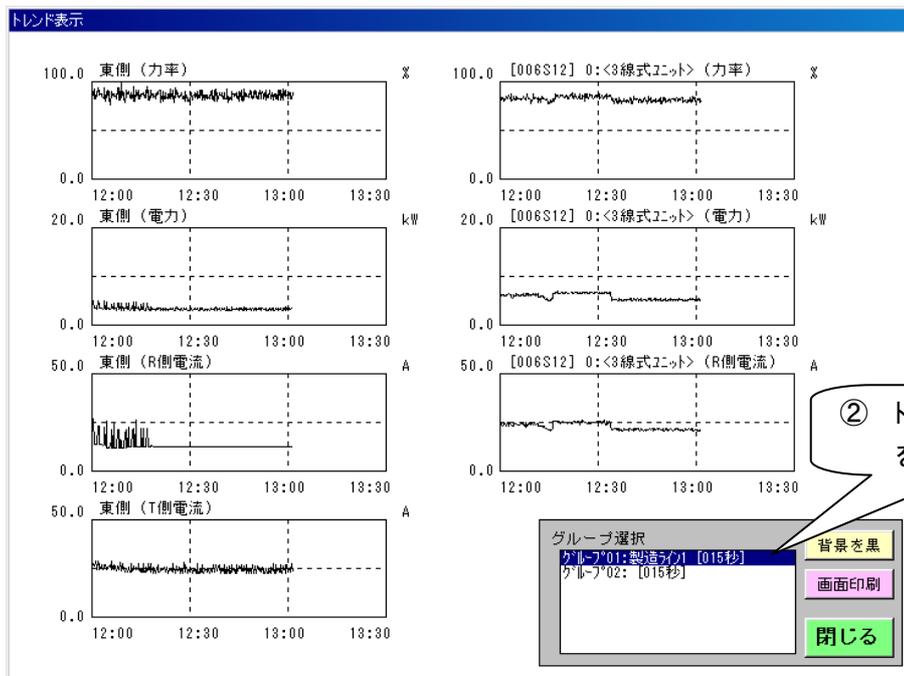
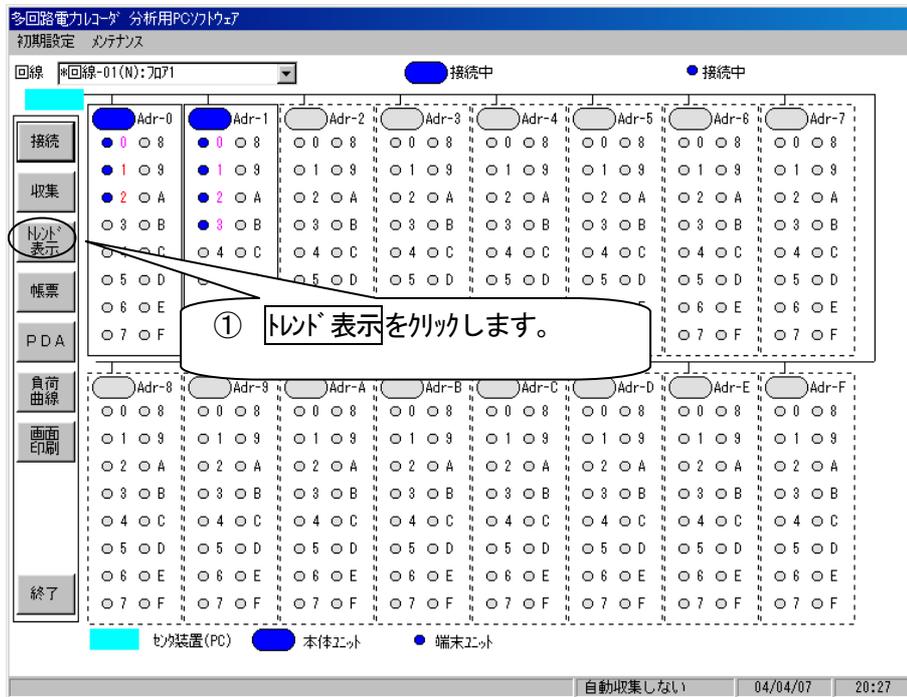
⑪ トレンドグループ設定後、**キャンセル**をクリックします。

※ 最大値または最小値のセルをクリックして値を入力します。  
小数点第2位以下は四捨五入します。

項目	初期値	設定可能な値	内容
最大値	100.0	-10000.0~10000.0	グラフ表示縦軸の最大値
最小値	0.0		グラフ表示縦軸の最小値

## トレンドグループを表示する

トレンドグループ設定でグループ設定した計測項目をトレンド表示します。トレンド表示するためには、はじめにトレンドグループを設定する必要があります。



 **閉じる**をクリックしトレンド表示画面を一度終了すると、プロットしたデータは破棄され、画面を再表示してもデータは再表示されません。

# 画面説明

※ 背景の色を黒色または白色に変更できます。

番号	項目名称	アドレス	単位	最大値	最小値
1	[006S11]:0 <主幹> 電力量	01000	kWh	100.0	0.0
2	[006S11]				
3	[006S11]				
4	[006S11]				
5	[006S11]				
6	[006S11]:0 <主幹> T側電圧	01005	V	150.0	0.0
7	[006S11]:0 <主幹> T側電流	01006	A	50.0	0.0

メモ

グラフ時間軸と表示周期間隔は以下ようになります。

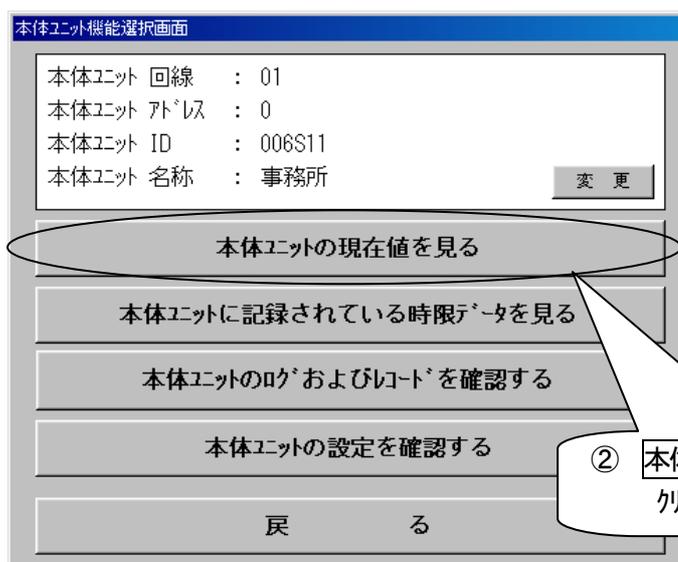
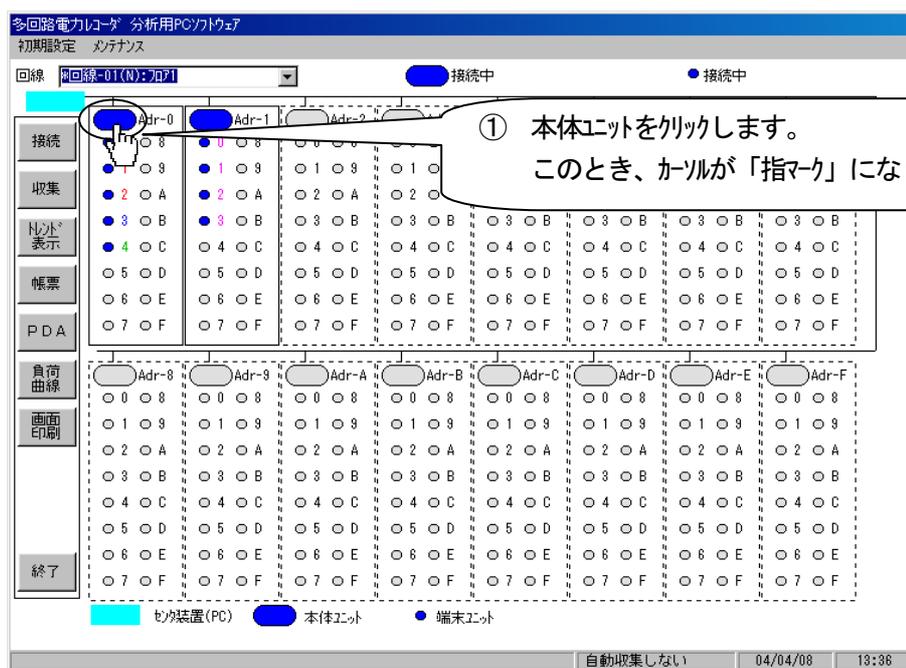
トレンド表示周期時間 (秒)	時間軸表示時間
15	90
30	180 (3時間)
60	360 (6時間)
120	720 (12時間)

## 13 現在値データを確認する

通信により接続中の本体ユニットの現在値データ情報を確認することができます。

### 現在値データを見る

(例) 本体ユニット Adr0 の現在値データを見るとき



次のページへ

本体ユニット 本体ユニット現在値表示

本体ユニット情報 回線-010 ID:[006S11] <事務所>

アドレス	接続	端末名称	電力量	電力	力率	R側電圧	R側電流	T側電圧	T側電流
0	●	東側							
1	●	2線式ユニット							
2	●	2線式ユニット							
5									
6									
7									
8									
9									
A									
B									
C									
D									
E									
F									

●: 端末ユニットが接続されていることを示しています

③ 表示開始または連続表示をクリックします。\*

表示開始 連続表示 閉じる

接続されている端末ユニットを計測ユニット  
アナログ入力ユニット  
パルス入力ユニット  
の順に別々に表示します。



本体ユニット 本体ユニット現在値表示

本体ユニット情報 回線-010 ID:[006S11] <事務所>

アドレス	接続	端末名称	電力量	電力	力率	R側電圧	R側電流	T側電圧	T側電流
0	●	東側	6557.2	2.9	98	103	13.1	102	15.7
1	●	2線式ユニット	90.08	0.05	74	103	0.61		
2	●	2線式ユニット	647.58	0.37	86	102	4.20		
5									
6									

●: 端末ユニットが接続されていることを示しています

収集中

表示開始 連続表示 中断 閉じる

アドレス順にデータを収集します。  
収集中の端末アドレスの背景が赤色になります。

収集したデータを表示します。

収集中、点滅表示します。

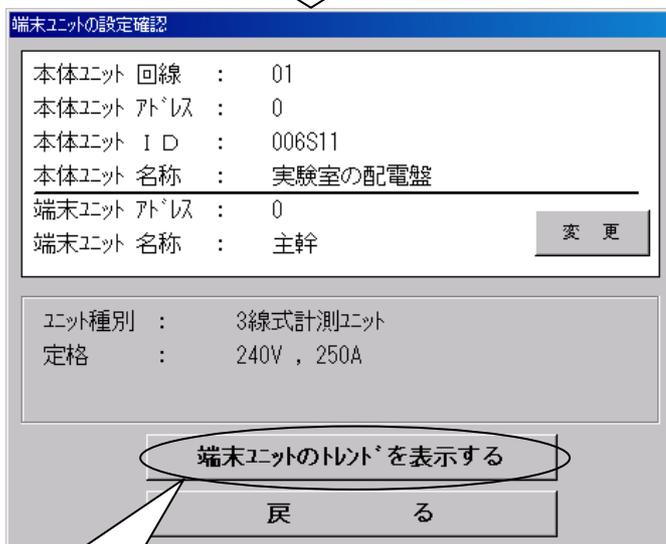
※ 表示周期間隔

表示開始は現在値データを1回取得して表示します。

連続表示は通信を連続して行い、現在値データを繰り返し表示します。

## 端末ユニットのトレンドを表示する

端末ユニット別にトレンド表示します。



② 端末ユニットのトレンドを表示するをクリックします。



次のページへ

## 画面説明

(例) 3線式計測ユニットの現在値表示したとき

The screenshot shows a monitoring interface for a 3-phase measurement unit. At the top, it displays unit information: 回線: 1, 本体ユニットアドレス: 0, 本体ユニットID: 006S11, and 1分時限, 単相3線式, 110V. Below this is a menu with 7 items: ①電力量, ②電力, ③力率, ④R側電圧, ⑤R側電流, ⑥T側電圧, ⑦T側電流. The main area is a graph with 7 data series. A legend on the right lists these series with color and line style options (実線 for solid, 太線 for thick). At the bottom, there are controls for 'トレンド表示' (trend display) with a scroll bar, 'スケール最大値' and 'スケール最小値' input fields, and buttons for '背景を黒', '画面印刷', and '閉じる'.

それぞれの計測項目に対応する縦軸を表示します。※1

端末ユニットの情報、現在値データが表示されます。

グラフの線の色と太さを設定します。※4

本体ユニットの情報が表示されます。

最大値を調整するときクリックします。P11-8 参照

最小値を調整するときクリックします。P11-8 参照

トレンド表示周期を設定します。※2

縦軸の最大値と最小値を入力します。

背景の色を設定します。※3

表示しているグラフを印刷します。

### ※1 項目軸

3線式計測ユニット：R側電流、T側電流の軸は「電流」と表示します。  
R側電圧、T側電圧の軸は「電圧」と表示します。  
パルス入力ユニット：積算値1,2とON時間1,2の4項目です。  
アナログ入力ユニット：瞬時値、最大値、最小値、平均値の4項目です。

### ※2 トレンド表示周期

バーを移動させて表示周期を設定できます。  
設定変更するとデータ表示がリセットされます。  
設定間隔：5, 10, 15, 30秒 1, 2, 4分

### ※3 画面背景の設定

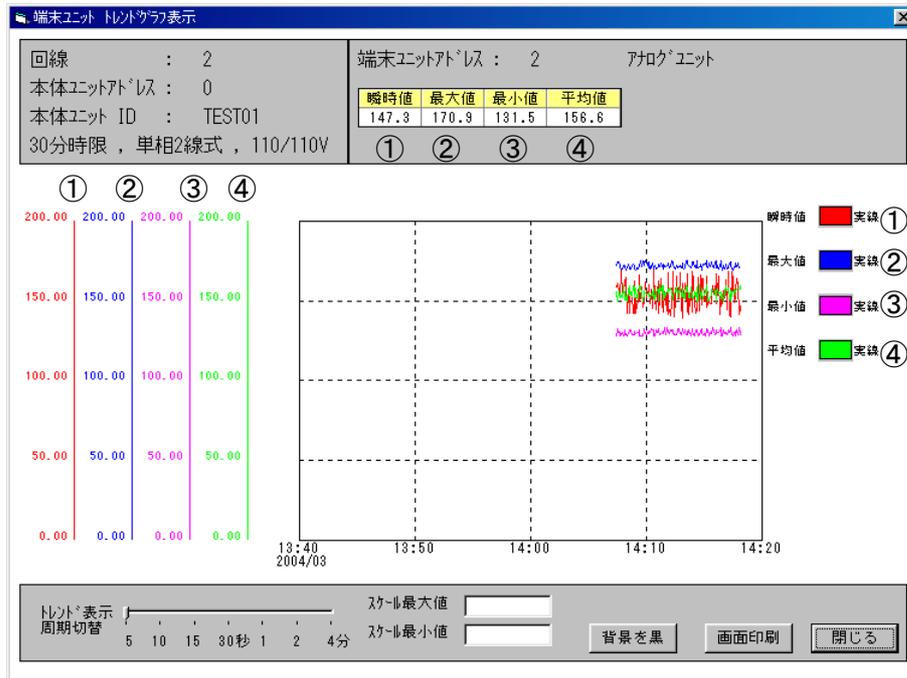
背景の色を黒色、白色に変更できます。

### ※4 色と太さの設定

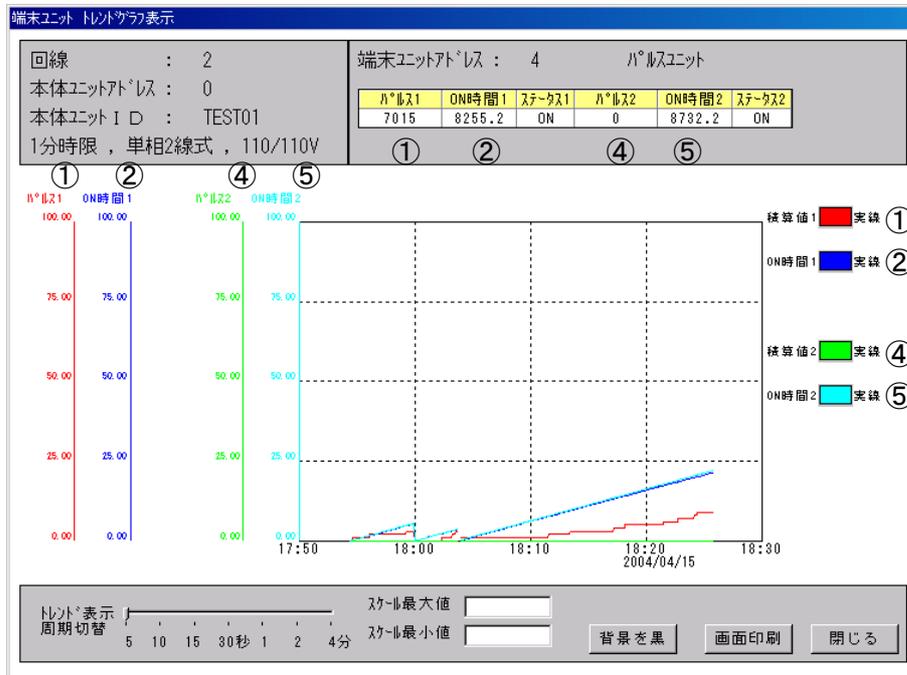
色をクリックする色選択画面で色を選択できます。P11-9 参照  
線種は「実線」または「太線」上でクリックすると、  
実線⇄太線に変化します。



(例) アログ入力ユニットのトレンド表示したとき



(例) ハルス入力ユニットのトレンド表示したとき



# 14 メンテナンスをする

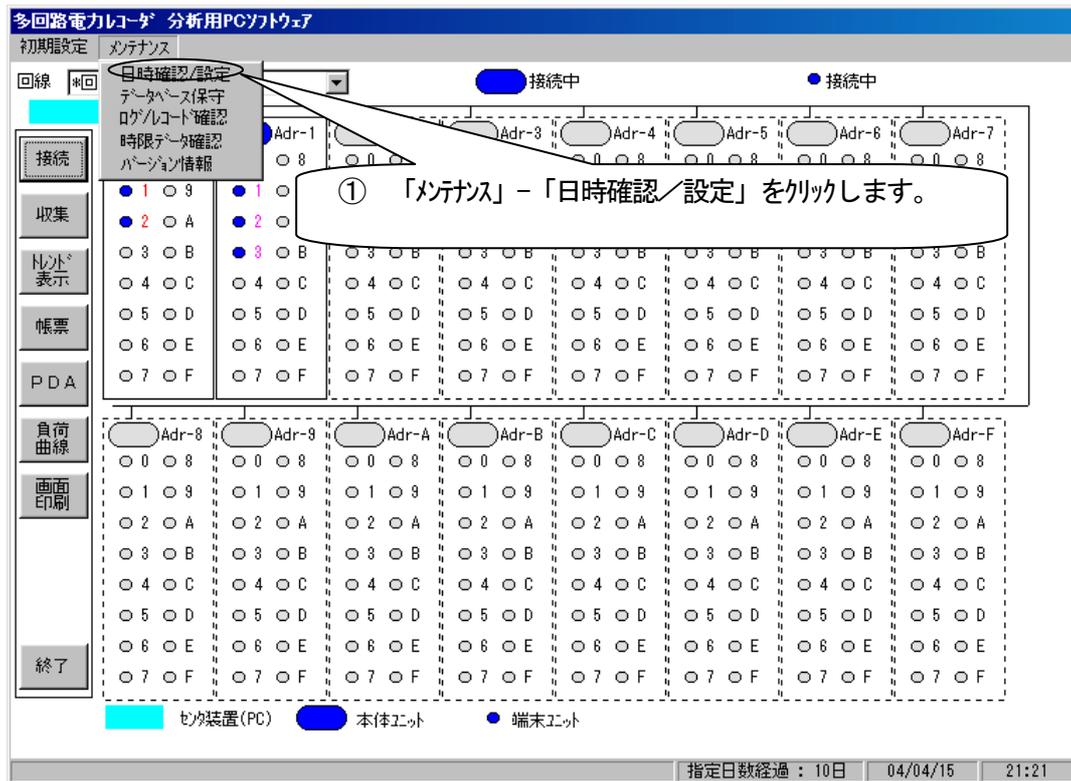
オンライン

## 日時確認と設定をする

### 日時確認を行う

通信により接続中の本体ユニットの日時確認を行います。

(例) 回線01、アドレス0の本体ユニットの日時確認を行うとき



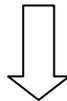
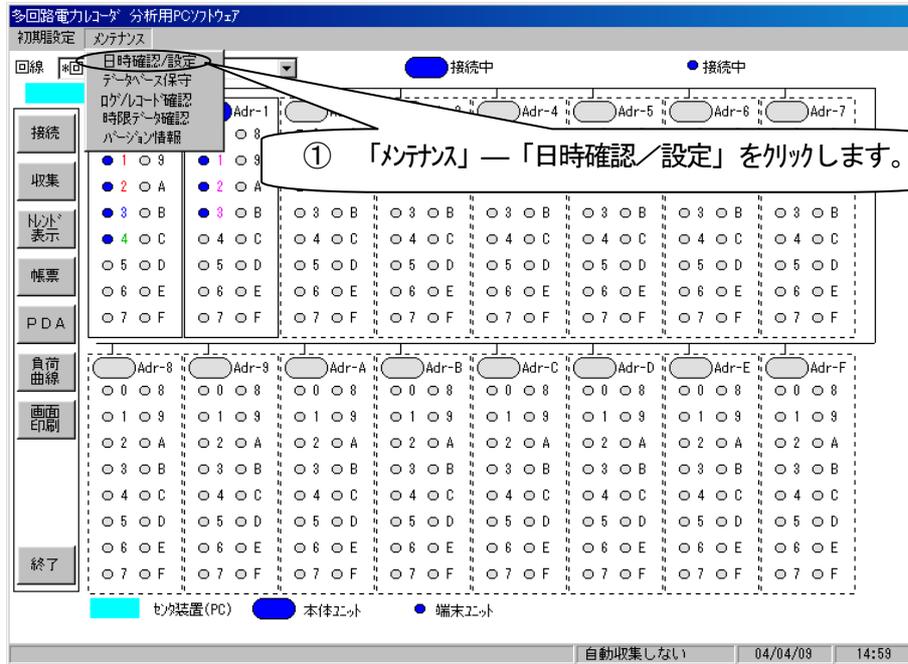
② 日時確認する本体ユニットを「回線番号」 - 「本体ユニットリスト」の順にクリックします。

選択した本体ユニットの日時を表示します。

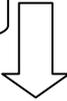
## 日時設定を行う

通信により接続中の本体ユニットに日時を設定します。

(例) 回線01、7<sup>th</sup>の本体ユニットに「2004年1月10日15時18分20秒」を設定するとき



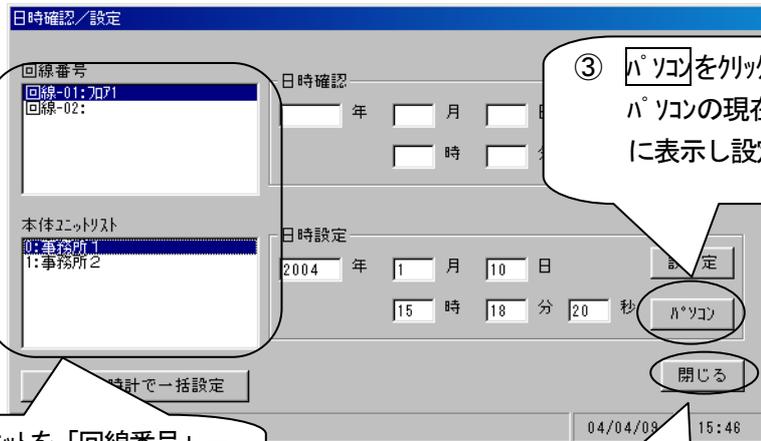
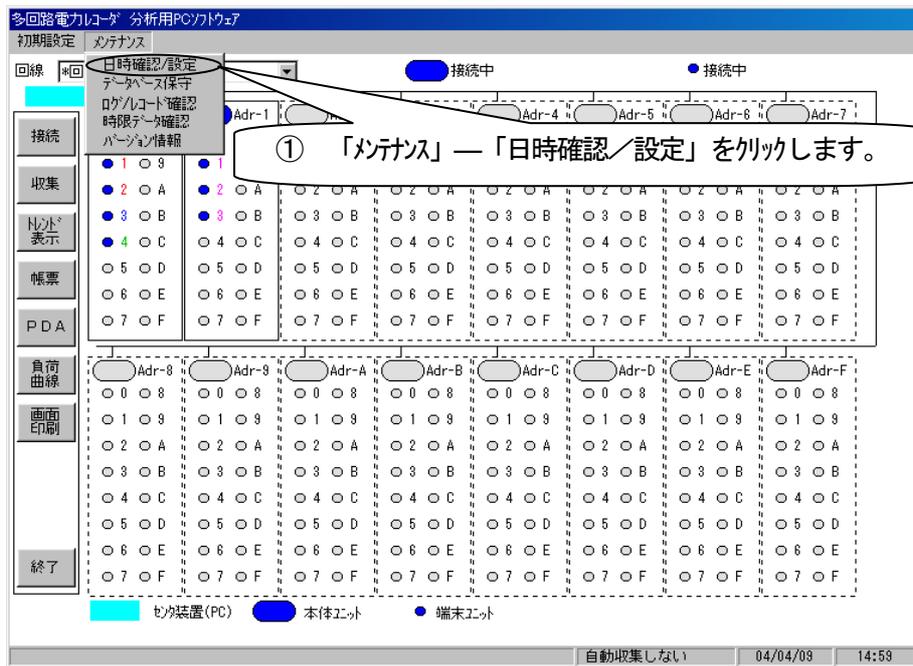
② 日時設定する本体ユニットを「回線番号」 — 「本体ユニットリスト」の順にクリックします。



⑤ OKをクリックします。

⑥ 設定が終わったら閉じるをクリックしてください。

(例) 回線01、アドレス0の本体ユニットにパソコンの時刻を設定するとき



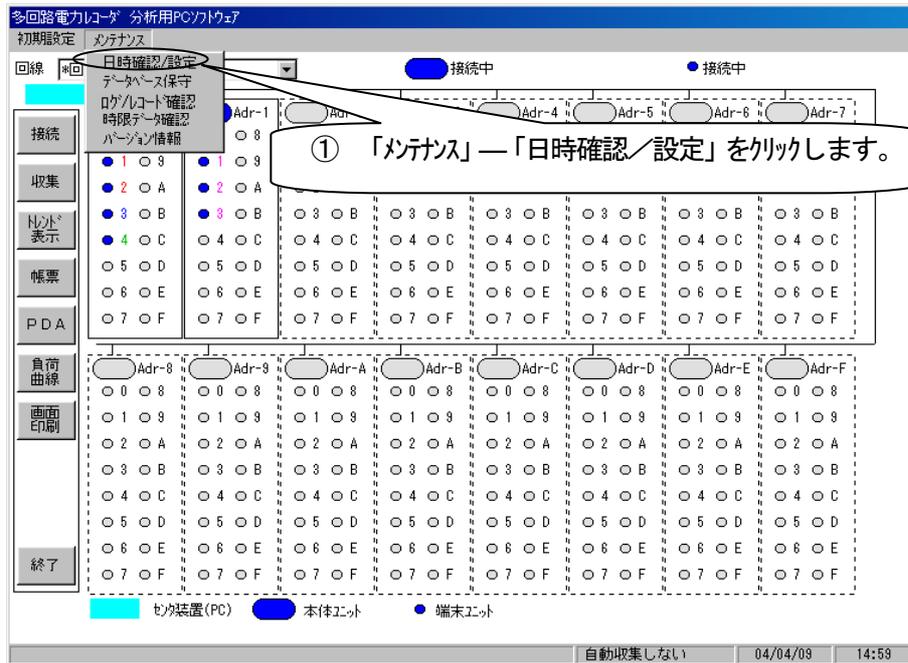
② 日時設定する本体ユニットを「回線番号」 — 「本体ユニットリスト」の順にクリックします。

⑤ 設定が終了後、閉じるをクリックしてください。

④ OKをクリックします。

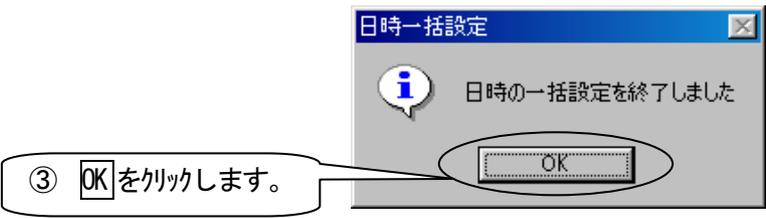


(例) 接続されているすべての本体ユニットに、パソコンと同じ時刻を設定するとき



② パソコンの時計で一括設定をクリックします。

④ 設定が終了後、閉じるをクリックしてください。



③ OKをクリックします。

# ログおよびレコードを確認する

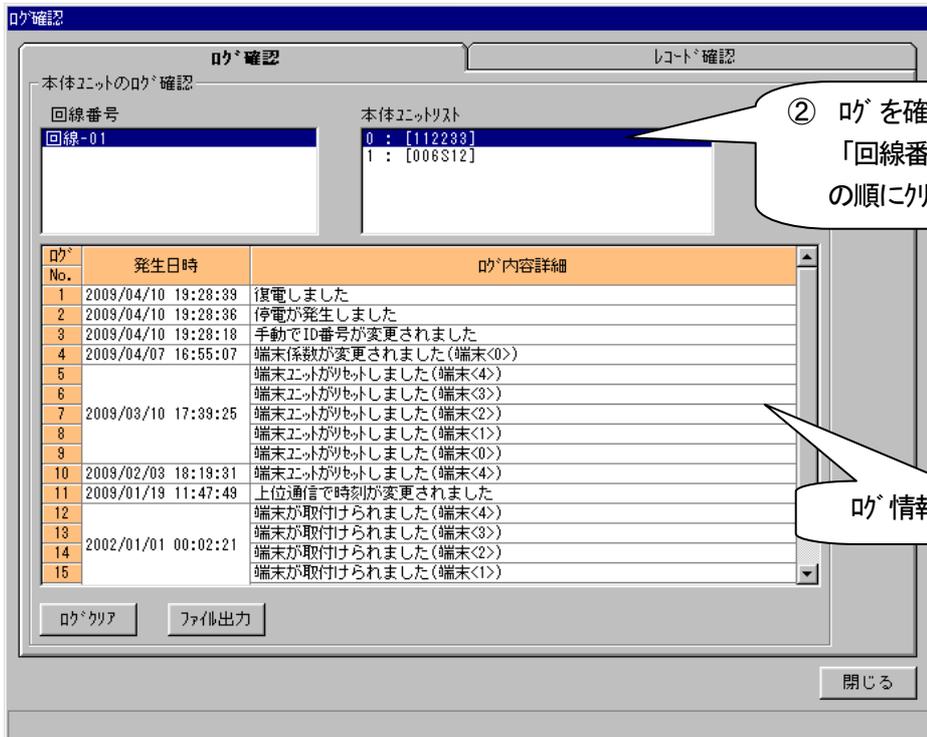
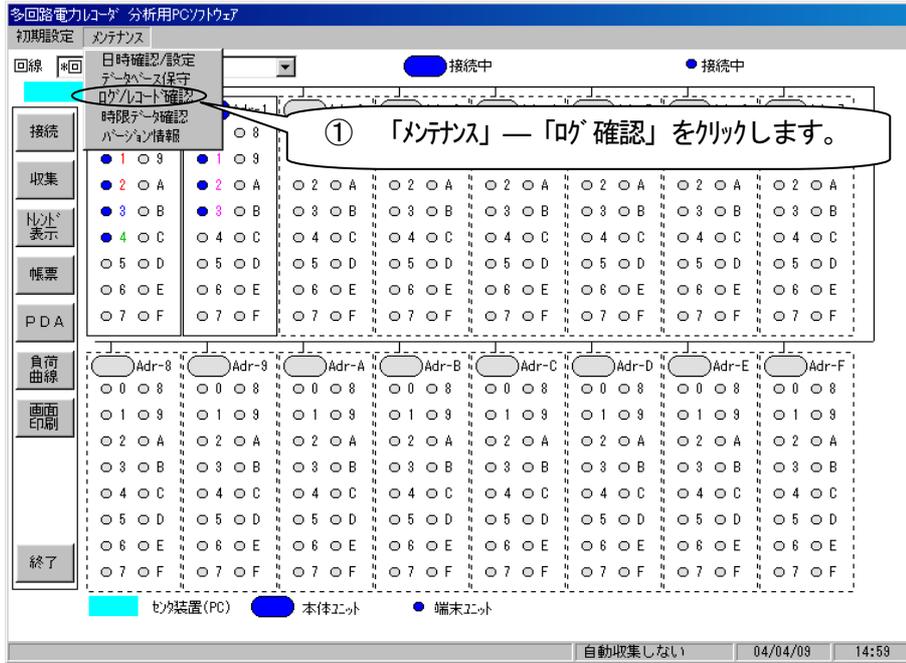
オンライン

## ログ情報を表示する

通信により接続中の本体ユニットのログ情報を表示します。

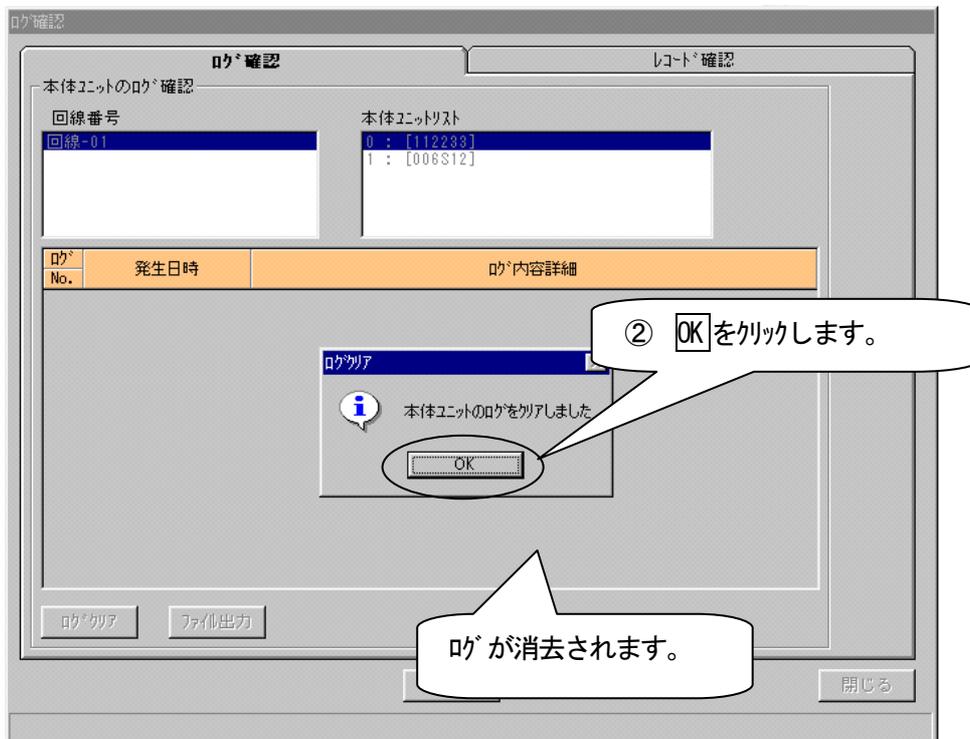
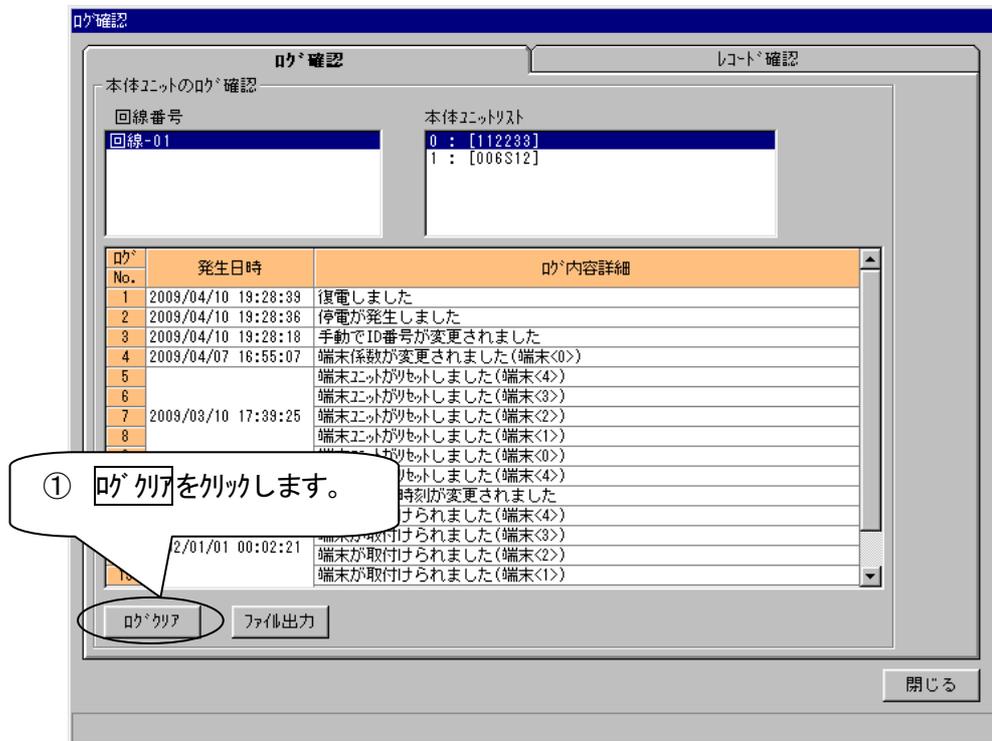
この画面は「本体ユニット」→「本体ユニットのログ/レコードを確認する」で表示する画面と同じです。(P6-3 参照)

(例) 回線01、アドレス0の本体ユニットのログ情報を表示するとき



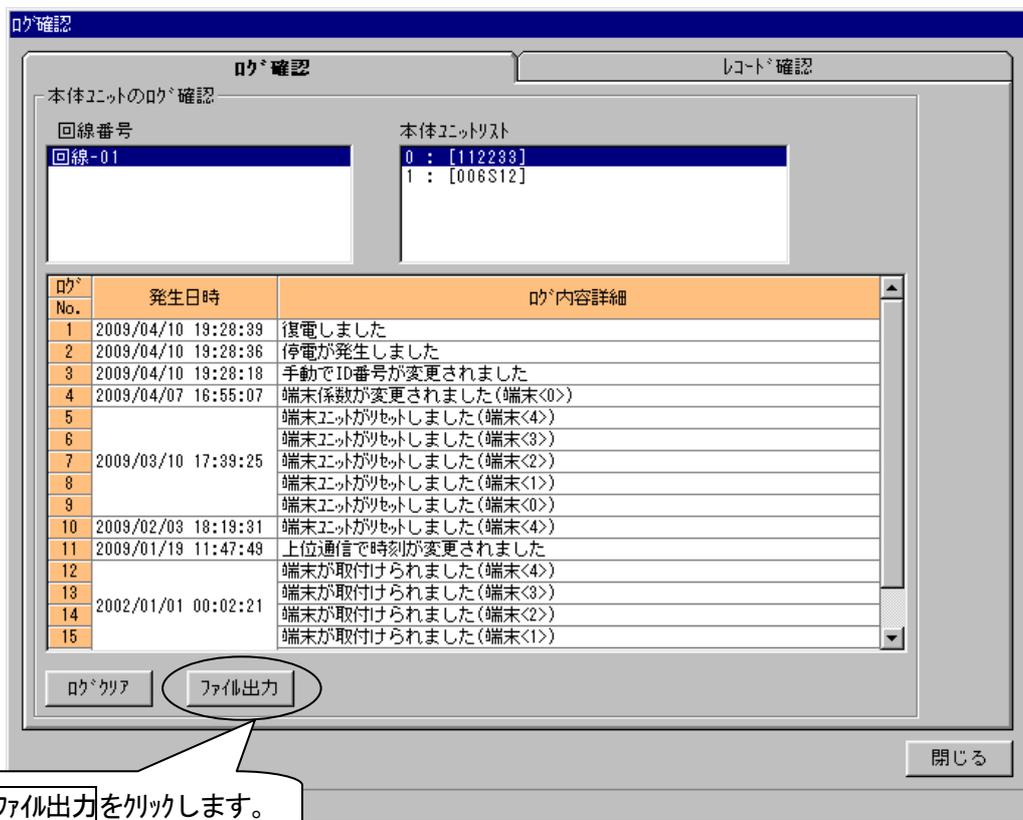
## ログ情報をクリアする

表示したログ情報を消去すると同時に、通信により本体ユニットに記録しているログも消去します。

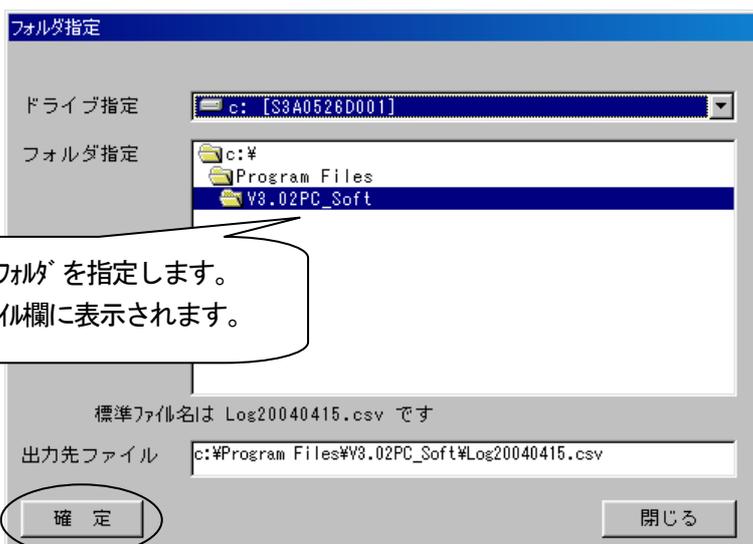


## ログ情報を CSV ファイルに出力する

表示したログ情報を CSV ファイルに出力します。



① ファイル出力をクリックします。



② ドライブ、フォルダを指定します。  
出力先ファイル欄に表示されます。



③ 確定をクリックします。



④ OKをクリックします。

## レコード情報を CSV ファイルに出力する

通信により接続中の本体ユニットに保存されているデータを表示した後、CSV ファイルに出力します。

① レコード確認画面で「レコード確認」タブをクリックします。

② 時限データを確認する計測項目を「回線番号」－「本体ユニット」－「計測項目」の順にクリックします。※1

③ エラーコードを表示したいときは、ここをチェックします。※2

④ レコード収集をクリックします。

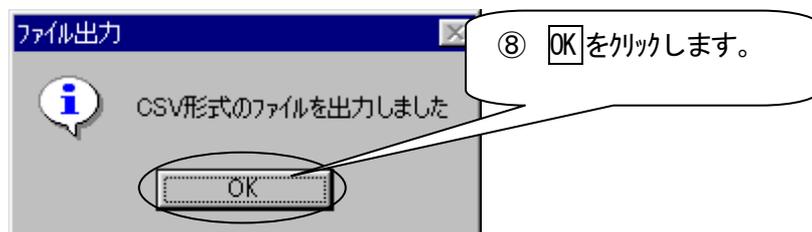
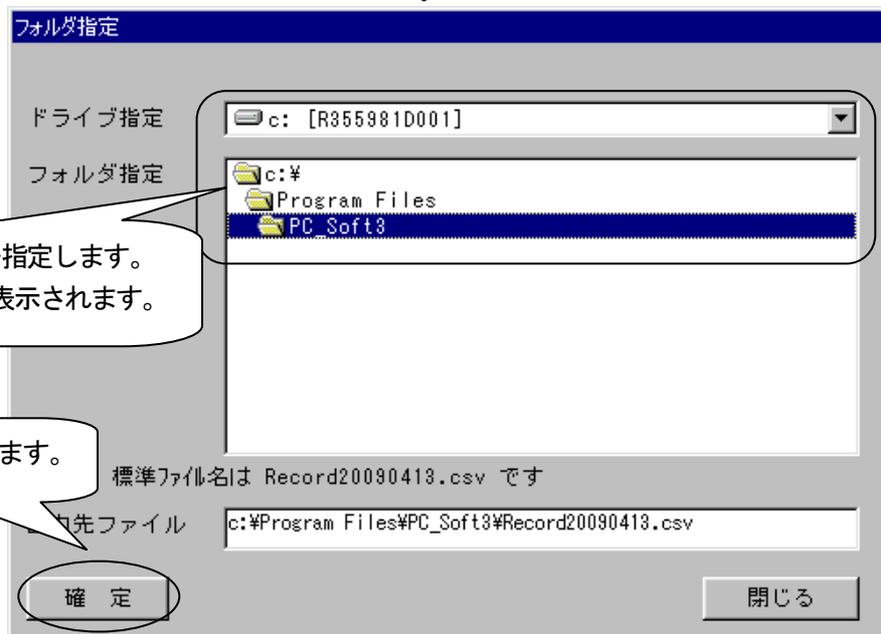
計測データを表示します。

アドレス	項目No.	レコードNo.	時限先頭日時	00～0
01030	021	11	2009/04/13 06:00	0.00
01030	021	12	2009/04/13 05:00	0.00
01030	021	13	2009/04/13 04:00	0.00
01030	021	14	2009/04/13 03:00	0.00
01030	021	15	2009/04/13 02:00	0.00
01030	021	16	2009/04/13 01:00	0.00
01030	021	17	2009/04/13 00:00	0.00
01030	021	18	2009/04/12 23:00	0.00
01030	021	19	2009/04/12 22:00	0.00
01030	021	20	2009/04/12 21:00	0.00
01030	021	21	2009/04/12 20:00	0.00
01030	021	22	2009/04/12 19:00	0.00
01030	021	23	2009/04/12 18:00	0.00
01030	021	24	2009/04/12 17:00	0.00
01030	021	25	2009/04/12 16:00	0.00
01030	021	26	2009/04/12 15:00	0.00
01030	021	27	2009/04/12 14:00	0.00
01030	021	28	2009/04/12 13:00	0.00
01030	021		2009/04/12 12:00	0.00

↓ 次のページへ

※1 計測項目の選択  
 CSV ファイルに出力する項目は複数選択することができます。  
 すべての計測項目を選択する → **すべて選択** をクリックします。  
 すべての計測項目の選択を解除する → **すべて解除** をクリックします。

※2 エラーコードの詳細に関しては APPENDIX を参照してください。  
 「エラーコードを出力する」をチェックしない → エラーコードは空白として表示します。  
 「エラーコードを出力する」をチェックする → エラーコードをそのまま表示します。



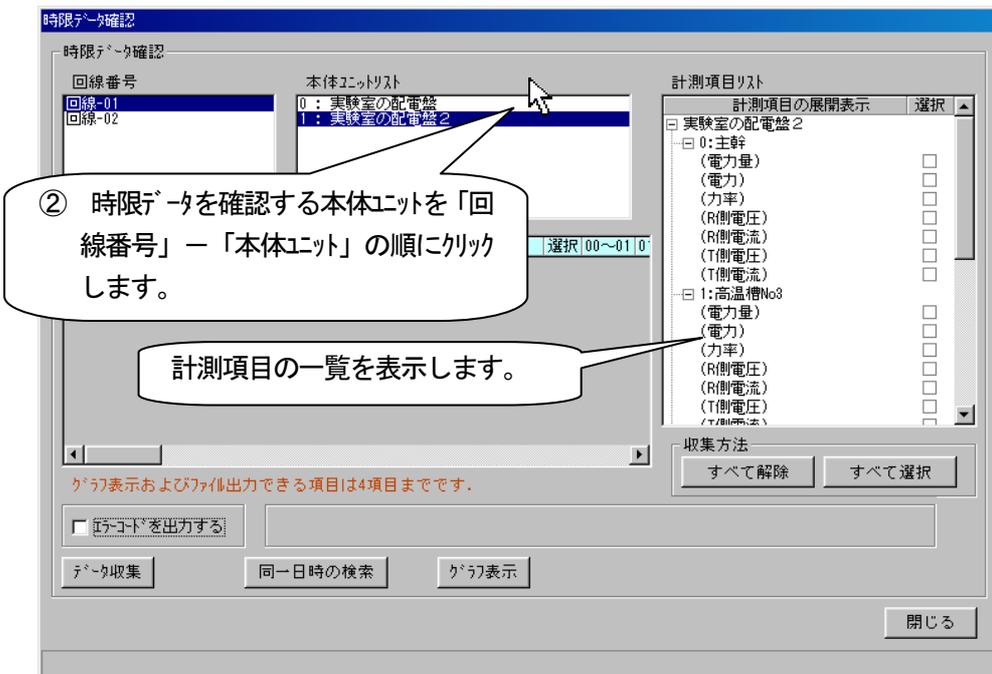
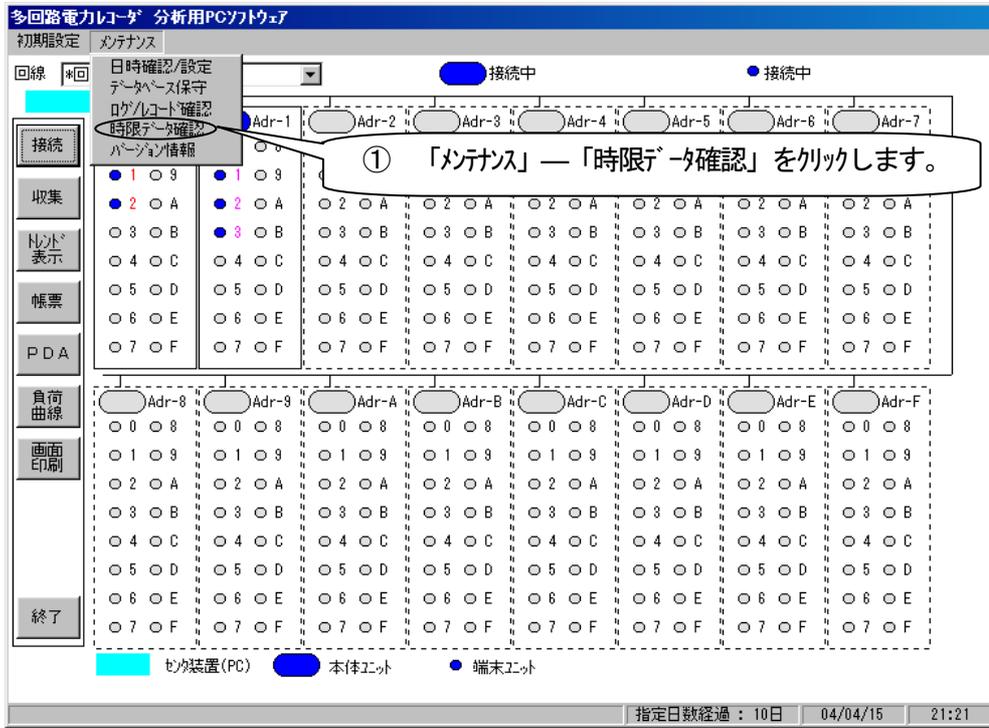
# 時限データを確認する

オンライン

通信により接続中の本体ユニットに保存されているデータを表示します。

この画面は「本体ユニット」 - 「本体ユニットに記録されている時限データを確認する」で表示する画面と同じです。

(P6-3 参照)



次のページへ

③ データ確認する計測項目をフェックします。※1

④ エラーコードを表示したいときは、ここをフェックします。※2

⑤ データ収集をクリックします。

グラフ表示およびファイル出力できる項目は4項目までです。

↓ 次のページへ

※1 計測項目の選択

表示する項目は複数選択することができます。

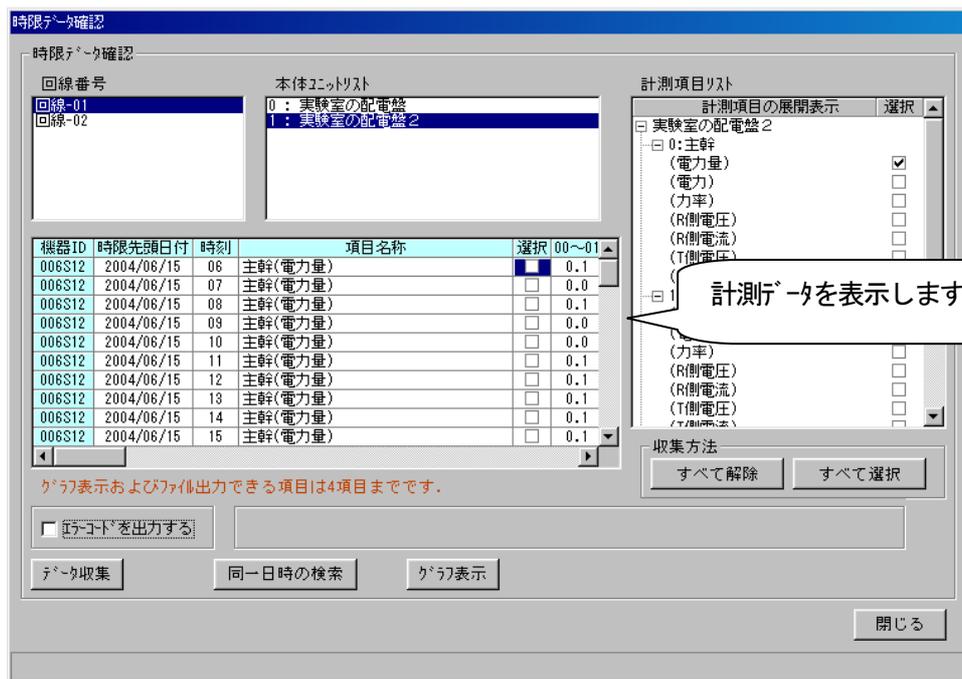
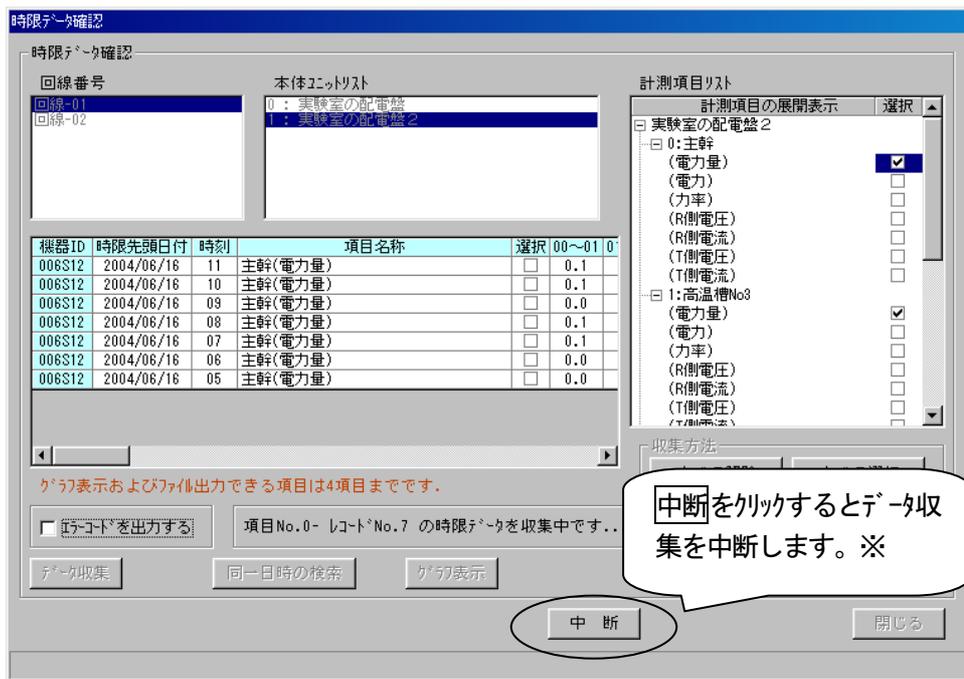
すべての計測項目をフェックする → **すべて選択**をクリックします。

すべての計測項目のフェックを解除する → **すべて解除**をクリックします。

※2 エラーコードの詳細に関してはAPPENDIXを参照してください。

「エラーコードを出力する」をフェックしない → エラーコードは空白として表示します。

「エラーコードを出力する」をフェックする → エラーコードをそのまま表示します。



## 表示したデータをグラフ化する

時限データ確認

回線番号: 回線-01, 回線-02

本体ユニットリスト: 0: 実験室の配電盤, 1: 実験室の配電盤2

機器ID	時限先頭日付	時刻	項目名称	選択	00~01
006S11	2004/04/15	16	主幹(R側電流)	<input type="checkbox"/>	27.8
006S11	2004/04/15	17	主幹(R側電流)	<input type="checkbox"/>	28.1
006S11	2004/04/15	18	主幹(R側電流)	<input checked="" type="checkbox"/>	28.9
006S11	2004/04/15	19	主幹(R側電流)	<input type="checkbox"/>	27.7
006S11	2004/04/15	20	主幹(R側電流)	<input type="checkbox"/>	19.9
006S11	2004/04/15	21	主幹(R側電流)	<input type="checkbox"/>	19.5
006S11	2004/04/15	22	主幹(R側電流)	<input type="checkbox"/>	27.7
006S11	2004/04/15	23	主幹(R側電流)	<input type="checkbox"/>	27.7
006S11	2004/04/16	00	主幹(R側電流)	<input type="checkbox"/>	27.7
006S11	2004/04/16	01	主幹(R側電流)	<input type="checkbox"/>	27.7

計測項目リスト

- 実験室の配電盤
  - 0: 主幹
    - (電力量)
    - (電力)
    - (力率)
    - (R側電圧)
    - (R側電流)
    - (T側電圧)
    - (T側電流)
  - 1: 事務所東側コンセント
    - (電力量)
    - (電力)

グラフ表示およびファイル出力できる項目は4項目までです。

I/Oコードを出力する

データ収集      検索表示の解除      **グラフ表示**      閉じる

① 選択欄をチェックし、グラフ表示する項目を選択します。※

② グラフ表示をクリックします。

↓ 次のページへ

※ 同一日時の計測項目のデータを、4つまでグラフ表示することができます。同一日時の検索方法を以下に示します。

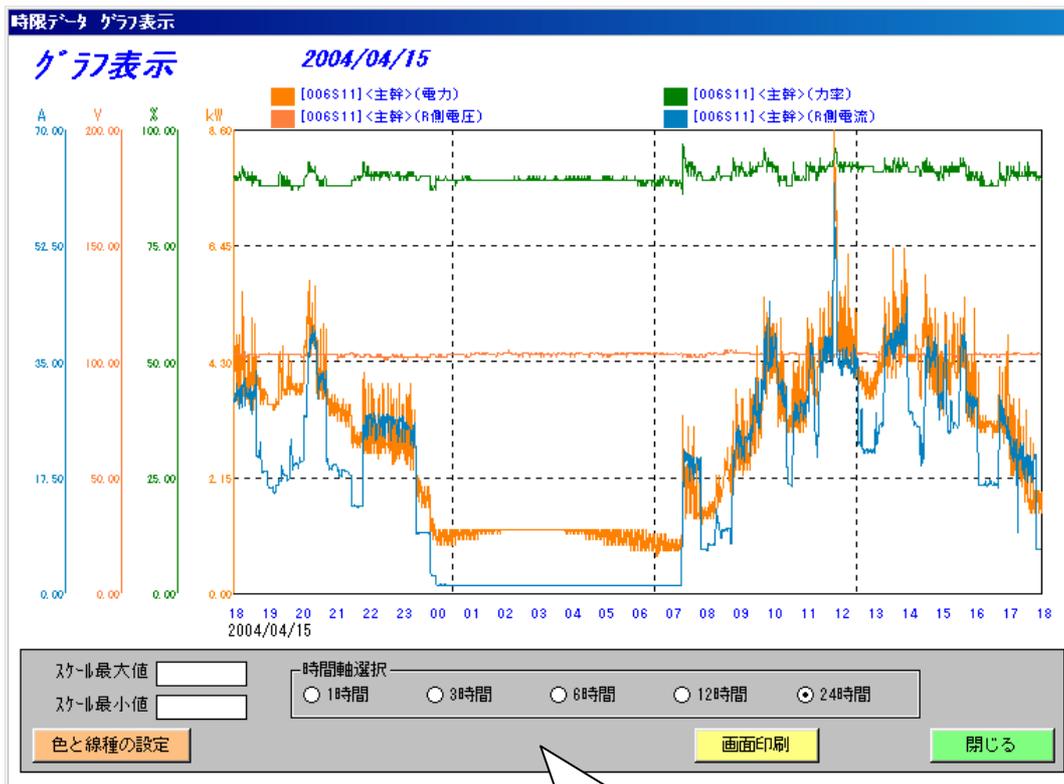
① 検索する項目をチェックします。

② 同一日時の検索をクリックします。

③ チェックした項目と同一時刻のデータの背景の色が赤色になりますので、グラフ表示する計測項目を4項目以内でチェックします。

④ 検索表示の解除をクリックするとチェックがはずれて背景が元に戻ります。

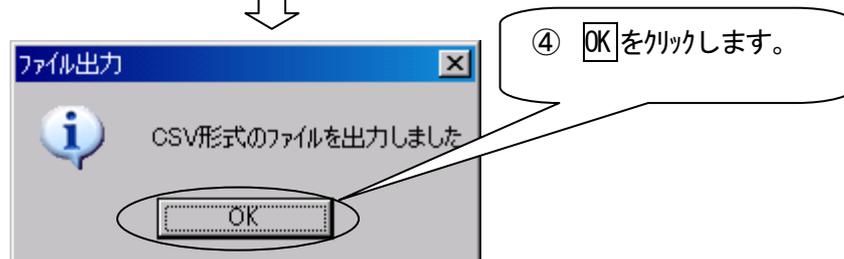
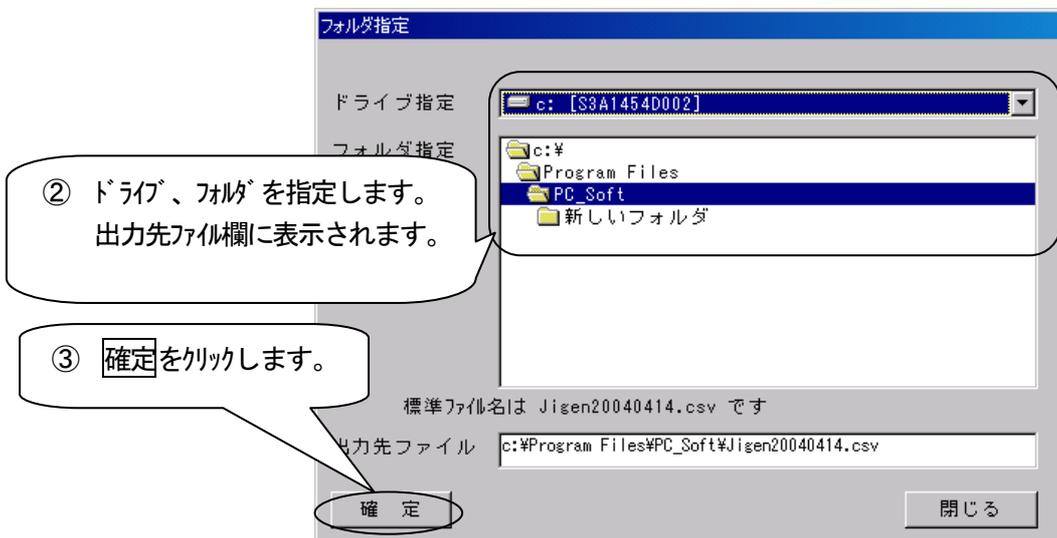
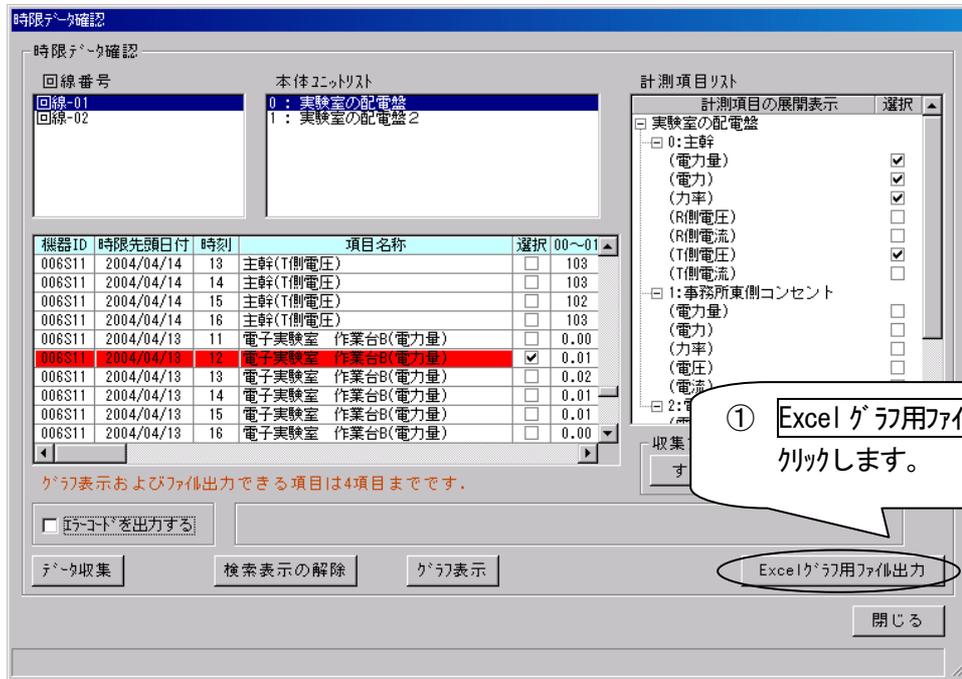
**⚠** 同一日時の検索では、チェックした検索項目より上の該当項目は赤色表示されません。



グラフの操作はP11-3を参照してください。

## グラフ表示したデータを CSV ファイルに出力する

グラフ表示した後、グラフ表示したデータを CSV ファイルに出力します。



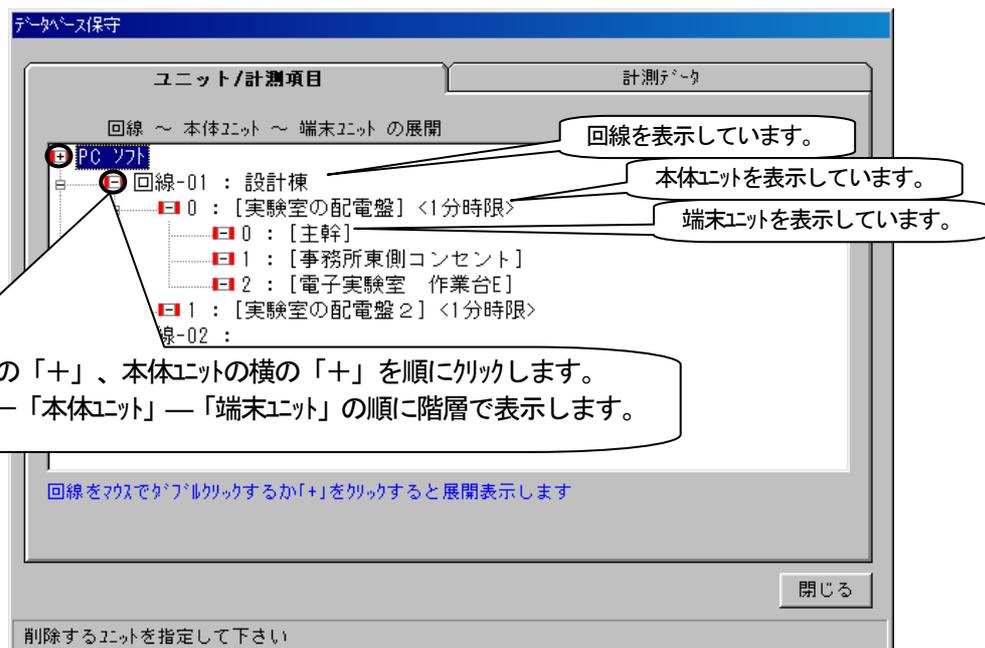
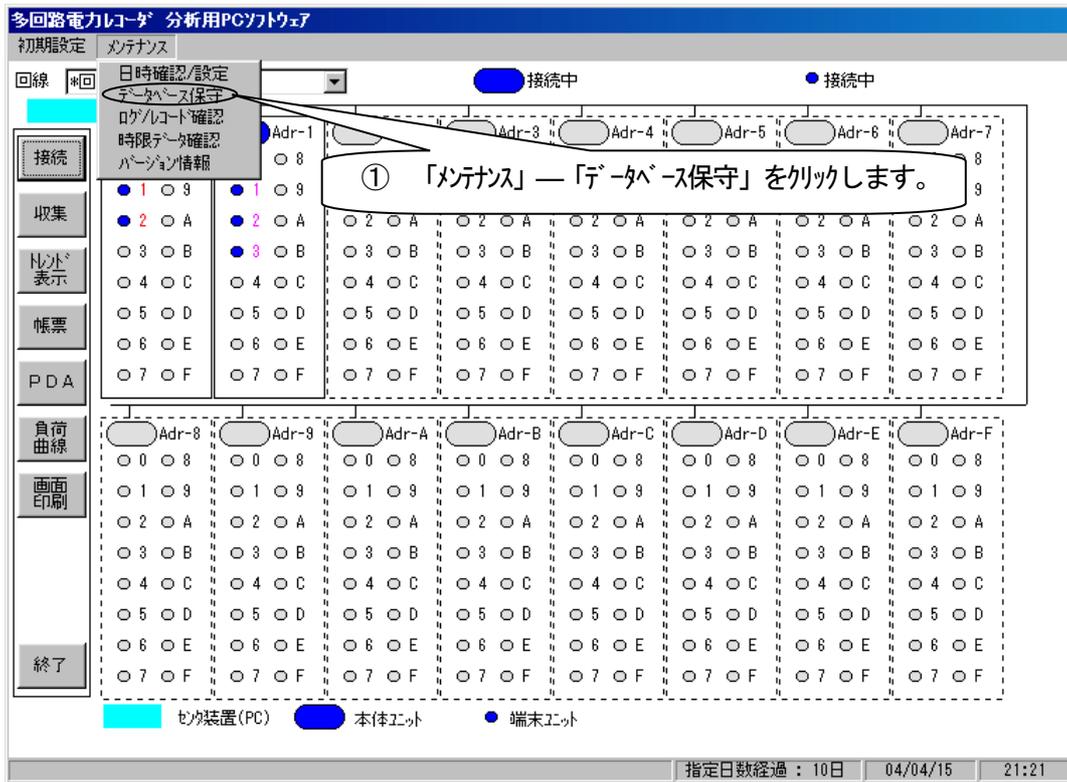
## データベースを管理する

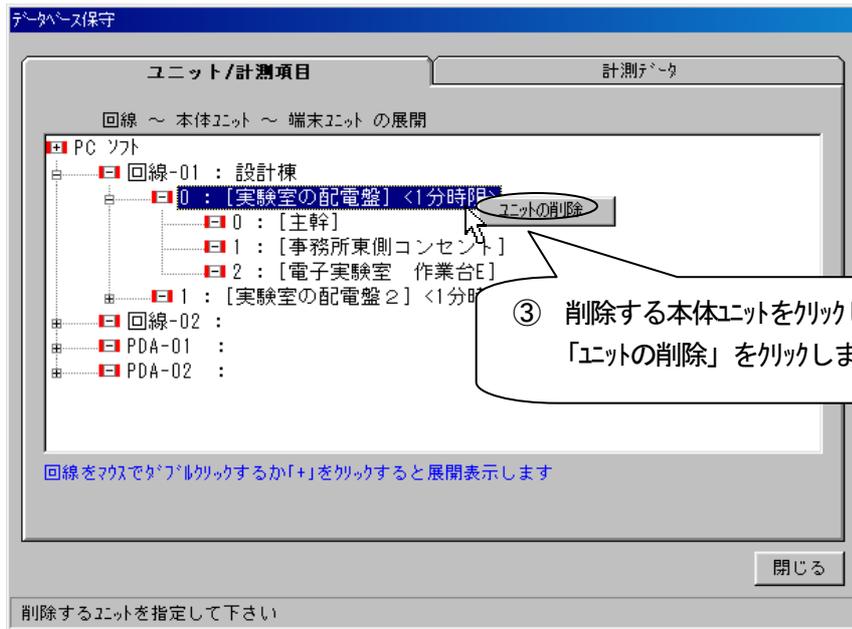
オンライン PDA

データベースに保存されているデータを削除します。削除したデータは元に戻せませんのでご注意ください。  
またデータベースに保存されているデータをCSVファイルに出力することができます。

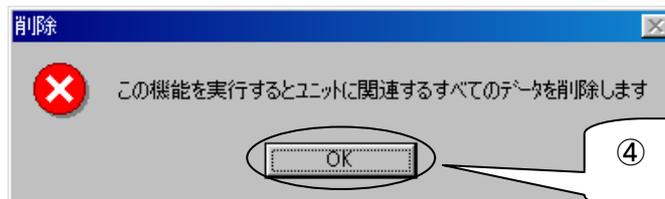
## 本体ユニットのデータを全て削除する

選択した本体ユニットのデータを全て削除します。またその本体ユニットに接続している全ての端末ユニットのデータも削除します。



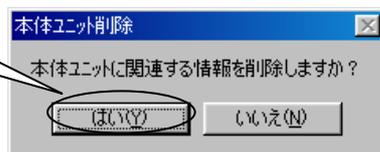


③ 削除する本体ユニットをクリックして「ユニットの削除」をクリックします。



④ OKをクリックします。

⑤ はいをクリックします。

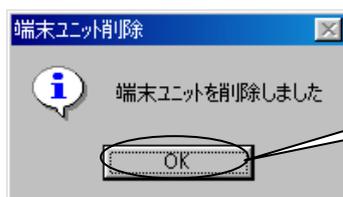
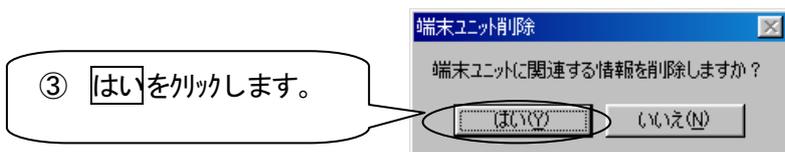
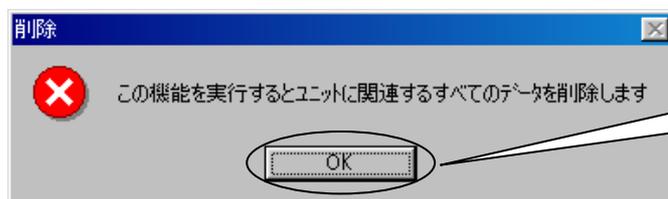
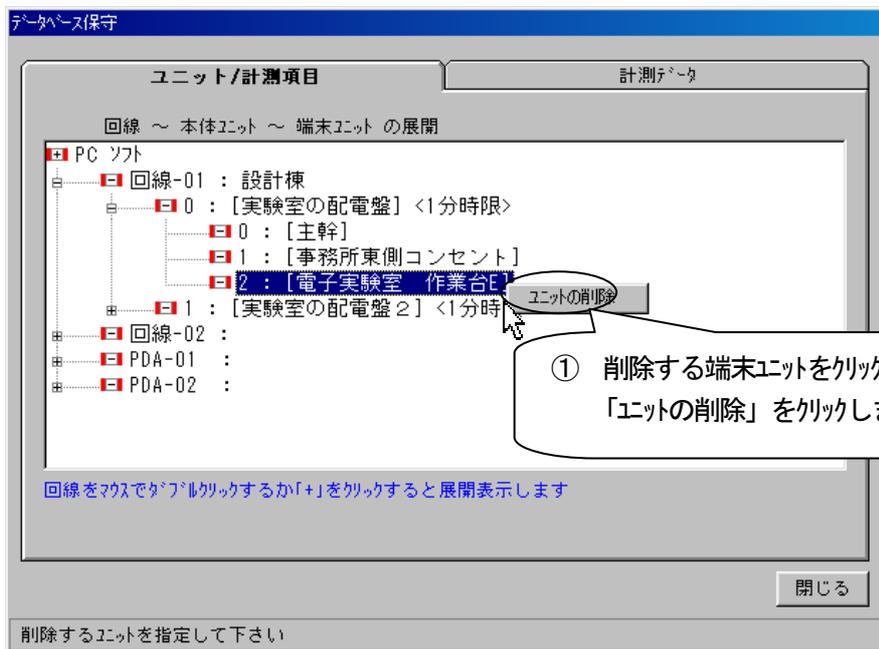


⑥ OKをクリックします。

## 端末ユニットのデータを全て削除する

選択した端末ユニットのデータを全て削除します。

「回線」－「本体ユニット」－「端末ユニット」と全ての階層を表示してから行います。



## 計測項目ごとにデータを日付単位で削除する

① データベース保守画面で「計測データ」タブをクリックします。

② 削除する計測項目をクリックし、日付リストにデータの日付を表示します。

③ 削除するデータ日付を選択します。(複数の日付を選択できます。)

④ 個別削除をクリックします。

⑤ OKをクリックします。

区分	回線	機器ID	端末ユニット	計測項目
01	[112233]		<3線式ユニット>	(R側電流)
			<3線式ユニット>	(T側電圧)
			<3線式ユニット>	(T側電流)
			<2線式ユニット>	(電力量)
			<2線式ユニット>	(電力)
			<2線式ユニット>	(力率)
			<2線式ユニット>	(電圧)
			<2線式ユニット>	(電流)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(電力量)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(電力)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(力率)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(電圧)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(電流)

CSVファイル出力

すべての項目を出力  日報登録の項目を出力

日付一括出力

個別削除

日付一括削除

閉じる

日付は複数選択できます。(Shiftキーを押しながらマウスをクリックすると連続で選択できます。)

日付を指定して下さい

レコード数:3,980

データ削除

データを削除しました

OK

## 同じ日付の計測データを一括で削除する

同じ日付のデータを、全ての計測項目から削除します。

(例) 4月10日のデータを全て削除するとき

① データベース保守画面で「計測データ」タブをクリックします。

区分	回線	機器ID	端末ユニット	計測項目
01	[112233]		<3線式ユニット>	(R側電流)
			<3線式ユニット>	(T側電圧)
			<3線式ユニット>	(T側電流)
			<2線式ユニット>	(電力量)
			<2線式ユニット>	(電力)
			<2線式ユニット>	(力率)
			<2線式ユニット>	(電圧)
			<2線式ユニット>	(電流)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(電力量)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(電力)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(力率)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(電圧)
01	[006S12]		<2線式ユニット>	(電流)

② 計測項目をクリックし、日付リストにデータの日付を表示します。

③ 削除する日付を選択します。(複数の日付を選択できます。)

④ 日付一括削除をクリックします。

⑤ はいをクリックします。

⑥ OKをクリックします。

## 同じ日付の計測データを一括でCSVファイルに出力する

同じ日付の計測データを CSV ファイルに保存します。

(例) 4月10日のデータを全て CSV ファイルに保存するとき

① データベース保守画面で「計測データ」タブをクリックします。

② 計測項目をクリックし、日付リストにデータの日付を表示します。

③ 出力する日付を選択します。  
(複数の日付を選択できます。)

④ 「すべての項目を出力」をクリックします。

⑤ 日付一括出力をクリックします。

⑥ ドライブ、フォルダを指定します。

⑦ 出力ファイル名を指定します。

⑧ 開くをクリックします。

⑨ はいをクリックします。

区分	回線	機器ID	端末ユニット	計測項目
	01	[112233]	<3線式ユニット>	(R側電流)
	01	[112233]	<3線式ユニット>	(T側電圧)
	01	[112233]	<3線式ユニット>	(T側電流)
	01	[112233]	<3線式ユニット>	(電力量)
	01	[112233]	<3線式ユニット>	(電力)
	01	[112233]	<3線式ユニット>	(力率)
	01	[112233]	<3線式ユニット>	(電圧)
	01	[112233]	<3線式ユニット>	(電流)
	01	[008S12]	<2線式ユニット>	(電力量)
	01	[008S12]	<2線式ユニット>	(電力)
	01	[008S12]	<2線式ユニット>	(力率)
	01	[008S12]	<2線式ユニット>	(電圧)
	01	[008S12]	<2線式ユニット>	(電流)

日付リスト: 2009/04/10, 2009/04/09, 2009/04/08, 2009/04/07, 2009/04/06, 2009/04/05, 2009/04/04, 2009/04/03, 2009/04/02, 2009/04/01, 2009/03/31, 2009/03/30, 2009/03/29, 2009/03/28, 2009/03/27, 2009/03/26, 2009/03/25, 2009/03/24

CSVファイル出力:  
 すべての項目を出力  
 日報登録の項目を出力

日付一括出力

日付は複数選択できます。  
(Shiftキーを押しながらマウスをクリックすると連続で選択できます。)

⑥ ドライブ、フォルダを指定します。

⑦ 出力ファイル名を指定します。

⑧ 開くをクリックします。

⑨ はいをクリックします。

ファイルの場所: PC\_Soft3

ファイル名(N): tmp

ファイルの種類: \*.csv (CSV形式ファイル)

開く(O)

キャンセル

読み取り専用ファイルとして開く(R)

⑨ はいをクリックします。

データ出力

データをCSV形式のファイルに出力しました

OK

## 同じ日付の日報登録の計測データをCSVファイルに出力する

選択した日付の日報登録の計測項目データを CSV ファイルに出力します。

(例) 4月10日の日報登録の計測項目データを CSV ファイルに保存するとき

① データベース保守画面で「計測データ」タブをクリックします。

② 計測項目をクリックし、日付リストにデータの日付を表示します。

③ 出力する日付を選択します。  
(複数の日付を選択できます。)

④ 「日報登録の項目を出力」をクリックします。

⑤ 日付一括出力をクリックします。

日付は複数選択できます。  
(Shiftキーを押しながらマウスをクリックすると連続で選択できます。)

区分	回線	機器ID	端末ユニット	計測項目
	01	[112233]	<3線式ユニット>	(R側電流)
			<3線式ユニット>	(T側電圧)
			<3線式ユニット>	(T側電流)
			<3線式ユニット>	(電力量)
			<3線式ユニット>	(電力)
			<3線式ユニット>	(力率)
			<2線式ユニット>	(電圧)
			<2線式ユニット>	(電流)
	01	[006S12]	<2線式ユニット>	(電力量)
	01	[006S12]	<2線式ユニット>	(電力)
	01	[006S12]	<2線式ユニット>	(力率)
	01	[006S12]	<2線式ユニット>	(電圧)
	01	[006S12]	<2線式ユニット>	(電流)

⑥ ドライブ、フォルダを指定します。

⑦ 出力ファイル名を指定します。

⑧ 開くをクリックします。

ファイル名(N): tmp

ファイルの種類: \*.csv (CSV形式ファイル)

開く(O)

キャンセル

読み取り専用ファイルとして開く(R)

⑨ はいをクリックします。

データ出力

データをCSV形式のファイルに出力しました。

OK

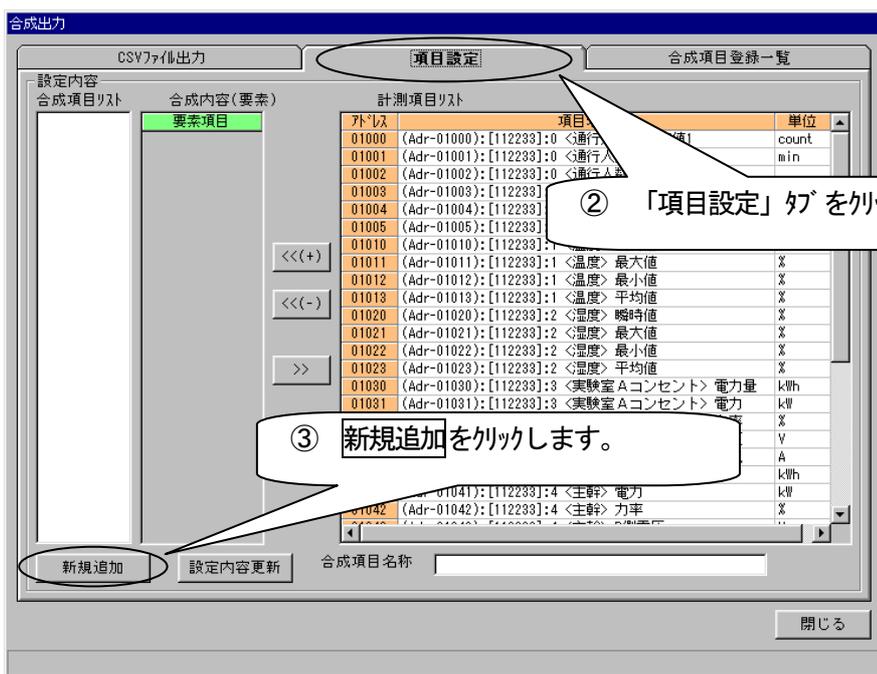
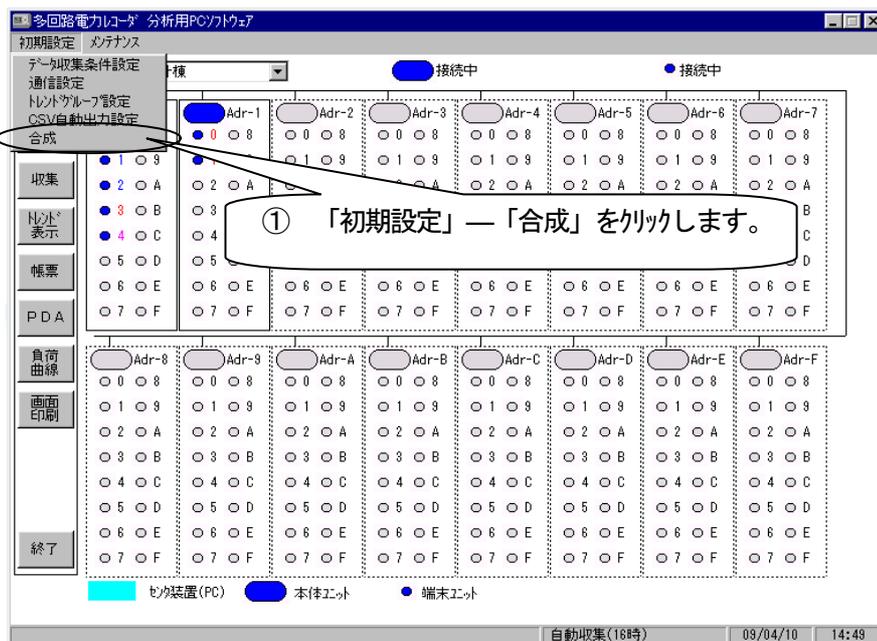


## 15 CSVファイルに合成出力する

計測項目のデータそれぞれに対して加算処理および減算処理を設定し、合成（演算）結果をCSVファイルに出力することができます。合成項目は最大100項目、1つの合成項目は最大60要素項目まで設定できます。

（例）アドレス01030、01100の2つの電力量を加算に設定し、アドレス01110の1つの電力量を減算に設定したとき

### 合成項目を設定する



次のページへ

合成（演算）する要素項目  
（計測項目のアド'）を表示  
します。※3 ※4

項目設定

合成項目登録一覧

設定内容  
合成項目リスト

合成内容(要素)  
要素項目  
+01030

計測項目リスト

アド'	項目名称	単位
01000	(Adr-01000):[112233]:0 <通行人数> 積算値1	count
01001	(Adr-01001):[112233]:0 <通行人数> ON時間1	min
01002	(Adr-01002):[112233]:0 <通行人数> 状態1	
01003	(Adr-01003):[112233]:0 <通行人数> 状態2	
01004	(Adr-01004):[112233]:0 <通行人数> 状態3	
01005	(Adr-01005):[112233]:0 <通行人数> 状態4	
01010	(Adr-01010):[112233]:0 <通行人数> 状態5	
01011	(Adr-01011):[112233]:1 <温度> 最小値	%
01012	(Adr-01012):[112233]:1 <温度> 最小値	%
01013	(Adr-01013):[112233]:1 <温度> 平均値	%
01020	(Adr-01020):[112233]:2 <湿度> 瞬時値	%
01021	(Adr-01021):[112233]:2 <湿度> 最大値	%
01022	(Adr-01022):[112233]:2 <湿度> 最小値	%
01023	(Adr-01023):[112233]:2 <湿度> 平均値	%
01030	(Adr-01030):[112233]:0 <実験室 A コンセント> 電力量	kWh
01031	(Adr-01031):[112233]:0 <実験室 A コンセント> 電力量	kWh
01032	(Adr-01032):[112233]:0 <実験室 A コンセント> 電力量	kWh
01033	(Adr-01033):[112233]:3 <実験室 A コンセント> 電力量	kWh
01034	(Adr-01034):[112233]:3 <実験室 A コンセント> 電力量	kWh
01040	(Adr-01040):[112233]:4 <主幹> 電力量	kWh
01041	(Adr-01041):[112233]:4 <主幹> 電力	kWh
01042	(Adr-01042):[112233]:4 <主幹> 力率	kWh

合成項目名称 実験室

追加キャンセル 設定内容更新

⑥ 加算するので<<(+)>をクリックします。※2

⑤ 設定する計測項目（アド' 01030）をクリックします。

④ 名称を入力します。※1

※5

次のページへ

※1 合成項目名称入力条件

項目	初期表示	登録可能文字数
合成項目名称	なし	半角 30（全角 15）文字

※2 計測項目の演算選択

加算する → <<(+)>をクリックします。

減算する → <<(-)>をクリックします。

※3 要素項目の表示

符号付き計測項目アド'として表示します。

符号は加算するとき → 「+」を表示します。

〃 減算するとき → 「-」を表示します。

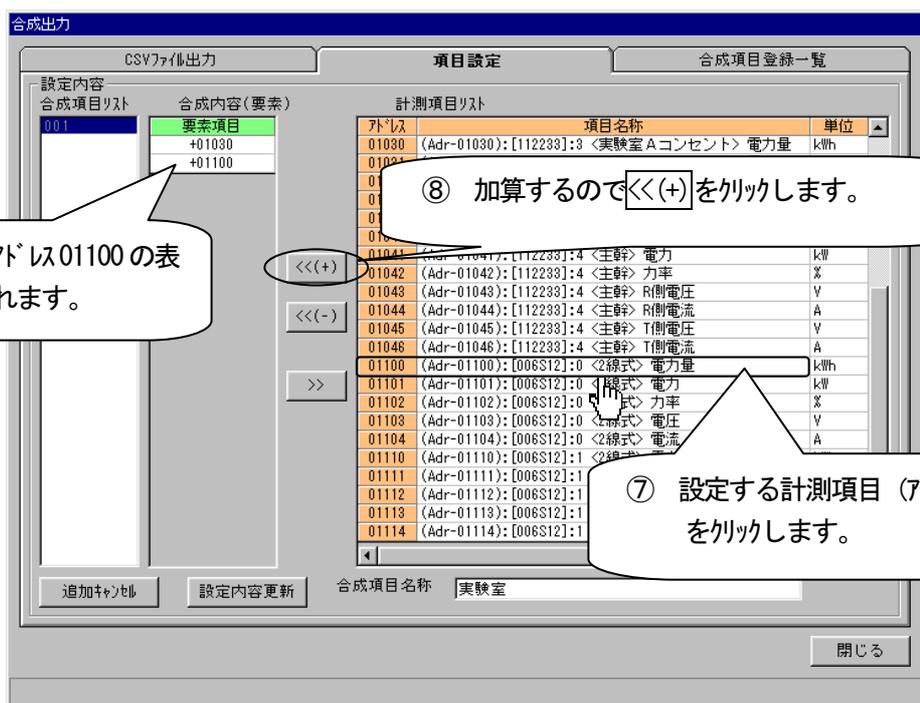
※4 要素項目の削除

削除したい要素項目をクリックした後、

>> をクリックします。

※5 合成項目の設定を中止するときは

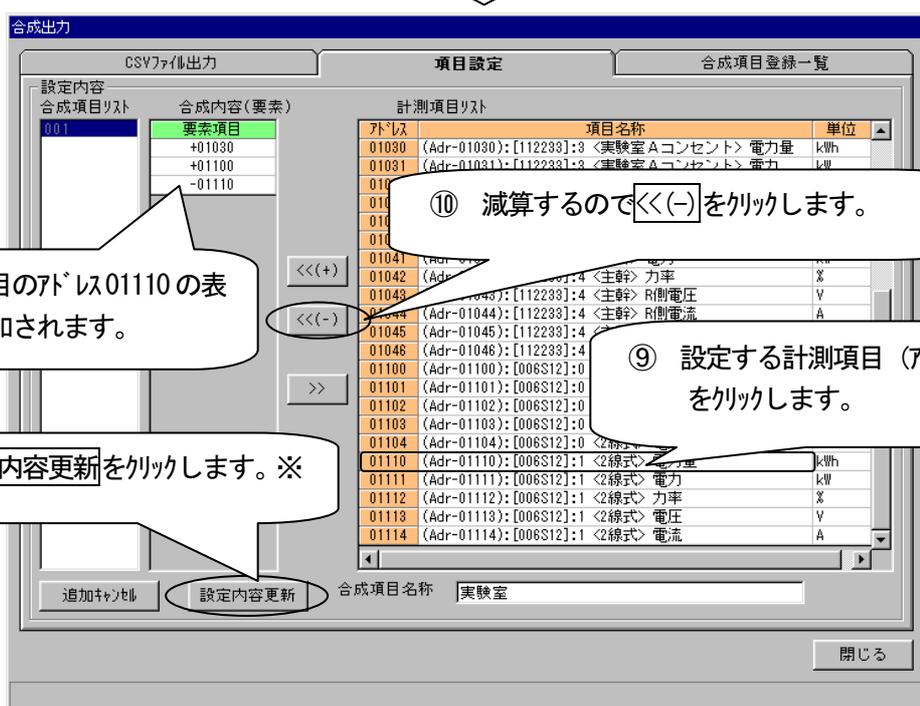
追加キャンセル をクリックします。



計測項目のアドレス01100の表示が追加されます。

⑧ 加算するので<<(+)>をクリックします。

⑦ 設定する計測項目 (アドレス01100) をクリックします。



計測項目のアドレス01110の表示が追加されます。

⑩ 減算するので<<(-)>をクリックします。

⑨ 設定する計測項目 (アドレス01110) をクリックします。

⑪ 設定内容更新をクリックします。※



⑫ OKをクリックします。

※ 要素項目に単位異なる計測項目があったとき、単位不一致で登録できないメッセージが表示されます。



## 設定内容を確認する

「項目設定」タブで設定した合成項目の詳細情報を表示します。

The screenshot shows the '合成出力' (Synthesis Output) application window. It has three tabs: 'CSVファイル出力', '項目設定', and '合成項目登録一覧'. The '合成項目登録一覧' tab is active, showing a table with one row for a composite item. Below this is a section for '合成要素項目の詳細情報表示' (Detailed information display for composite element items) containing a table of three items. At the bottom, there are buttons for '合成削除' (Delete Composite) and '閉じる' (Close).

① 「合成項目登録一覧」タブをクリックします。

② 詳細情報を表示する合成項目をクリックします。

合成項目の詳細情報を表示します。

合成項目を削除するときに合成削除をクリックします。

No.	合成式
1	+01030+01100-01110

外し	+/-	項目名称	単位
01030	+	(Adr-01030):[112233]:3 <実験室 A コンセント> 電力量	kWh
01100	+	(Adr-01100):[006S12]:0 <2線式> 電力量	kWh
01110	-	(Adr-01110):[006S12]:1 <2線式> 電力量	kWh

## 合成結果をCSVファイルに出力する

① 「CSVファイル出力」タブをクリックします。

② 出力するデータ日付をクリックします。※1

③ 出力する合成項目リストをクリックします。※1

④ データ検索/合成演算をクリックします。

⑤ CSVファイル出力をクリックします。

計測データおよび合成結果を表示します。※2

合成名称	データ日付	時刻	アタリ	時限
実験室	2009/04/09	06	[01030]	01
実験室	2009/04/09	07	[01030]	01
実験室	2009/04/09	08	[01030]	01
実験室	2009/04/09	09	[01030]	01
実験室	2009/04/09	10	[01030]	01
実験室	2009/04/09	11	[01030]	01
実験室	2009/04/09	12	[01030]	01
実験室	2009/04/09	13	[01030]	01
実験室	2009/04/09	14	[01030]	01
実験室	2009/04/09	15	[01030]	01
実験室	2009/04/09	16	[01030]	01
実験室	2009/04/09	17	[01030]	01
実験室	2009/04/09	18	[01030]	01
実験室	2009/04/09	19	[01030]	01
実験室	2009/04/09	20	[01030]	01
実験室	2009/04/09	21	[01030]	01
実験室	2009/04/09	22	[01030]	01
実験室	2009/04/09	23	[01030]	01
実験室	2009/04/09	00	[01100]	30

⑥ ドライブ、フォルダを指定します。

⑦ ファイル名を指定します。

⑧ 開くをクリックします。

⑨ OKをクリックします。※

※1 データ日付、合成項目リストの選択  
出力する項目は複数選択することができます。

※2 要素項目に30時限と1分時限が混在していたとき、表示およびCSVファイル出力の合成データはそれぞれの時限の要素項目のデータを合成した結果を出力します。

---

**東光東芝メーターシステムズ株式会社** 営業推進第二グループ担当

〒105-0014 東京都港区芝一丁目 12-7 芝一丁目ビル 6F

TEL 03-6371-4359

FAX 03-6436-4924

URL <http://www.t2ms.co.jp/>

e-mail [info@t2ms.co.jp](mailto:info@t2ms.co.jp)

---

多回路電力レコーダ 分析用 PC ソフトウェア 取扱説明書

初 版 2010 年 2 月

第 2 版 2011 年 9 月

著作権所有 東光東芝メーターシステムズ株式会社 2010 年

この資料の一部を当社の許可なく、他に転用することを禁じます。また、この内容は予告なしに変更する場合がありますので、ご了承ください。

406720303\_

# APPENDIX

## エラーコード

多回路電力レコーダ 本体ユニットは、次のことが起きた場合に、通常の数値データではなくエラーコードを記録します。

- ① 本体ユニットの時刻を変更したとき
- ② 計測ユニット等を取付け・取外し・変更したとき
- ③ 積算値の指示値を変更したとき
- ④ 相線式設定、変圧比設定、保存データ設定、端末係数設定などの設定変更をしたとき
- ⑤ その他、エラーコード一覧表の内容に示すことが起きたとき

本ソフトウェアでは「時限データ確認」の画面で、「エラーコードを出力する」にチェックを入れて、時限データを収集した場合にエラーコードが表示されることがあります。ただし欠測などによる空白については「エラーコードを出力する」にチェックをいれないでも表示されます。

項目	内容	値	
		KK11A	KK20A
欠測	停電中または未計量による欠測	“	“ (空白)
1次変換プラスオーバーフロー	瞬時値、積算値の1次換算結果がプラス方向にオーバーフローした	E002	—
1次変換マイナスオーバーフロー	瞬時値、積算値の1次換算結果がマイナス方向にオーバーフローした	E003	—
端末データ範囲上限逸脱	端末データが有効データ範囲の上限値を逸脱した	E004	
端末データ範囲下限逸脱	端末データが、有効データ範囲の下限値を逸脱した	E005	
端末通信エラー	端末との通信エラー ・通信エラー、電文内容チェックエラー、端末違い	E006	—
端末機器異常	端末からの機器異常フラグを受信した	E007	
チェックサムエラー	時限データレコードのチェックサムエラー	E008	
指示値変更	該当計測項目の積算値の指示値を変更した	E021	E021XX※
相線式変更	本体ユニットの相線式設定を変更した	E022	
変圧比設定変更	本体ユニットの変圧比設定を変更した	E023	
保存データ設定変更	本体ユニットの保存データ形式設定を変更した	E024	
端末係数設定変更	本体ユニットの端末係数設定を変更した	E025	E025XX※
端末取付け	端末の取り付けを検出した	E030	—
端末取外し	端末の取外しを検出した	E031	—
端末変更	端末の変更を検出した	E032	—
端末 CT 設定変更	CT 設定を変更した	—	E033XX※
合成電力量設定変更	合成電力量の設定を変更した	—	E034

※ KK20A の場合、E021XX、E025XX、E033XX のエラーコードの末尾 2 桁の XX 部には変更が発生した端末アドレスを 10 進数 2 桁が入ります。